



令和3年度総合的な探究の時間  
真庭トライ&レポート (TR)

まとめ冊子

ウォーキン

12  
月  
26  
日

岡山県立真庭高等学校(落合校地)



## 【目次】

1. 巻頭言 ..... 1
2. 真庭トライ&レポート 全体計画(県提出)・評価表・ポンチ絵 ..... 2~5
  - ・令和3年度 総合的な探究の時間 全体計画
  - ・令和4年度 総合的な探究の時間 全体計画
  - ・評価表
  - ・ポンチ絵(概念図)
3. 令和3年度真庭トライ&レポート成果発表会【令和4年2月5日(土)】 ..... 6~15
  - ・レジュメ
  - ・プログラム
  - ・講師の先生からのおことば
  - ・研究協議まとめ
  - ・森年先生による研究発表(パワーポイント資料)
4. 総合的な探究の時間で育った学力についてのアンケート集計結果 ..... 16
5. その他資料 ..... 17~24
  - ・PPT作成講習会資料
  - ・まとめ冊子原稿A作成資料
  - ・真庭SDGsパートナー関係資料(登録書・ポスター・一覧)
6. 第1学年 ..... 25~59
  - ・年間活動計画
  - ・1年生TR中間発表会プログラム
  - ・全16班資料 【原稿A(左ページ):スライド・メモ、原稿B(右ページ):学び・講評】
7. 第2学年 ..... 60~91
  - ・年間活動計画
  - ・2年生TR中間発表会プログラム
  - ・2年生TR学年発表会プログラム
  - ・全14班資料 【原稿A(左ページ):スライド・メモ、原稿B(右ページ):学び・講評】
8. 第3学年 ..... 92~93
  - ・年間活動計画

本校の総合的な探究の時間「真庭 Try & Report」は平成22年度から始まり、本年度12回目の成果発表会を行うことができた。「真庭 Try & Report」では地域をフィールドにして、地域で行動し、地域と連携し、地域に貢献することを目指して様々な探究活動に取り組んでいる。そして、活動の中で地域の皆様方に色々と御協力いただき、生徒を育てていただいている。発表会



では1年生が8教室に分かれて発表し、2年生が落合総合センターでスライド発表を行った。これらの発表を見ると、1年生は探究活動を通して論理的思考力や仲間と協働する姿勢をしっかりと身につけており、2年生はさらに表現力を高め課題解決に向けて地道な努力をしてきたと感じた。

一昨年度から1・2年生共通のテーマに「SDGs（持続可能な開発目標）」を取り上げて取り組んできた。そもそも、SDGsは自分達の生活とどのような関係があるのだろうか。国連は、今地球上にどのような課題があるかを考えて17の目標を定め、その下に169の具体的な行動目標をおいた。物質的だけでなく精神的にも豊かに暮らしていくためには、その行動目標に照らし合わせながらどのように生きてゆけばよいのか、さらに、今だけではなくて将来にわたって、すなわち自分達だけでなく自分達の子孫の時代も豊かに暮らしていくためにはどうあればよいのかを生徒諸君が考えていくことこそSDGsの最終的な目標だと考える。生徒諸君は、現在、具体的な答えを持っていないかもしれないし、何をしてよいかわからないかもしれない。そこで、自分たちでしっかりと課題を把握し、どうしていけばよいのかを考え、さまざまな人達と協働しながら行動を行っていくことこそが大切である。この探究活動の中で、自分たちの日々の行動が自分たちの豊かな未来を作り上げることを考えてもらいたい。

令和3年1月に、岡山県教育委員会は、「岡山県の教育でこれから進めていかなければならない新しい3つの柱」を公表している。この中に「地域学」がある。これは、「地域課題」をテーマにして課題解決型学習を行い、その中で「非認知能力」を身につけていこうというものだ。「非認知能力」とは、近年、若者に身につけてもらいたい力の一つとされ、学校のテストのように数値化できる力（「認知能力」）以外のものとされる。つまり、様々な活動のプロセスの中で見えてきた「自分自身の変化」を確認し、地域の方々や先生方からアドバイスをもらいながら「自分を高めていく力」を身につけていって欲しいということである。併せて、活動を通じて「自制心」や「忍耐力」などの「自分と向き合う力」や、「協調性」や「コミュニケーション能力」などの「他者とつながる力」も身につけてもらおうとも考えている。私は、生徒諸君にも、「真庭 Try & Report」の学習活動を通じて、このような力を身につけて欲しいと考えている。

最後に、御指導御助言をいただいた大学の先生方や、各行事に御協力くださった保護者・地域の皆様方に厚く感謝を申し上げ、巻頭言としたい。

# 令和3年度 総合的な探究の時間(落合校地) 全体計画

岡山県立真庭高等学校(落合校地)

**生徒の実態**

純朴で素直な生徒が多い。学習面に苦手意識を持つ生徒が多いが、授業態度は総じて真面目であり、部活動や清掃などの諸活動に誠実に取り組むことができる。  
近年、県北中山間地域の急激な少子化により志願者が減少している。入学してくる生徒の進路希望も多様化している。

**地域・社会の実態**

真庭市は、少子高齢化という問題を抱える一方で、国内外でバイオスタウンとしての先進的な取組が目目されており、「地域エネルギー自給率100% 2030年SDGs「未来都市真庭の実現～持続的に発展する農山村のモデルを目指して(私がわたしらしく生きるまち)～」をタイトルとして、SDGs未来都市選定都市29の1つに選ばれている。  
学校近隣に垂水向津住民会メンバーで構成される「まにわ・しめ山プロジェクト」がある。

**学校の実態**

2014年9月25日付でユネスコスクールに加盟承認されており、Think Globally Act Locally - 地球の視野で考え、地域で行動する - を本校のミッションに掲げ、高い志を持ち、広く郷土の自然や伝統・文化・産業に学び、学力を高め、探究的・体験的な学習を通して、創造力にあふれ、たくましく豊かな人間性や社会性を育て、地域や社会の発展に貢献できる実践力を身に付けた若者を育成している。

**学校における教育目標**

- (1) 知識や技術を確実に身に付け、思考力、判断力等を養い、主体的に課題を解決する資質能力を持った人間を育成する。
- (2) 生涯にわたって自ら進んで学び、絶え間なく変化する社会に対応できる人間を育成する。
- (3) 社会規範を尊重し、人を思いやる心など豊かな人間性を身に付け、心身ともに健康でたくましい人間を育成する。
- (4) 郷土の伝統や文化、産業に学び、広く社会の発展に貢献できる人間を育成する。

**学校において定める目標**

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。
- (4) 学校設定教科「課題探究サポート(1学年・2学年)」での学びと結びつけて、「探究のプロセス」(①課題設定、②情報収集、③整理・分析、④まとめ・表現)と「思考のスキル」を身に付ける。

**保護者の願い**

(普通科)進学・就職と多様な進路実現に向けて、生徒一人ひとりを支援して欲しい。(看護科)一人前の看護師になれるようしっかりとサポートして欲しい。  
社会人になるための基礎力を養成して欲しい。  
挨拶・服装・言葉遣い・時間を守ることなど、生徒の品性を向上させて欲しい。

**地域の願い**

進学実績を上げて欲しい。  
優秀な看護師を養成して欲しい。  
地域外へ進学しても、最終的には地元で働く人材を育成して欲しい。  
地域に根ざした学校であって欲しい。

**教職員の願い**

確かな学力を獲得させ、進路希望を実現させたい。  
自己指導能力を育成したい。  
持続可能な地域社会をつくるユネスコスクールとしてのグローバルな人材を育成したい。  
安全で安心な学習環境を整備したい。

**学校において定める内容**

名称「真庭トライ&レポート(略称:TR)」 トライ:実体験を重視する, レポート:必ず発表に結びつける(成果発表会・まとめ冊子・外部コンテストやイベントへの参加)

<p>目標を実現するにふさわしい探究課題</p> <p>地域の課題に対して、五感を通して体験活動を積み重ねることによって、改善策・解決策について考える。 体験活動においては、質と量の向上を心がける。(体験の量を増やして質の向上を図る)</p> <p>1学年:課題別グループ探究活動 学校周辺の地域について考える。</p> <p>2学年前期:修学旅行を利用した職場体験学習 2学年後期:課題別グループ探究活動 真庭市全体の地域の課題について考える。</p> <p>3学年:進路別課題探究活動 進路希望に応じて、地域(学校周辺・真庭市・岡山県・日本・アジアなど)の課題について考える。</p>	<p>探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力</p> <table border="1"> <tr> <td> <p><b>論理的思考力</b></p> <p>インプット(聞く・読む)時・アウトプット(話す・書く)時に、シンキングツールを積極的に活用できる。</p> <p>聞いたり読んだりしたこと、を、分かりやすくまとめて、論理的に伝えることができる。</p> </td> <td> <p><b>協働性</b></p> <p>みんなと協力できる。</p> <p>各自の強みを生かして分担できる。</p> <p>集団で意見を出し合える。</p> </td> <td> <p><b>ねばり強さ</b></p> <p>〈失敗=×〉ではないことを理解する。 (失敗から学び、改善策を考えて次につなげる)</p> <p>試行錯誤を前向きに繰り返し、PDCAサイクルをまわすことができる。</p> <p>積極的に疑問を持ち、体験を通して疑問を解決できる。 (「?」→「体験」→「!」)</p> </td> <td> <p><b>地域参画力</b></p> <p>(=地域貢献力)</p> <p>地域課題解決の担い手として、地域と積極的につながることができる。</p> <p>地域に関心を持つ。</p> <p>地域の課題を知る。</p> <p>地域の人と協働する。</p> </td> </tr> </table>				<p><b>論理的思考力</b></p> <p>インプット(聞く・読む)時・アウトプット(話す・書く)時に、シンキングツールを積極的に活用できる。</p> <p>聞いたり読んだりしたこと、を、分かりやすくまとめて、論理的に伝えることができる。</p>	<p><b>協働性</b></p> <p>みんなと協力できる。</p> <p>各自の強みを生かして分担できる。</p> <p>集団で意見を出し合える。</p>	<p><b>ねばり強さ</b></p> <p>〈失敗=×〉ではないことを理解する。 (失敗から学び、改善策を考えて次につなげる)</p> <p>試行錯誤を前向きに繰り返し、PDCAサイクルをまわすことができる。</p> <p>積極的に疑問を持ち、体験を通して疑問を解決できる。 (「?」→「体験」→「!」)</p>	<p><b>地域参画力</b></p> <p>(=地域貢献力)</p> <p>地域課題解決の担い手として、地域と積極的につながることができる。</p> <p>地域に関心を持つ。</p> <p>地域の課題を知る。</p> <p>地域の人と協働する。</p>
<p><b>論理的思考力</b></p> <p>インプット(聞く・読む)時・アウトプット(話す・書く)時に、シンキングツールを積極的に活用できる。</p> <p>聞いたり読んだりしたこと、を、分かりやすくまとめて、論理的に伝えることができる。</p>	<p><b>協働性</b></p> <p>みんなと協力できる。</p> <p>各自の強みを生かして分担できる。</p> <p>集団で意見を出し合える。</p>	<p><b>ねばり強さ</b></p> <p>〈失敗=×〉ではないことを理解する。 (失敗から学び、改善策を考えて次につなげる)</p> <p>試行錯誤を前向きに繰り返し、PDCAサイクルをまわすことができる。</p> <p>積極的に疑問を持ち、体験を通して疑問を解決できる。 (「?」→「体験」→「!」)</p>	<p><b>地域参画力</b></p> <p>(=地域貢献力)</p> <p>地域課題解決の担い手として、地域と積極的につながることができる。</p> <p>地域に関心を持つ。</p> <p>地域の課題を知る。</p> <p>地域の人と協働する。</p>					

**学習活動**

週1時間(1・3年生…月曜日6限、2年生…金曜日6限)

1学年: ものごとを調べ、まとめる方法を学習する。

2学年: 自ら課題を設定し、調べ、まとめ、発表する方法を学習する。

3学年: 自らの進路実現に向けて、具体的に必要な内容を学習する。

**指導方法**

HR担任の枠を越え、各学年団全教員で指導にあたる。

少人数グループを編成し、各担当教員の指導のもと、学習に取り組む。

外部講師招聘や企業訪問など、校外へ積極的に赴く体験的な学習場面を設けるように配慮する。

**指導体制**

TR推進リーダー、TR推進チーム、TR総務からなる実施組織を中心に指導体制を構築する。

TR小委員会が全体計画・年間指導計画を作成する。

全体計画に基づき、各学年団で具体的な学習活動計画を作成し、実施する。

共有サーバーを利用し、ワークシートなど各学年間・過年度の資料を有効活用する。

**学習の評価**

TR小委員会が評価規準を作成する。

学習の過程での取組や、完成したレポート・プレゼンテーションなどから総合的に評価する。

生徒一人ひとりの個人内で、能力や態度に伸びが見られたかどうかを中心に評価する。

評価規準をもとに、観点別に評価を行う。

**各教科等との関連**

シンキングツールを活用して、論理的思考力を育成する。  
各教科指導において、表現活動(スピーチ・プレゼンテーション・ポスターセッションなど)を積極的に取り入れ、TRと関連づけて指導する。

コンピュータや本・新聞・テレビなどを通して情報を収集する方法だけでなく、五感を通してアンケートやインタビューなど直接情報を収集する方法についても、TRと関連づけて指導する。

**地域や大学との連携**

病院・福祉施設・こども園・市役所などの地域の施設を活用する。

卒業生・保護者を含めた地域の人材も活用する。

落合・久世を中心とした真庭市という地域だけでなく、津山市・新見市といった近隣の地域にも目を向けて広く地域との連携を求めてゆく。

**小・中学校や他の高等学校との連携**

平素の取組については適宜HP上のブログを通じて各方面に発信していく。

年度末に学習活動の集大成の場として、成果発表会を行い、近隣小・中学校や他の高等学校の教職員を招待し、活動内容について知らせる。また、地域の方々(卒業生の就職先企業など)を招待し、活動内容について知らせる。[1学年・2学年]



# 令和4年度 総合的な探究の時間(落合校地) 全体計画

岡山県立真庭高等学校(落合校地)

**生徒の実態**

純朴で素直な生徒が多い。学習面に苦手意識を持つ生徒が多いが、授業態度は従って真面目であり、部活動や清掃などの諸活動に誠実に取り組むことができる。近年、県北中山間地域の急激な少子化により志願者が減少している。入学してくる生徒の進路希望も多様化している。

**地域・社会の実態**

真庭市は、少子高齢化という問題を抱える一方で、国内外でバイオマスタウンとしての先進的な取組が目立っており、「地域エネルギー自給率100% 2030「SDGs」未来都市真庭の実現～永続的に発展する農山村のモデルを目指して(私がわたしらしく生きるまち)～」をタイトルとして、SDGs未来都市選定都市29の1つに選ばれている。学校近隣に垂水向津矢住民会メンバーで構成される「まにわ・しめ山プロジェクト」がある。

**学校の実態**

Think Globally Act Locally -地球的な視野で考え、地域で行動する-を本校のミッションに掲げ、高い志を持ち、広く郷土の自然や伝統・文化・産業に学び、学力を高め、探究的・体験的な学習を通して、創造力にあふれ、たくましく豊かな人間性や社会性を育て、地域や社会の発展に貢献できる実践力を身に付けた若者を育成している。

**学校における教育目標**

- (1) 知識や技術を確実に身に付け、思考力、判断力、表現力等を養い、主体的に課題を解決する資質能力を持った人間を育成する。
- (2) 生涯にわたって自ら進んで学び、絶えず変化する社会に対応できる人間を育成する。
- (3) 社会規範を尊重し、人を思いやる心など豊かな人間性を身に付け、心身ともに健康でたくましい人間を育成する。
- (4) 郷土の伝統や文化、産業に学び、広く社会の発展に貢献できる人間を育成する。

**学校において定める目標**

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。
- (4) 2年生では、学校設定教科「課題探究サポート(1学年・2学年)」での学びと結びつけて、「探究のプロセス」(①課題設定、②情報収集、③整理・分析、④まとめ・表現)と「思考のスキル」を身に付ける。

**保護者の願い**

(普通科)進学・就職と多様な進路実現に向けて、生徒一人ひとりを支援して欲しい。(食農生産科)(経営ビジネス科)地域を支える人材として育てて欲しい。(看護科)一人前の看護師になれるようしっかりサポートして欲しい。社会人になるための基礎力を養成して欲しい。挨拶・服装・言葉遣い・時間を守ることなど、生徒の品位を向上させて欲しい。

**地域の願い**

進学実績を上げて欲しい。地域で活躍する人材を養成して欲しい。優秀な看護師を養成して欲しい。地域外へ進学しても、最終的には地元で働く人材を育成して欲しい。地域に根ざした学校であって欲しい。

**教職員の願い**

確かな学力を獲得させ、進路希望を実現させたい。自己指導能力を育成したい。持続可能な地域社会をつくるユネスコスクールとしてのグローバルな人材を育成したい。安全で安心な学習環境を整備したい。

**学校において定める内容**

名称「真庭トライ&レポート(略称:TR)」トライ:実体験を重視する、レポート:必ず発表に結びつける(成果発表会・まとめ冊子・外部コンテストやイベントへの参加)

目標を実現するにふさわしい探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力			
地域の課題に対して、五感を通して体験活動を積み重ねることによって、改善策・解決策について考える。 体験活動においては、質と量の向上を心がける。(体験の量を増やして質の向上を図る) 1学年: 課題別グループ探究活動 学校周辺の地域の課題について考える。 2学年前期: 修学旅行を利用した職場体験学習 2学年後期: 課題別グループ探究活動 真庭市全体の地域の課題について考える。 3学年: 進路別課題探究活動 進路希望に応じて、地域(学校周辺・真庭市・岡山県・日本・アジアなど)の課題について考える。	<b>論理的思考力</b> 【インプット(聞く・読む)時・アウトプット(話す・書く)時に、シンキングツールを積極的に活用できる。 【聞いたり読んだりしたこと】を、分かりやすくまとめて、論理的に伝えることができる。	<b>協働性</b> 【みんなで協力できる。】 【各自の強みを生かして分担できる。】 【集団で意見を出し合える。】	<b>ねばり強さ</b> 【失敗=×】ではないことを理解する。 【失敗から学び、改善策を考えて次につなげる】 【試行錯誤を前向きに繰り返して、PDCAサイクルをまわすことができる。】 【積極的に疑問を持ち、体験を通して疑問を解決できる。】 【『?』→『体験』→『!』】	<b>地域参画力</b> (=地域貢献力) 【地域課題解決の担い手として、地域と積極的につながる】ことができる。 【地域に関心を持つ。】 【地域の課題を知る。】 【地域の人と協働する。】

**学習活動**

週1時間(1・3年生…月曜日6限、2年生…金曜日6限)

1学年: ものごとを調べ、まとめる方法を学習する。

2学年: 自ら課題を設定し、調べ、まとめ、発表する方法を学習する。

3学年: 自らの進路実現に向けて、具体的に必要な内容を学習する。

**指導方法**

HR担任の枠を越え、各学年団全教員で指導にあたる。

少人数グループを編成し、各担当教員の指導のもと、学習に取り組む。

外部講師招聘や企業訪問など、校外へ積極的に赴く体験的な学習場面を設けるように配慮する。

**指導体制**

TR推進リーダー、TR推進チーム、TR総務からなる実施組織を中心に指導体制を構築する。

TR・カリマネ委員会で全体計画・年間指導計画を作成する。

全体計画に基づき、各学年団で具体的な学習活動計画を作成し、実施する。

共有サーバーを利用し、ワークシートなど各学年間・過年度の資料を有効活用する。

**学習の評価**

TR・カリマネ委員会で評価規準を作成する。

学習の過程での取組や、完成したレポート・プレゼンテーションなどから総合的に評価する。

生徒一人ひとりの個人内で、能力や態度に伸長が見られたかどうかを中心に評価する。

評価規準をもとに、観点別に評価を行う。

**各教科等との関連**

シンキングツールを活用して、論理的思考力を育成する。各教科指導において、表現活動(スピーチ・プレゼンテーション・ポスターセッションなど)を積極的に取り入れ、TRと関連づけて指導する。

コンピュータや本・新聞・テレビなどを通して情報を収集する方法だけでなく、五感を通してアンケートやインタビューなど直接情報を収集する方法についても、TRと関連づけて指導する。

**地域や大学との連携**

病院・福祉施設・子ども園・市役所などの地域の施設を活用する。

卒業生・保護者を含めた地域の人材も活用する。

落合・久世を中心とした真庭市という地域だけでなく、津山市・新見市といった近隣の地域にも目を向け広く地域との連携を求めてゆく。

**小・中学校や他の高等学校との連携**

平素の取組については適宜HP上のブログを通じて各方面に発信していく。

年度末に学習活動の集大成の場として、成果発表会を行い、近隣小・中学校や他の高等学校の教職員を招待し、活動内容について知らせる。また、地域の方々(卒業生の就職先企業など)を招待し、活動内容について知らせる。[1学年・2学年]

学年	時期	柱 つげたい力 探究活動 7つのプロセス	五感を通じた実体験を！ (体験の質・量の向上) ※以下はABC3段階評価で『A』◎の姿を表します。		ねばり強さ	地域参画力
			論理的思考力	協働性		
1年時	4月～5月	①HOW TO LEARN ものごとを調べ、まとめる方法を学ぶ (課題別グループ学習) ※担当教員主導・グループ単位	★シンキングツールの活用 ・インプット【聞く・読む】 ・アウトプット【話す・書く・行動する】	★グループが「チーム」になるために ・グループで1つのことに取り組む ・グループで複数のことに役割分担をする	★POCAサイクル Plan計画 Do実行 Check評価 Act改善 OODAループ Observeみる Orientわかる Decideきめる Act行う Loop見直しも重要 ★「失敗×」ではない！ →成功へのステップ！	・地域の人・機関とつながる ・地域に貢献する
			・インプット(講義・講演会・資料集め・情報収集)の場面で、ワークシートにしながらしてシンキングツールを活用しようとする。	・グループ内で自分の意見を発言できる。 ・グループ内で他者の意見を尊重できる。	・全体テーマ導入の場面で、意欲的に取り組むことができる。 ・テーマ設定・計画立案に対して意欲的に取り組むことができる。	・周囲のサポート(友人・家族・先生・地域住民など)を活用できる。 ・地域の課題に対して知ろうとする。
			・インプット(資料集め・情報収集)の場面で、ワークシートにしながらしてシンキングツールを活用しようとする。 ・アウトプット(グループワーク)の場面で、ワークシートにしながらしてシンキングツールを活用しようとする。	・グループ内で自分や他者の考えをまとめて行動(体験活動)に移すことができる。	・失敗を恐れず、積極的に行動(体験活動)することができる。 ・失敗を前向きに捉え、次につなげることができる。	・周囲のサポート(友人・家族・先生・地域住民など)を活用できる。 ・地域の課題解決に向けて考えを提案できる。
2年時	4月～5月	②WHAT TO LEARN グループで課題を設定し、調べる (課題別グループ学習) ※生徒主体・グループ単位	・アウトプット【話す・書く(発表・PPT作成・まとめ冊子)】の場面で、シンキングツールを活用できる。	・グループ内で役割分担を意識して発表準備に取り組むことができる。	・活動に対する思い入れ・情熱をもつことができる。 ・ゴールの見通しを持って取り組むことができる。 ・活動の社会的意義を理解することができる。	・地域の課題解決に向けた取組から今後の課題を考えることができる。
			・インプット(講義・講演会・資料集め・情報収集)の場面で、ワークシートにしながらしてシンキングツールを活用できる。 ・アウトプット(グループワーク)の場面で、ワークシートにしながらしてシンキングツールを活用できる。	・グループ内で自分の意見を積極的に発言できる。 ・グループ内で他者の意見を尊重して発表準備に取り組むことができる。	・失敗を恐れず、積極的に行動(体験活動)することができる。 ・失敗を前向きに捉え、次につなげることができる。	・周囲のサポート(友人・家族・先生・地域住民など)を活用できる。 ・地域の課題解決に向けて具体的な考えを提案できる。
			・インプット(資料集め・情報収集)の場面で、ワークシートにしながらしてシンキングツールを活用できる。 ・アウトプット(グループワーク)の場面で、ワークシートにしながらしてシンキングツールを活用できる。	・グループ内で積極的に自分や他者の考えをまとめて行動(体験活動)に移すことができる。	・活動に対する思い入れ・情熱をもつことができる。 ・ゴールの見通しを持って取り組むことができる。 ・活動の社会的意義を理解することができる。	・地域の課題解決に向けた取組から今後の課題を考えることができる。
3年時	4月～5月	③HOW TO LIVE 個々の進路実現・卒業後のために学ぶ (進路別課題学習) ※進路実現に直結・個人単位	・アウトプット【話す・書く(発表・PPT作成・まとめ冊子)】の場面で、シンキングツールを活用できる。	・グループ内で積極的に役割分担を意識して発表準備に取り組むことができる。	・活動に対する思い入れ・情熱をもつことができる。 ・ゴールの見通しを持って取り組むことができる。 ・活動の社会的意義を理解することができる。	・地域の課題解決に向けて今後の課題を具体的に考えることができる。
			・インプット(講義・講演会・資料集め・情報収集)の場面で、自ら考えてシンキングツールを活用できる。	・自分の進路に関わる他者他機関との、協働的な探究活動計画を立てることができる。	・失敗を恐れず、積極的に行動(体験活動)することができる。 ・失敗を前向きに捉え、次につなげることができる。	・周囲のサポート(友人・家族・先生・地域住民など)を積極的に活用する考えを持つことができる。 ・自分の進路と地域の課題を結びつけて考えることができる。
			・インプット(資料集め・情報収集)の場面で、自ら考えてシンキングツールを活用できる。 ・アウトプット(グループワーク)の場面で、自ら考えてシンキングツールを活用できる。	・自分の進路に関わる他者他機関と協働して探究活動に取り組むことができる。	・活動に対する思い入れ・情熱をもつことができる。 ・ゴールの見通しを持って取り組むことができる。 ・活動の社会的意義を理解することができる。	・地域の課題解決に向けて今後の課題を具体的に考えることができる。



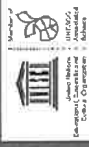


岡山県立真庭高等学校

総合的な探究の時間

# 真庭トライ&リポート(TR)

■2014年9月25日ユネスコスクール加盟承認 ⇒ ESD(持続可能性)の視点  
■2019年5月～真庭SDGsパートナー ⇒ Think Globally Act Locally



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD

トライ：五感を通じた実体験重視  
リポート：必ず発表に結びつける姿勢（まとめ冊子・発表会・外部イベントなど）

H22,H23 岡山県学力向上アカウンタブル「高等学校教科指導ハリーアワー事業」研究指定  
H24,H25 教育課程研究指定事業「思考力・判断力・表現力」

## 五感を通じた実体験

質・量の向上

3年生：HOW TO LIVE

進路実現・卒業後の生活のために学ぶ

※進路実現に直結・個人

2年生：WHAT TO LEARN

自分で課題を設定し、調べる

※生徒主体・グループ単位

1年生：HOW TO LEARN

ものごとを調べ、まとめる方法を学ぶ

※担当教員主導・グループ単位

1年生普通科・看護科 月曜6限

2年生普通科・看護科 金曜6限

3年生普通科 月曜6限

## TRを通して身につけさせたい4つの力

論理的思考力

ねばり強さ

協働性

地域参画力

シンキングツール活用（OUTPUT書く話す行動する ⇒ INPUT聞く読む）

【失敗=×じゃない！】 ⇒ 失敗体験（試行錯誤）からの気づき

【集団がチームになるまで】 ⇒ みんなで一つのこと・各自の強みで役割分担

【一地域貢献力】 ⇒ 地域に関心、地域課題の理解、地域のひととの協働

令和3年度 真庭トライ&レポート (TR) 成果発表会

令和 4年 2月 5日 (土)  
岡山県立真庭高等学校落合校地

【受付】 9:00～ 9:30

- 1 日程説明 (中山) <応接室> 9:30～ 9:35  
講師案内 (事務室) 資料配付・日程説明 (中山)  
1・2年生共通: 課題別グループ探究活動・学校全体テーマ「SDGs」  
教室等へ移動 (住野先生・校長→①1階講義室・②1-1)
- 2 1年生発表会 <教室棟1～3階> 9:45～10:35  
  
~~~~~ 落合総合センターへ移動 (講師送迎・教頭) ~~~~~
- 3 2年生発表会 <落合総合センター> 11:05～12:25
- 4 指導・講評 <落合総合センター> 12:25～12:40  
  
~~~~~ 学校へ移動 ~~~~~
- 5 アンケート記入・担任講評 <各HR> 13:30～14:00
- 6 研究協議会 <会議室> 司会進行 (教頭) 14:10～15:30  
(1) 開会挨拶 (校長)  
(2) TR研究成果発表 (森年)  
(3) 指導・助言 中国学園大学 副学長 住野 好久 氏  
(4) その他  
(5) 閉会挨拶 (副校長)
- 7 閉会挨拶 (教頭) 15:30～

※令和4年度TR成果発表会は令和5年2月3日(金)の予定です。



# 令和3年度 真庭トライ&リポート 成果発表会 プログラム

R04.02.05

## ■ 1年生発表会 【50分】 (9:45-10:35) 課題別グループ探究活動 学年テーマ『SDGs』

(MANIWA)【こち防】【ユネスコ】 3チャンネルの番組をそれぞれお楽しみください。

【11分(発表8分+質疑応答3分)】 → 【教室内待機2分】 → 【11分(発表8分+質疑応答3分)】  
 ----- 次の会場に移動してください。(生徒が案内) 【移動2分】 -----  
 【11分(発表8分+質疑応答3分)】 → 【教室内待機2分】 → 【11分(発表8分+質疑応答3分)】

※会場間の移動については、生徒がご案内いたします。(タイムキーパー：佐古)

| 会場(会場担当教員)   | テーマ                                     | 生徒(◎司会進行と教室移動ご案内)         |
|--------------|---|---------------------------|
| ① 1階講義室【森年】  | M: 障がいを持った子どもたち一人ひとりの個性を大切にするためには～      | ◎立川天馬・岩本瑞稀・馬坂歩来和・平尾彩乃     |
|              | M: よすがプロジェクト～シェアハウス作りで人の輪を広げる～          | ◎宮内鈴奈・山中愛望・鈴木奈々子          |
| ② 1年1組HR【中川】 | M: 食品ロスについて～私たちにできること～                  | ◎谷本遥菜・福島太一・横山逢斗・藤井里名・中西美咲 |
|              | こ: 「災害時の衛生について考える」～消毒づくり～               | ◎山下裕花・宮島世莉羽・中西笙平・奥田華奈     |
| ③ 1年2組HR【森腰】 | M: 地域の団らんの場を作る～住みやすい地域を目指して～            | ◎松永知子・新田陽菜・池田一花・神吉咲恵      |
|              | M: 地域の人を笑顔にしたい                          | ◎森本妃音・矢田部心鈴・大家沙織          |
| ④ 1年3組HR【乙部】 | M: 真庭市とゼロ・カーボンと僕達の繋がり                   | ◎升 耀生・坂本航輝・盛永啓太・竹原 諒      |
|              | こ: ロープワークで共助を広める                        | ◎西山怜依奈・後河彩楽・近藤直哉・三澤樺乃     |
| ⑤ 2階講義室【藤田】  | M: 障がいを持っている人への偏見をなくす～障がいをもつ子どもたちと関わって～ | ◎船木愛結花・豆原雅人・秋田美有・春木 葵     |
|              | M: よすがプロジェクト～シェアハウス作りで人の輪を広げる～          | ◎毛利まり・宮本千愛                |
| ⑥ 3年1組HR【宮本】 | M: 空き家を有効活用するために～エキマエノマエ～               | ◎藤井智己・酒井厚揮・河井集夢・杉山恭悠・山本巧波 |
|              | こ: 災害時に活用できる防災食を広める                     | ◎草地志帆・松尾 陸・北 楓真・藤原望夢      |
| ⑦ 3年2組HR【佐古】 | M: 地域の団らんの場を作る～住みやすい地域を目指して～            | ◎香川朔太郎・池田啓人・門野七星          |
|              | M: 落合元気プロジェクト～落合を元気にするために～              | ◎藤森美葵・沼 桃香・平井歩未           |
| ⑧ 3年3組HR【高田】 | M: 真庭市の良い所を伝える                          | ◎小林春翔・中村綾那・池本優生・藤久 愛      |
|              | こ: 外国人お助け隊                              | ◎東谷結美佳・平井夢来・三島奈々          |

□落合総合センターへ移動 【30分】 (10:35-11:05) 徒歩で西門から・会場座席誘導着席指示(高橋・岡本・中) 講師の先生方(教頭送迎)、生徒は10:45生徒昇降口集合→まとまって移動(1年担任は生徒と同行、2年団◎井上・青野サンプラ交差点)

## ■ 2年生発表会 【80分】 (11:05-12:25) 課題別グループ探究活動 学年テーマ『SDGs』

1. 校長挨拶(5分) 2. 発表(7分×8組=56分) 司会: 高藤穂乃花・宮本菜桜

| 順 | チャンネル(担当教員) | テーマ                         | 代表生徒                     |
|---|-------------|-----------------------------|--------------------------|
| 1 | MANIWA【栗木】  | 落合の魅力を感じな!                  | 今石和希・瀬島勝也・立石見誠           |
| 2 | MANIWA【麻田】  | 真庭の天然資源を紹介                  | 石田欄・石田凜・鎌崎真衣・坂井亜友菜       |
| 3 | MANIWA【岡本】  | 真庭の高齢者に私たちがができること           | 山本友翔・志田純香・柴田鷹翔・滝山晃汰・横山樹香 |
| 4 | MANIWA【水本】  | コロナ禍で働く医療従事者～高校生の私たちが今できること | 白田芽生・平井千羽・政吉心優           |
| 5 | こち防【高橋】     | 災害時の水問題                     | 桑木恒太・谷口久利生・西田圭佑          |
| 6 | こち防【青野】     | ロケットストーブって何?                | 瀧本稟・野村一貴・屋敷千颯・山本大誠・西山智哉  |
| 7 | こち防【杉】      | 避難時の食を豊かに                   | 中塚麻景・平山和・古堤心・森本湖音        |
| 8 | ユネスコ【井上】    | 日伊の食品ロス意識                   | 久保琴充・樋口美咲・高下奈々・谷本芽依      |

## ■ 指導講評 【15分】 (12:25-12:40)

中国学園大学副学長 住野好久先生

□学校へ移動(1年生は教室棟片付け)・昼食(各HRにて)・休憩 【50分】 (12:40-13:30)

## ■ TRアンケート記入+担任講評【30分】 (13:30-14:00) ◎各HR

□SHR(参観者の方は会議室へご移動お願いします) 【10分】 (14:00-14:10) ◎各HR

## ■ 研究協議 【80分】 (14:10-15:30) ◎会議室

①副校長挨拶(5分)→②TR研究成果発表(森年30分)→③指導・助言(住野好久先生30分)

## 令和3年度真庭トライ&レポート成果発表会 講師の先生からのおことば

### ■中国学園大学副学長 住野好久先生より (2010-H22年度から12年連続)



コロナ禍ということで心配していたが、先生方の情熱と地域の方々のご協力とに支えられながら、生徒のみなさんにとって充実した学びができていて、とても良かったと思っている。

【1年生の発表について】1年生のみなさんにとって、本校の名物であるTRの学びはどうだったろう？従来の教科の学びとは異なる新しい学びの経験であったのではないか。自分たちで探究テーマを設定して、チームで協力しながら探究を進めていく。ネットや本で調べるだけでなく、実際に地域に出て行き、そこでやってみ

る。人から話を聞いたりアンケートをしたり、自分たちで体を動かしながら学んでいく。そういう新しい学びの体験がTRを通してできたことは、みなさんにとってとても価値のあるものだと思う。人から教えてもらったことをそのまま溜め込んでいく学びとは違って、経験をし、活動をし、新しい発見をし、そこで身に付けたことを外に向けて発信していく、こういう学びがこれからの人生・社会にとって大切な学びになっていくので、今後さらに継続して発展させていってほしいと思う。



【2年生の発表について】2年生の発表を聞きながら、「2年生の生徒たちって、真庭市の市民なんだなあ。」と思った。真庭市の持続可能な社会づくりのために、自分たちにできることは何かを考え、地域の人たちと一緒に学び、その成果を発表できていた。すでに18歳選挙権であり、この4月からは18歳が民法上成人となる。そういう意味で、高校生が社会の一員として社会の未来について考えて行動していく力をちゃんとつけるのはとても大切なことだ。本校の生徒はTRを通して、そういう経験をしているし、学びをしているし、活動をしているし、とても素晴らしいことだと思う。今日のみなさんの発表を地域の人が聞けば、とても頼もしいと感じたはずだ。

【1・2年生共通】1年生も2年生もSDGsという世界的な課題と結びつけながらTRを進めている。これは大切なことで、今、自分たちがやっている取組や真庭市がやっている活動が世界に結びついている。自分たちの小さな気づき・学びが世界を救うきっかけにもなる可能性があり、世界の幸せにつながるという自覚をこれからも持ち続けてもらいたい。

【分かりやすい発表2点について】①『比べる』発表は分かりやすい。珪藻土とセメントの割合を比べてみる、日本とイタリアでと比べてみる。自分たちが調べている1つのことだけですっと探究を進めていくのではなく、途中で分かれ道や選択肢があって、「この中で一番いいのは何か？」と考えてみる、そういう探究をしていくと分かりやすい発表になる。②『フィールドに出て実際にやってみて分かったことを取り入れている』発表は分かりやすい。実際にまちを歩いてみて危ないところに気づいたなど、地図を見ただけでは分からないことを探究のプロセスの中に位置づけていくと分かりやすい発表になる。



【TRの学びについて】高等学校の学びとは、多くの場合、分からなかったことが分かるようになる、できなかったことができるようになることを目指している。そういった「知識を身に付けること」も大切だが、分からないときに諦めずに粘り強く最後まで考え抜く力とか、友達と意見が異なるときに折り合いを付けながら協力していく力など、「非認知能力と呼ばれている、これから社会で生きていくために必要な人間的な力」も大切である。この「人として大切な、これからの社会を生き抜くために必要な力」をみなさんはTRの学びを通して身に付けている。これからはますますそういった力を身に付けていってほしい。



■中国学園大学副学長 住野好久先生より



【TR意義の再共有を】TRにおける生徒たちの学習経験の意味・価値について、教員集団内でもう一度共有する必要があると感じた。『TRを何のためにやっているのか』ということが、TRを作っていくプロセスでは非常に吟味されるが、長い間やっているうちに自明のこととしてあえてことばにしなくなってしまう。そのため、後から真庭高

校に勤務することになる先生たちにとって、その部分が希薄になってしまう。作っていくことよりも、やらないといけないことをやるというクリエイティブでない時間になってしまう。TRの学習経験が生徒たちが生きていく上でとても重要で価値のあるものだということを、あらためて強調し共有する必要がある。

【教員によるリフレクションサポート】生徒たち自身が自分たちの活動を振り返ってリフレクションすることはもちろん大切だが、それだけでなく、我々教員が『こういう学びができたよね』、『こういうできなかったことができるようになった』、『最初全然分からず困っていたけど、1年間通してこんなふうになるように変わったよね』など、生徒たちそれぞれに対して明確にことばにして伝えることが大切である。さらにそういう認知的な側面だけではなく、非認知的な面でもことばにして伝えることが大切である。『最初は自信がなくて下を向いていて話し合いもうまくいかなかったけど、一回経験すると自分のことばを持てるようになったよね』、『ここで自分が何か言わなきゃ、やらなきゃという貢献しようとする意欲が高まったね』、『失敗してもいいからやってみようという力が身に付いたね』、『最後ぎりぎりまでがんばってみようという粘り強さが身に付いたね』などと教員から生徒に伝えることで、生徒は非認知能力の伸長を理解することになる。非認知能力は、これまで性格特性・人格特性・個性などと呼ばれていたもので“どうしようもないもの”だと考えられていたが、それは“能力”であって育てることができるし、評価することができるし、評価をふまえて改善のための手立てが受けられるものと捉えられるようになってきた。そういう力について、自己評価・相互評価・他者評価する場を設けることはとても大切である。TRを通してそういう非認知的な力が身に付いたということを確認にしてやることも我々教員に求められる。

【発表の双方向性】これまで1年生の発表を2年生が見て質問したりコメントしたりしてきたが、今回は2年生の発表を1年生がオンラインで見ながらその場で感想をクロームブックに打ち込み、それを後で2年生に伝えるという取組をしていた。一方的なプレゼンではなく、双方向的なやりとりへと位置づけたことはとても素晴らしい。発表する側からすれば、自分たちの発表がどういうふうを受け取られたのか、ちゃんと伝わったのかを確認できるし、コメントによって元気が出たり自信がついたりもする。ICTを活用することで、双方向のやりとりを実現できていたことはとても重要な取組である。さらに、1年生は何を書こうかと思ったときに、来年2年生になったときにどういうテーマでどう深めていこうか、ということも考えることができ、1年生TRを2年生につないでいくための仕掛けとしてもこの取組は機能している。



【ESD for SDGs】学校としてSDGsを探究テーマに設定している。SDGsという視点は生徒たちに自分たちの学びの価値を理解させるひとつの方法として有効である。多くの学校が総合的な探究の時間でSDGsをテーマに取り組んでいる。そう考えると、他の学校と連携ができる。目指すところは同じだけどそれぞれどういうアプローチでどう考えるかという交流活動が可能である。

【探究のプロセス】「テーマ設定」の次に『そのテーマについてどういう仮説が立てられるかを考えること』が探究を深める上で重要だ。「そのためにはどうしたらいい？どうだと思おう？」という仮説を設定してもらいたい。今回の発表の探究プロセスは十班十色、それぞれのスタイルが工夫されるのはよいことだが、各班に任せすぎているとも感じた。シンキングツール活用など、思考や活動の質を高めるために学年共通の指導というものも必要である。

※静岡県立遠江総合高等学校の代表班による発表と鳥取県立鳥取中央育英高等学校の代表による発表が今年度予定されていましたが、新型コロナウイルス蔓延防止に伴い中止となりました。2年生の発表を1年生は落合総合センターではなく各HRでオンラインで見ることになりました。

# 自分の価値を見いだせる「総合的な探究の時間」 -自ら人生の舵をとることができる生徒の育成のために-

岡山県立真庭高等学校落合校地  
岡山大学教職大学院 森年 雅子

Variability (変動性)・Uncertainty (不確実性)・Complexity (複雑性)・Ambiguity (不明確性)  
 時代のまのまに学校は翻轉されることになる

✓課題を解決することで自己の生き方を考えていく  
 学び  
 ✓自己の在り方生き方と一体的で不可分な課題を自ら発見し、解決していくような学びを展開

▶学校教育目標との直接的な関係を持つ唯一の時間  
 として教育課程上に位置づけられる。  
 ▶各教科等を横断して資質・能力を統合する教育課程上の役割を担う。  
 ▶学校独自のカリキュラムをデザインするという「教育課程の起点」と考えられる領域。

## 新学習指導要領告示 (2018年3月)



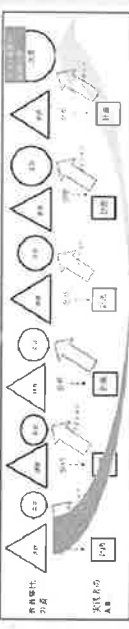
総合的な探究の時間  
 授業実践の効果検証  
 教員へのニーズ調査  
 指導の在り方の検討...

## II. 本研究の目的と方法

「総合的な探究の時間」において、「学びに向かう力・人間性等」の涵養にアプローチする場づくりを行い、学力形成を目指すといった先行研究は少ない。

- ▶「学びに向かう力・人間性等」の第一に挙げられるのは「主体性」
- ▶「主体性」=学びたい、社会に貢献したい、社会について知りたいたいといった他者との関わりの中で醸成される気持ち
- ▶効果的に他者と協働するには、自己理解と他者理解が必要。
- ▶キャリアデザインや人生の土台となる。

●社会や集団の一員としての効力感や内的統制感を高める場づくり ●地域と学校の協働の検討  
 →自分の価値を見いだせる、自ら人生の舵をとることができる生徒の育成



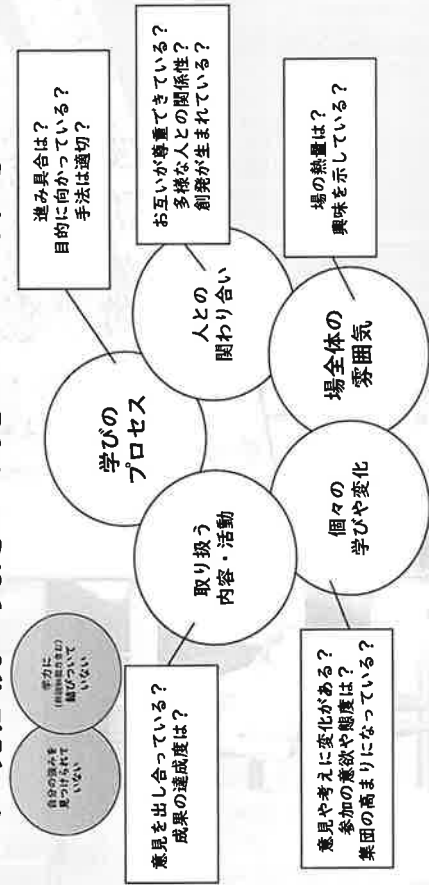
小笠原 真由美「学校協働による総合的な探究の時間」第一報:実践に導く「学校教育の未来」を模索する一歩として(岡山大学教育実践研究センター)、「岡山大学教育実践研究センター」岡山大学教育実践研究センター研究報告書第11号(2020)

## III. 現任教の実態から見えてきた課題

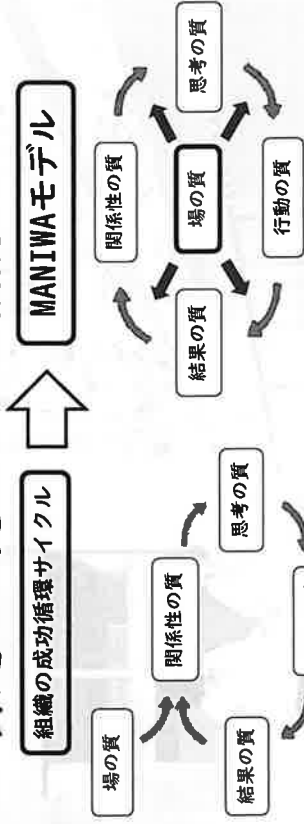
人間関係が固定化され、狭いコミュニティの中で自己形成を行う生徒に対し、自分がどのような社会と関わりながら生きていくべきか、どんな強みを持って社会参画していくべきかについて、体験を通して学びを深める授業として総合的な探究の時間(真庭Try&Report)が存在している。



### Ⅲ. 現任校の実態から見えてきた課題



### Ⅳ. 課題から見えてきた仮説



場=人と人との相互交流を通じて、新しい知識や意味が創造される環境

Daniel Kita, Organizing for Learning: Strategies for Knowledge Creation and Enduring Change, 2001  
小田理一郎「学習する組織」入門 自分・チーム、会社が変わる持続的成長の技術と実践」・英治出版, 2017

### V. アクション・リサーチ

Step0 教育活動の評価

- ▶令和2年度TRアンケート結果分析
- ▶QU分析
- ▶キャリアアパスポート



複数のデータから教育活動を見直すことで、生徒同士の関係性に着目する教師が増え、指導方法に対する意識変容（個人⇒集団）が見られた。

### V. アクション・リサーチ



Step1 関係性の質を高める場づくり

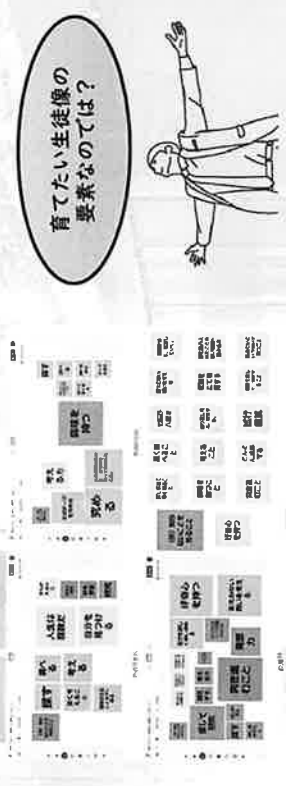
- 1) 集団づくり行事  
「#自分プレゼン」で自己開示・他者受容
- ▶集団づくり行事  
→自己理解を深め、人間関係づくり
  - ▶「#自分プレゼン」作成・発表  
→思考力を働かせ、アウトプットする場
  - ▶他者受容  
→相互交流・自己開示⇒心理的安全性

織田賢二・藤代まー「教えない指導 子どもの主体的な学びを引き出すしつもんメンタルトレーニング」・東洋館出版社, 2021  
中山芳一「学力テストで測れない非認知能力が子どもを伸ばす」・東京書籍, 2018

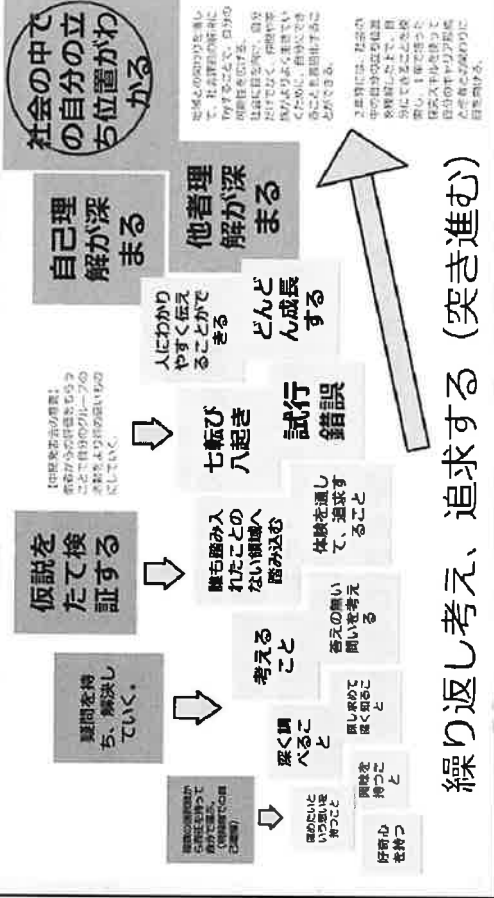
## V. アクション・リサーチ

### Step1 関係性の質を高める場づくり

2) TR導入授業「探究って何？」⇒育てたい生徒像の明確化



“探究”という言葉から連想されるものを出し合って共有!



繰り返し考え、追求する (突き進む)

## V. アクション・リサーチ

### Step2 思考の質を高める場づくり

1) グループ希望調査

「#自分ブレゼン」・年度当初の面談から10のカテゴリに細分化



2) 学校設定科目『探究サポート』の活用

探究に必要なスキル習得、学年団すべての教師が担当

3) 地域散策「エモーショナルプラン」

地域への意識づけ、“エモさ”の言語化→自己理解

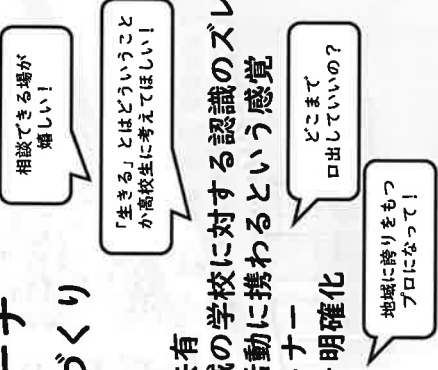


## V. アクション・リサーチ

### Step3 行動の質を高める場づくり

地域合同ミーティング

- 学校側の想いと地域の願いの共有
- 教師の地域に対する認識と地域の学校に対する認識のズレ
- 地域住民や外部協力が学習活動に携わるという感覚
- 地域は生徒を共に育てるパートナー
- 地域、学校がそれぞれの役割を明確化
- 社会に開かれた教育課程





## V. アクション・リサーチ

### Step4 結果の質を高める場づくり

- 1) SDGs×TR「SDGs講演会」  
→これまでのTR活動が社会的にどんな意味を持つのか?  
→社会のどんな人にとって価値があるのか?

### 2) TR成果中間発表会



先生、結局私たちは  
何を発表すればいいんですか？

- ▶TRの目的の認識のズレが発覚
- ▶本質的な問題の所在を明らかに
- ▶育てたい生徒像の見直し



**社会的な価値を高める場づくり**  
【今年度の振り返り】  
【今年度の振り返り】  
【今年度の振り返り】  
【今年度の振り返り】  
【今年度の振り返り】  
【今年度の振り返り】

## 社会的な価値を高める場づくり

### 結果の質を高める場づくり

- 教師からの価値観をどう捉えるか  
教師からの価値観をどう捉えるか  
教師からの価値観をどう捉えるか  
教師からの価値観をどう捉えるか  
教師からの価値観をどう捉えるか  
教師からの価値観をどう捉えるか



自分理解が深まる  
他者理解が深まる  
自分理解が深まる  
他者理解が深まる  
自分理解が深まる  
他者理解が深まる

## V. アクション・リサーチ

### Step4 結果の質を高める場づくり

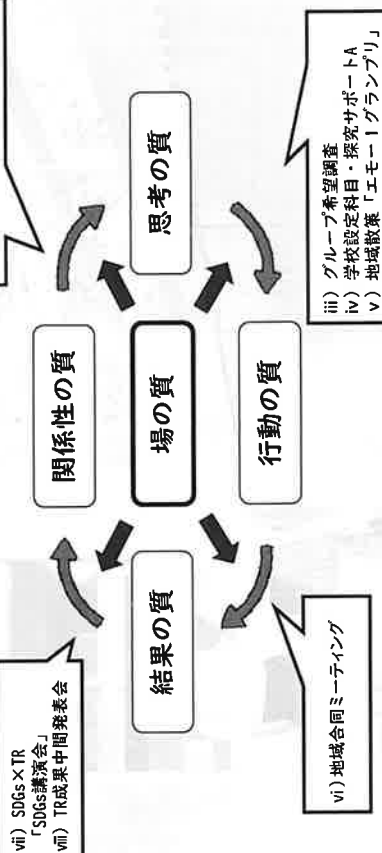
- 2) TR成果中間発表会

- ▶各グループでの取組内容
- ▶活動の振り返り
- ▶なりたいたい自分と学びを重ねる
- ▶社会的な意義
- ▶後半期に取り組みたいこと



**社会的な価値を高める場づくり**  
【今年度の振り返り】  
【今年度の振り返り】  
【今年度の振り返り】  
【今年度の振り返り】  
【今年度の振り返り】  
【今年度の振り返り】


## MANIWAモデル




## V. アクション・リサーチ

### Step1 関係性の質を高める場づくり

- TR成果中間発表会フィードバック  
別グループからの応援・アドバイス・情報
- 「#自分プレゼン」再作成  
「#自分プレゼン」再作成の場を設定  
⇒「変えたい!」「恥ずかしい!」  
⇒生徒が自己肯定している姿  
⇒確実に学びに向かう力は伸びている!



自分たちは  
今何を目指す...?



## V. アクション・リサーチ

### Step6 思考の質を高める場づくり フィードバックシートの活用

| 項目              | 活用                                    | 活用                                    | 活用                                    | 活用                                    | 活用                                    | 活用                                    | 活用                                    |
|-----------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 自己理解の深まり     | 自己理解の深まりを促すために、自己理解のシートを活用する。         | 自己理解の深まりを促すために、自己理解のシートを活用する。         | 自己理解の深まりを促すために、自己理解のシートを活用する。         | 自己理解の深まりを促すために、自己理解のシートを活用する。         | 自己理解の深まりを促すために、自己理解のシートを活用する。         | 自己理解の深まりを促すために、自己理解のシートを活用する。         | 自己理解の深まりを促すために、自己理解のシートを活用する。         |
| 2. 他人理解の深まり     | 他人理解の深まりを促すために、他人理解のシートを活用する。         | 他人理解の深まりを促すために、他人理解のシートを活用する。         | 他人理解の深まりを促すために、他人理解のシートを活用する。         | 他人理解の深まりを促すために、他人理解のシートを活用する。         | 他人理解の深まりを促すために、他人理解のシートを活用する。         | 他人理解の深まりを促すために、他人理解のシートを活用する。         | 他人理解の深まりを促すために、他人理解のシートを活用する。         |
| 3. 社会での立ち位置の明確化 | 社会での立ち位置の明確化を促すために、社会での立ち位置のシートを活用する。 | 社会での立ち位置の明確化を促すために、社会での立ち位置のシートを活用する。 | 社会での立ち位置の明確化を促すために、社会での立ち位置のシートを活用する。 | 社会での立ち位置の明確化を促すために、社会での立ち位置のシートを活用する。 | 社会での立ち位置の明確化を促すために、社会での立ち位置のシートを活用する。 | 社会での立ち位置の明確化を促すために、社会での立ち位置のシートを活用する。 | 社会での立ち位置の明確化を促すために、社会での立ち位置のシートを活用する。 |
| 4. 自己理解の深まり     | 自己理解の深まりを促すために、自己理解のシートを活用する。         | 自己理解の深まりを促すために、自己理解のシートを活用する。         | 自己理解の深まりを促すために、自己理解のシートを活用する。         | 自己理解の深まりを促すために、自己理解のシートを活用する。         | 自己理解の深まりを促すために、自己理解のシートを活用する。         | 自己理解の深まりを促すために、自己理解のシートを活用する。         | 自己理解の深まりを促すために、自己理解のシートを活用する。         |



同じ活動をして  
感じる違ふことが  
違ふんだなあ...



## V. アクション・リサーチ

### Step3 行動の質を高める場づくり TR成果発表会

| テーマ（変更前：中間発表時）                    | テーマ（変更後：最終成果発表会）   |
|-----------------------------------|--|
| 復活させよう白梅の場<br>～住みやすい地域を目指して～      | 地域団らん場の場を作る<br>～住みやすい地域を目指して～                              |
| 真庭市とゼロカーボン<br>障がいをもつ子どもたちとの接し方を学ぶ | 真庭市とゼロカーボンと僕たちの繋がりを<br>障がいをもつ子どもたちと<br>～一人ひとりの個性を大切にするために～ |
| 落合元氣プロジェクト                        | 地域の人を笑顔にしたい!!  |

中間発表時よりもタイトルが具体化・自分事化!

社会の中で  
自分の立ち位置がわかる

教師からの価値観を受けとめ、自分の学びたいこと、目指したいことを、自分の強みや得意分野、得意分野を活かせることを目指す。

2年時では、社会の中で自分の立ち位置を明確にする上で、自分自身から考え、自分自身の強みや得意分野を活かせることを目指す。

教師からの価値観を受けとめ、自分の学びたいこと、目指したいことを、自分の強みや得意分野、得意分野を活かせることを目指す。

自己理解の深まり → 他人理解の深まり → 社会での立ち位置の明確化

自己理解の深まり → 他人理解の深まり → 社会での立ち位置の明確化

1GP: 調べたいこと、興味があること、自分の得意分野、得意分野を活かせることを目指す。

10GP: 調べたいこと、興味があること、自分の得意分野、得意分野を活かせることを目指す。

5GP: 調べたいこと、興味があること、自分の得意分野、得意分野を活かせることを目指す。

繰り返し考え、追求する（突き進む）

## VI. まとめ 2021年度入学生（研究対象）の変容

| 1年時（5月）  | 学年  | 全国  | 1年時（12月） | 学年         | 全国  |
|----------|-----|-----|----------|------------|-----|
| 学級生活満足群  | 62% | 40% | 学級生活満足群  | <b>64%</b> | 40% |
| 侵害行為認知群  | 5%  | 15% | 侵害行為認知群  | 6%         | 15% |
| 非承認群     | 22% | 22% | 非承認群     | <b>15%</b> | 22% |
| 学級生活不満足群 | 11% | 23% | 学級生活不満足群 | 15%        | 23% |

## VI. まとめ

### 教師の変容（学年内の変容）

- これまで以上に学年の集団の質に着目して指導するようになった
- TRと教材を結びつけながら学科・教科を超えて授業構成を考えるようになった
- 学年団の指導のベクトルが一貫性を持つようになった
- 外部資源の活用に向きになった
- 相談しやすい環境や指導方法へのお互いの助言が増えた

地域との関わりを伴った探究活動において、生徒一人ひとりが他者からの評価を受けながら、自らの試行錯誤や成功体験を価値づけることにより、主体的に繰り返し考え、追求する姿勢を身につけていくプロセスが明らかとなった。

⇒自己理解・他者理解の深まりが人格形成の一端を担い、社会における自分の立ち位置を模索し、自己の在り方生き方について考え、創造していく生徒の育成に繋がる。  
⇒生徒の学習経験の総体を把握し、適切に「場の質」を高める動きかけを協働的に行う教員集団の形成が不可欠。

## VI. まとめ

### 高校卒業後も学び続ける生徒像

- ① 生涯学習者として、自らの意志を社会に反映できないパワーレスな人の存在を見つけ出し、個人と社会のwell-beingを追究していくことができる。
- ② 社会との関わりの中で、自己と他者を受け入れながら内的統制感を高めることができる。

### 高校3年間で目指す生徒像

- ① リフレクティブな生徒  
自身の活動を客観的に捉え、どんな状況でもリフレクションを行いながら最善を尽くせるように柔軟に対応できる生徒。
- ② 自分の強みを言語化できる生徒  
自分を持っている強みが、どんな場面で活用できるかを認識できている生徒。
- ③ 自己効力感の高い生徒  
目標に対して達成できるという自信や成功するイメージを持てる生徒。他者との関わりで、誰かの役に立てていると認識できる生徒。

## VI. まとめ

### 「場の質」に着目した研究を通して…

中心的な役割を果たす教師が、自らの考えや見通しを同僚教員と共有できれば、生徒が学ぶ「場の質」が十分に高められるわけはない。中心となる教師のサポートやアドバイザーが、生徒への働きかけの「やり方(How to)」として同僚教員に受け取られてしまうと、教師集団が同質化してしまい、チームとしての成果や業績を高めることが困難になりかねない。意識しなければならぬ。  
生徒にどのような資質・能力を身につけさせるか、さらに、その実現のためにどのような手立てを講じるかについて、生徒の学習経験を総体に変化していく中で、教師間で絶えず協議され指導計画を改善しながら合意形成が図られることが必要となる。

| 岡山県立真庭高等学校(落合校地) 総合的な探究の時間 アンケート集計 |      |    | 肯定的回答                                      |         |         |         | 肯定的回答                   |         |         |         | 肯定的回答                   |         |         |         |      |
|------------------------------------|------|----|--|---------|---------|---------|-------------------------|---------|---------|---------|-------------------------|---------|---------|---------|------|
| 視点                                 | 観点   | NO | 令和3年度全体集計                                  |         |         |         |                         |         |         |         |                         |         |         |         |      |
|                                    |      |    | R03  |         |         |         | R02                     |         |         |         | R01                     |         |         |         |      |
|                                    |      |    | 全生徒<br>1FN<br>2FN<br>3F                    | 3年<br>普 | 2年<br>普 | 1年<br>普 | 全生徒<br>1FN<br>2FN<br>3F | 3年<br>普 | 2年<br>普 | 1年<br>普 | 全生徒<br>1FN<br>2FN<br>3F | 3年<br>普 | 2年<br>普 | 1年<br>普 |      |
| 学習意欲に関すること                         | 課題設定 | 1  | 日常生活の中で「知りたいな」と思うことや「不思議だな、なぜだろう」と思うことがある。 | 88.8    | 97.2    | 83.0    | 88.9                    | 89.4    | 97.4    | 92.6    | 80.0                    | 87.0    | 82.2    | 88.6    | 88.4 |
|                                    | 課題設定 | 2  | 何か分からないことや困ったことがあった時に、どこに問題があるかを考えることができる。 | 88.1    | 91.7    | 86.8    | 87.0                    | 88.2    | 94.7    | 88.2    | 83.6                    | 83.7    | 84.4    | 84.3    | 82.6 |
|                                    | 課題設定 | 3  | 課題解決の道筋を予測し、課題を解決するための計画を立てることができる。        | 83.2    | 83.3    | 86.8    | 79.6                    | 81.9    | 92.1    | 82.1    | 74.5                    | 74.5    | 84.4    | 67.1    | 75.4 |
|                                    | 収集分析 | 4  | 解決したいことを、書籍やインターネット等を使って調べることができる。         | 99.3    | 100.0   | 98.1    | 100.0                   | 100.0   | 100.0   | 100.0   | 100.0                   | 96.7    | 97.8    | 95.7    | 97.1 |
|                                    | 収集分析 | 5  | 解決したいことを、電話やメール、インタビューでたずねることができる。         | 72.0    | 77.8    | 73.6    | 66.7                    | 67.7    | 71.1    | 72.1    | 60.0                    | 66.8    | 80.0    | 65.7    | 59.4 |
|                                    | 収集分析 | 6  | 収集した情報が正しいかどうかについて考えることができる。               | 95.1    | 100.0   | 92.5    | 94.4                    | 93.1    | 94.6    | 95.6    | 88.9                    | 84.7    | 95.6    | 81.2    | 81.2 |
|                                    | 収集分析 | 7  | 課題の解決に役立つ情報がどうかを考えながら、情報を集めることができる。        | 92.3    | 94.4    | 94.3    | 88.9                    | 92.5    | 94.7    | 92.6    | 90.9                    | 89.7    | 88.9    | 85.7    | 94.2 |
|                                    | 思考判断 | 8  | 収集した情報を関連づけて、比較したり、推測したりして考えを広げることができる。    | 93.0    | 97.2    | 92.5    | 90.7                    | 81.4    | 84.2    | 82.4    | 78.2                    | 81.0    | 88.9    | 80.0    | 76.8 |
|                                    | 思考判断 | 9  | 課題の原因や現状等を理解して、自分の考えを持つことができる。             | 96.5    | 94.4    | 96.2    | 98.1                    | 91.9    | 92.1    | 94.1    | 89.1                    | 87.0    | 91.1    | 87.1    | 84.1 |
|                                    | 思考判断 | 10 | 課題を解決する時に、何から始めれば良いか優先順位を付けることができる。        | 92.3    | 88.9    | 96.2    | 90.7                    | 88.2    | 92.1    | 85.3    | 89.1                    | 84.2    | 86.7    | 82.9    | 84.1 |
|                                    | 思考判断 | 11 | 課題の解決のために、複数の方法を考えることができる。                 | 86.7    | 80.6    | 84.9    | 92.6                    | 81.4    | 86.8    | 85.3    | 72.7                    | 82.1    | 88.9    | 84.3    | 75.4 |
|                                    | 表現省察 | 12 | 相手や目的に合わせて、自分の考えの根拠を明確に整理して表現することができる。     | 83.2    | 80.6    | 81.1    | 87.0                    | 75.0    | 78.9    | 72.1    | 75.9                    | 78.1    | 84.4    | 73.9    | 78.3 |
|                                    | 表現省察 | 13 | 学習の仕方や進め方を振り返り、次の学習や生活に生かすことができる。          | 90.9    | 91.7    | 86.8    | 94.4                    | 85.7    | 89.5    | 85.3    | 83.6                    | 84.2    | 84.4    | 81.4    | 87.0 |
| 自分自身に関すること                         | 意思決定 | 14 | 人とは異なる意見でも、自分の考えを状況に応じて伝えることができる。          | 86.0    | 88.9    | 84.9    | 85.2                    | 83.2    | 86.8    | 80.9    | 83.6                    | 77.6    | 84.4    | 84.3    | 66.2 |
|                                    | 意思決定 | 15 | 自分の考えに責任を持ち、自分がすべきことを決定できる。                | 88.8    | 80.6    | 88.7    | 94.4                    | 83.0    | 84.2    | 83.6    | 81.5                    | 82.1    | 84.4    | 84.3    | 78.3 |
|                                    | 計画実行 | 16 | 課題解決に向けて、見直しをもって行動できる。                     | 87.9    | 80.6    | 86.5    | 94.3                    | 81.4    | 81.6    | 77.9    | 85.5                    | 82.1    | 88.9    | 78.6    | 81.2 |
|                                    | 計画実行 | 17 | 自分の役割を自覚し、計画的に行動できる。                       | 90.2    | 88.9    | 86.8    | 94.4                    | 84.4    | 81.6    | 86.6    | 83.6                    | 86.4    | 88.9    | 85.7    | 85.5 |
|                                    | 計画実行 | 18 | 失敗しても、もう一度挑戦したり、最後までやり遂げたりしようとする。          | 93.0    | 94.4    | 92.5    | 92.6                    | 93.2    | 92.1    | 92.6    | 94.5                    | 88.0    | 95.6    | 90.0    | 81.2 |
|                                    | 自己理解 | 19 | 自分の良いところや得意なことをあげることができる。                  | 78.9    | 80.6    | 75.5    | 81.1                    | 74.5    | 81.6    | 72.1    | 72.7                    | 67.4    | 86.7    | 67.1    | 55.1 |
|                                    | 自己理解 | 20 | 自分は、地域や社会から必要とされていると思う。                    | 74.1    | 77.8    | 73.6    | 72.2                    | 75.0    | 84.2    | 72.1    | 72.2                    | 64.1    | 77.8    | 67.1    | 52.2 |
|                                    | 自己理解 | 21 | 学習や生活での気付きを、自らの改善につなげている。                  | 87.4    | 86.1    | 83.0    | 92.6                    | 83.9    | 89.5    | 86.8    | 76.4                    | 80.9    | 88.9    | 78.6    | 77.9 |
|                                    | 将来展望 | 22 | 自分の将来について考えることがある。                         | 96.5    | 100.0   | 96.2    | 94.4                    | 96.9    | 100.0   | 95.6    | 96.4                    | 97.3    | 97.8    | 97.1    | 97.1 |
|                                    | 将来展望 | 23 | 興味や関心のある職業をいくつかあげることができる。                  | 93.0    | 97.2    | 84.6    | 98.1                    | 88.8    | 89.5    | 91.2    | 85.5                    | 89.1    | 93.3    | 94.3    | 81.2 |
|                                    | 将来展望 | 24 | 人の役に立てる人になりたいと思う。                          | 97.9    | 97.2    | 96.2    | 100.0                   | 97.5    | 100.0   | 95.6    | 98.2                    | 94.0    | 97.8    | 97.1    | 88.2 |
| 他者や社会に関すること                        | 他者理解 | 25 | 異なる立場や考えを受け入れ、理解しようと思う。                    | 98.6    | 97.2    | 98.1    | 100.0                   | 96.9    | 100.0   | 95.6    | 96.3                    | 94.6    | 100.0   | 91.4    | 94.2 |
|                                    | 他者理解 | 26 | 異なる立場や考え方の良いところを見付けることができる。                | 94.4    | 94.4    | 92.5    | 96.3                    | 91.3    | 94.7    | 89.7    | 90.9                    | 89.1    | 91.1    | 90.0    | 87.0 |
|                                    | 協同   | 27 | 話し合いの時に、班やクラスの意見をまとめることができる。               | 77.5    | 77.1    | 73.6    | 81.5                    | 66.5    | 68.4    | 64.7    | 67.3                    | 62.0    | 73.3    | 70.0    | 46.4 |
|                                    | 協同   | 28 | お互いの良いところや違いを認め、協力することができる。                | 96.5    | 94.4    | 94.3    | 100.0                   | 95.0    | 94.7    | 95.6    | 94.5                    | 92.3    | 93.2    | 95.7    | 88.2 |
|                                    | 協同   | 29 | 異なる意見から得た気付きを生かして、考えを発展させることができる。          | 88.7    | 88.9    | 83.0    | 94.3                    | 82.5    | 84.2    | 85.3    | 77.8                    | 80.4    | 88.9    | 80.0    | 75.4 |
|                                    | 共生   | 30 | 環境への影響を考えて、行動することができる。                     | 89.5    | 91.7    | 86.8    | 90.7                    | 90.1    | 89.5    | 92.6    | 87.3                    | 84.8    | 93.3    | 84.3    | 79.7 |
|                                    | 共生   | 31 | 人や生き物の生命を守り、ともに生きようと思う。                    | 97.2    | 97.2    | 96.2    | 98.1                    | 96.3    | 100.0   | 95.6    | 94.5                    | 96.2    | 95.6    | 100.0   | 92.8 |
|                                    | 共生   | 32 | 自分の生活だけでなく、社会全体のことを考えたいと思う。                | 88.8    | 91.7    | 81.1    | 94.4                    | 87.6    | 92.1    | 88.2    | 83.6                    | 85.2    | 93.2    | 84.3    | 81.2 |
|                                    | 社会参画 | 33 | 地域社会の一員として、自分にできることはないかと考えたことがある。          | 85.3    | 88.9    | 79.2    | 88.9                    | 74.5    | 78.9    | 75.0    | 70.9                    | 77.5    | 86.7    | 76.5    | 72.5 |
|                                    | 社会参画 | 34 | 社会や地域の課題解決に向け、主体的に活動したいと思う。                | 86.0    | 91.7    | 77.4    | 90.7                    | 79.9    | 84.2    | 77.6    | 79.6                    | 76.5    | 91.1    | 75.4    | 68.1 |
| 学習活動に関すること                         | 社会関心 | 35 | 日本国内で起きている出来事について、自分で調べたり、考えたりすることがある。     | 79.6    | 80.6    | 78.8    | 79.6                    | 75.2    | 76.3    | 79.4    | 69.1                    | 70.1    | 75.6    | 71.4    | 65.2 |
|                                    | 社会関心 | 36 | 世界で起きている出来事について、自分で調べたり、考えたりすることがある。       | 74.1    | 77.8    | 64.2    | 81.5                    | 67.1    | 76.3    | 70.6    | 56.4                    | 66.3    | 75.6    | 67.1    | 59.4 |
|                                    | 価値認識 | 37 | TRは生きていく上で大切なことを学んでいると思う。                  | 92.3    | 97.2    | 86.8    | 94.4                    | 93.2    | 100.0   | 95.6    | 85.5                    | 90.8    | 91.1    | 90.0    | 91.3 |
|                                    | 価値認識 | 38 | TRは楽しい。                                    | 90.8    | 91.4    | 88.7    | 92.6                    | 88.8    | 86.8    | 91.2    | 87.3                    | 79.7    | 77.8    | 82.6    | 77.9 |
|                                    | 価値認識 | 39 | TRは、何を勉強しようとしているのかが分からない。(反転項目)            | 22.4    | 25.0    | 17.0    | 25.9                    | 16.3    | 18.9    | 13.2    | 18.2                    | 28.3    | 42.2    | 28.6    | 18.8 |
|                                    | 学習意欲 | 40 | TRに一生懸命取り組んでいる。                            | 97.2    | 94.3    | 96.2    | 100.0                   | 96.9    | 97.4    | 95.6    | 98.2                    | 91.8    | 95.6    | 89.7    | 91.3 |
|                                    | 学習意欲 | 41 | 教科で学習したことを生かして、TRで調査や分析をしている。              | 83.9    | 88.9    | 83.0    | 81.5                    | 82.0    | 86.8    | 82.4    | 78.2                    | 68.5    | 82.2    | 72.9    | 55.1 |
|                                    | 学習意欲 | 42 | TRでは、今まであまり考えなかった問題に取り組んでいる。               | 95.8    | 91.7    | 96.2    | 98.1                    | 93.8    | 92.1    | 94.1    | 94.5                    | 87.5    | 91.1    | 87.1    | 85.5 |
|                                    | 価値認識 | 43 | 教科の学習とTRはつながっていると感じることがある。                 | 83.2    | 86.1    | 75.5    | 88.9                    | 82.6    | 86.8    | 86.8    | 74.5                    | 79.2    | 86.4    | 84.3    | 69.6 |
|                                    | 価値認識 | 44 | TRで学んだことは、普段の自分の生活や将来に役立つと思う。              | 93.0    | 97.2    | 86.8    | 96.2                    | 93.2    | 97.4    | 94.1    | 89.1                    | 91.3    | 95.6    | 94.3    | 85.5 |
|                                    | 学習意欲 | 45 | 家族とTRについて話すことがある。                          | 62.9    | 61.1    | 58.5    | 68.5                    | 49.1    | 57.9    | 48.5    | 43.6                    | 50.0    | 73.3    | 48.6    | 36.2 |
|                                    | 学習意欲 | 46 | TRで取り組んでいる課題について、新聞やテレビなどで見たり聞いたりしたことがある。  | 64.3    | 72.2    | 54.7    | 68.5                    | 58.4    | 76.3    | 63.2    | 40.0                    | 65.8    | 73.3    | 60.0    | 66.7 |



OKAYAMA Prefectural IMANIWA HIGH SCHOOL

1. TR 1年生中間発表会<10月28日(月)>

3チャンネル×6班=全18班  
(7分発表+2分質疑応答) 配布資料自由

- ・プレゼン形式(パワーポイント)
- ・観覧者を意識して、原稿なしで大きな声でハッキリとユックリと
- ・伝わりやすいスライド作成を心がけて

※TR成果発表会 令和2年2月7日(金)  
8分発表+3分質疑応答、9教室で全18班発表  
(大学・高校・地域の方々が来校→質疑あり!)

1

OKAYAMA Prefectural IMANIWA HIGH SCHOOL

2. 発表用スライドの流れ(例)

※発表スライドは1枚(タイトル・メンバー)+6枚の合計7枚で作るのがオススメ!  
まとめ冊子原稿作成時に、この最初の一枚を削除するだけでよいので楽!。年度末原稿提出の頃は忙しいぞ!

活動の目的・きっかけ

取り組んだ内容(過去)

結果に対する考察・気づき(現在)

成果・今後の課題(未来)

まとめ・感想・SDGs 17のアイコンの図2、3枚

※この流れが絶対ではないが、主要ポイントは外さないように! 2

OKAYAMA Prefectural IMANIWA HIGH SCHOOL

3. 発表用スライドのラストに

3 未来のために 9月と毎月

15 誇れるまちを 作る

11 日本をけんがう 強くつくる

17 ハートナラフで BIRTSUREALS

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD

自分たちの取り組んだことが17の目標の何につながると考えたか、最後のまとめ・感想のスライドに2、3枚のアイコンを選んでね!

SDGs⇔TR

Think globally, Act locally

つながりの実感

3

OKAYAMA Prefectural IMANIWA HIGH SCHOOL

4. まとめ冊子(成果報告書)原稿作成

児童クラブ

1 児童クラブの概要

2 タイトル・メンバー

3 活動の目的・きっかけ

4 スライドに加えて、必要な情報・解説をスライド下に入れ。

5 取り組み組んだ内容・考察

6 成果・今後の課題・まとめ

12月作成スタート→2月末提出が切

スライド6枚(手書きの解説)モ/クロ  
①活動の目的・きっかけ  
(タイトル・メンバーはページ上に入力)  
②~⑤取り組み組んだ内容・考察  
⑥成果・今後の課題・まとめ

※別紙まとめ冊子作成マニュアルあり 4

OKAYAMA Prefectural MANIWA HIGH SCHOOL

5. スライドの作り方 伝わりやすいスライドとは

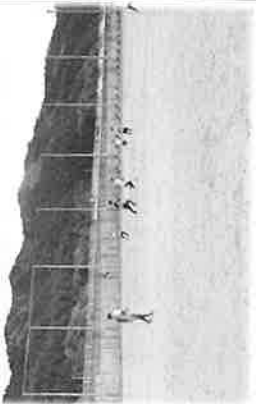
- 文字の大きさ(大きすぎず、小さすぎず)
- 文字の量(少なめで。口頭で伝えれば良い)
- 色使い(スクリーン映り具合も要確認)
- アニメーション(むやみに使わない)
- イラスト・写真・図・表(伝わりやすい)

6

OKAYAMA Prefectural MANIWA HIGH SCHOOL

6. 写真を使うと…

- Aさんの畑は1ヘクタールもあります！(1ヘクタールって伝わる?)
- 1ヘクタール=100m×100m
- Aさんの畑は1ヘクタール  
ちよとど落合校地のグラウンドくらい  
(伝わるでしょ！)



6

OKAYAMA Prefectural MANIWA HIGH SCHOOL

7. 写真を使うと…

自分たちが写っている  
→実体験している様子が伝わる  
写真選びのポイント

- ◎何をしているかよく分かる
- ◎関係ない人が写っていない
- ◎伝えたい部分だけを切り取る

校外に出て行ったときの記録など、  
頻繁に写真を撮っておくべき！  
★恥ずかしいと言って写真に写らない人がいると、チームみんなが最終的に困るぞ！



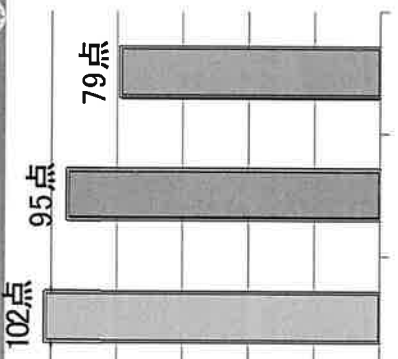
7

OKAYAMA Prefectural MANIWA HIGH SCHOOL

8. 図や表を使うと…

- 体育祭の順位は、1位A組102点、  
2位B組95点、3位C組79点でした。
- 体育祭の順位

|    |    |      |
|----|----|------|
| 1位 | A組 | 102点 |
| 2位 | B組 | 95点  |
| 3位 | C組 | 79点  |



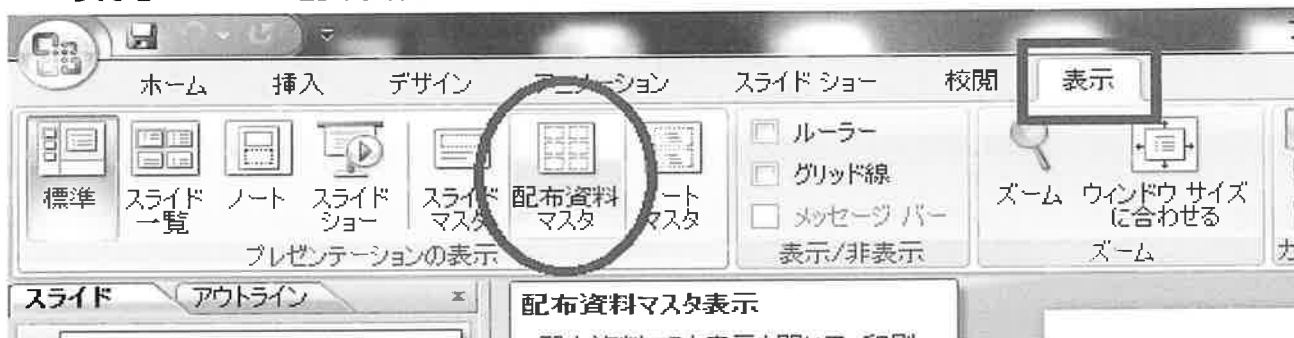
8

# まとめ冊子原稿A 作成マニュアル 印刷前の設定！！

¥WS5420DN611D¥otiai\_terastation¥2021¥T\_TR¥000.作成マニュアル(PPT・まとめ冊子原稿 AB)

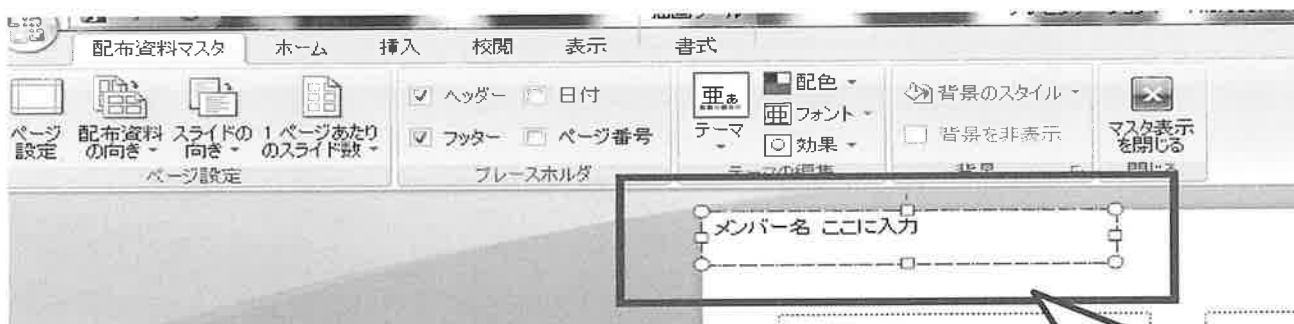
## ☆設定する手順

「表示」タブの「配布資料マスタ」をクリック



### ①発表者名の入力

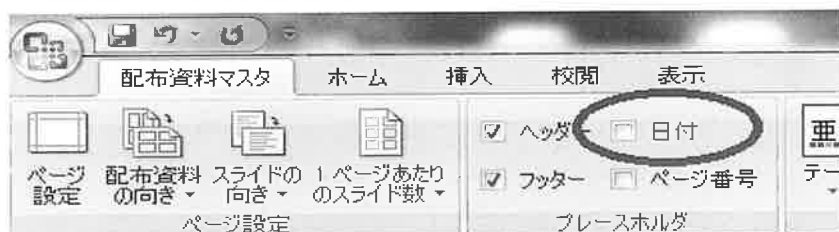
左上のヘッダーに名前を入力



入力範囲を広げること  
もできます!!

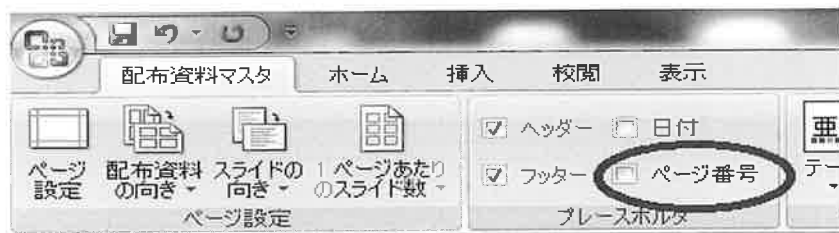
### ②日付の削除

日付のチェックをはずす



### ③ページ番号の削除

ページ番号のチェックをはずす



一応・・・  
フッターもチェック  
をはずしておい  
てください!

### ④挿入

横書きテキストボックス

フォントサイズ10で160文字以内

☆ 印刷手順 ☆

① 「印刷」もしくは「印刷プレビュー」画面にする。



**【完成イメージ】**  
 網掛けの部分にコメントを書く。  
 詳しくは前年度冊子を参照。





# 『S定山でDデイスカバる俺達GuyS』

## 8班：松岡香織・丸本裕士・村上太郎・坂本勇輝



① 至山は真庭市北西にある担当中山先生所有の山なので、自由に活動することができた。現地視察後、日帰りキャンプ、ガチキャンプをしようと考えた俺達は、それを実現するための準備として、火起こし・湯沸かし・マステイン調理の訓練を繰り返した。現地に行き、山道整備にも取り組んだ。



② ワンキャンプを終え、次は治りガチキャンプに向けて、ファイアースターターを使って着火・火おこしの訓練。夕方暗くなる前にスビーディーにテントを張るようにテント張り訓練、自分で考えたメニューでマステインというアウトドアグッズで調理訓練。訓練訓練訓練の繰り返し。誰でも火おこして一人一人自信を高めていく俺達。



③ 俺達は夏休みに日帰りワンキャンプを実現した。10:00-18:30。川から水を運び、かまどでご飯を炊いた。手分けをして山道整備にも取り組んだ。前回刈った草もあつという間に伸びていて山の管理が大変なのがよく分かった。昼食後は川の中を歩いて上るリバートレッキング。メンバー同士のキズナが深まっていった。



④ 10/16金・17土にガチキャンプ実現。放課後出発、夕方4時半到着。暗くなる前にテント張り・水汲み・火おこしを入念に完了。訓練のままも。夕方6時、辺りは真っ暗。BBQ後には先生は離れた所へ移動。精まらかえった暗闇に残される俺達4人だったが、夜中に先生のテント襲撃！バ子子が当たったのか翌朝は雨。



⑤ 4月に一人一人イメージマップで自分自身を振り返った。でも自分のことが分からない、自身がない、そんな4人。THE OUTWARD BOUND TRUSTという冒險教育機関の考えを参考に、流行りのアウトドア活動に取り組み、自然理解・自己理解を深めるために俺達のTRは始まった。



⑥ 厳しい体験を乗り越えて自分が成長することを実感した。デイスカバるというタイトルを真似するから『デイスカバる』というタイトルをつけたが、デイスカバった(発見した)のは「俺達自身」。つまり自己理解が深まったこと。このTR、本当に本当にタメになった。

### ■関わった人たち

中山家一様(利山のご提供)、7班のメンバーたち(撮影など)、尾崎英くん(一緒に草刈り)山陽新聞社中田さん(取材していただき山陽新聞に掲載していただきました)森年先生(活動にも同行いただきお言葉いただきました)山口先生(キャンプの時に薪をいただきました)

### ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと  
②今年のTR活動を通して感じた自分の変化  
③どういうことを通じて、それまでどう変わった自分か、どのように変わったか?

|   |   |
|---|---|
| <p>(坂本勇輝)</p> <p>①思い通りにならない自然相手の活動をチームで乗り越え自信を積み重ねた。仲間と協力するとうい協調性の大切さを痛感した。雨・寒さ・暗闇・薪びきなど過酷な環境下でアウトドア活動に取り組みすることで自分自身を成長させることができたと感じた。</p> <p>②自分の考えを積極的に伝えられるようになった。みんなとの話し合いを重ねていくうちに、自分の意見に自信を持てるようになり、活発性が増し、限られた条件の中で何ができるかを仲間と共有し、自分とは全く違った視点からの意見を吸収していくことで企画力を手に入れた。</p> <p>(松岡香織)</p> <p>①寒かったり雨が降ったり足を怪我したりして、どれも楽しい体験ばかりだった。活動を積み重ねていく中で、自分自身をよく理解していたアウトドア活動ができていくのか。アウトドア活動の失敗体験からも前向きな考え方や粘り強さを身に付けた。</p> <p>②単にアウトドア知識・技術が高まった、キャンプを楽しむだけでなく、山と直接触れ合うことで体力・大切さ・整備の大変さなど身をもって学んだ。山に対してどんな興味も持たせ、進路の視野に入れていくなかった森林整備など山の仕事に興味を持つようになった。</p> | <p>(丸本裕士)</p> <p>①キャンプは想像以上の寒さ、暗闇、薪びき、雨。朝起きてすぐ濡れぬを聞いて片付け。そんなタフな活動の中で、チームの中で自分ができること、自分に何ができかわかってくる、行動に移すこと、メンバーに指示を出すことができるといったようになった。それもスピーディに。②この活動が始める前は、自分の意見を言葉に表すのが難しくなかなかに伝えることができなかったが、自分たちで活動する内容を考えたり準備物を考えたりしているうちに、自分が何をしたいか、それに対して自分に何ができかを考え、メンバーに伝えられるようになった。</p> <p>(村上太郎)</p> <p>①やりたいことを計画だけで終わらせず、すべてやりきることができた。道具があったから？場所があったから？多分仲間がいたから。計画段階で、雨が降ったとどうする？など事前にいろいろ起こりそうなことを考えて準備を整えておく「予想する力」があった。</p> <p>②最初は自然やアウトドアの知識や興味があまりなく、森林に対して何かはきりした考えというものが自らがなかった。しかし、山という学校とは違うところでも、仲間と助け合っていたり、仲間の考えを聞いていたり、TR活動を通して、森林に対する見方・考え方が変わった。</p> |
|---|---|

### 【担当教員 中山麻衣 講評】

4月4人のイメージマップでは「自信のなさ」「ゲーム」が共通ワード。そこで『アウトドア体験を通して自然理解・自己理解(成長)』と探究テーマを設定。実体験を積み重ねて体験の(調)を蓄え、より体験の「質」を高めた。Google Classroomを活用して毎朝の振り返りを丁寧に行った。よりチーム3条件(目標を共有すること③役割と信頼があること、在籍の振り返り、本当によいチームになった。【論理的思考力】→起こりうることを予想して準備したり、必要な知識・技能を身に付けてからキャンプに臨んだり、あとO分したら片付けよう！とタイムマネジメントしたりなど、計画する力が高まった。【粘り強さ】→雨だからこそ、寒いからこそ、真っ暗だからこそできる活動を考え、過酷な自然環境を前向きに乗り越えられるようになった。【協働性】→自分はこれをするから、君は〇〇してと、まず自分から動き他者も動かすことができるようになった。このTRで身に付けた力が習得するまで君たちの力として生かされることを信じている。★最後に★キャンプも悪い思い出に変わらうとして生かされるな。過去のことにしたくない。奮力ももキャンプは悪い思い出に変わらうとして生かされるな。過去のことにしたくない。

# 真庭SDGsパートナー登録書

岡山県立真庭高等学校 殿

貴殿を真庭SDGsパートナーに登録しました。

貴殿の宣言内容

## 真庭SDGsパートナー宣言書

### 1 関係するSDGs目標（ゴール）

|          |   |          |  |          |   |           |   |
|----------|---|----------|--|----------|---|-----------|---|
| (1)貧困    |   | (2)飢餓    |  | (3)保健    | ○ | (4)教育     | ○ |
| (5)ジェンダー |   | (6)水・衛生  |  | (7)エネルギー |   | (8)成長・雇用  |   |
| (9)インフラ  |   | (10)不平等  |  | (11)都市   |   | (12)生産・消費 |   |
| (13)気候変動 |   | (14)海洋資源 |  | (15)陸上資源 | ○ | (16)平和    |   |
| (17)実施手段 | ○ |          |  |          |   |           |   |

### 2 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献する内容

Think Globally Act Locally

- ユネスコスクールとしてSDGs 目標達成に向けて学校全体で取り組みます。
- 【学校全体】こちら高校市民課防災係『通称こち防』で地域と協働して防災活動に取り組みます。
- 【普通科・看護科】真庭トライ&リポート『通称TR』（総合的な学習の時間、総合的な探究の時間）の取組を通して、SDGsについて学び、高校生にできることを地球的な視野で考え、地域で行動します。
- 【生物生産科・食品科学科】真庭市と連携・協働しジビエを活用した商品開発や、バイオ液肥実証研究に取り組みます。
- 落合校地が中心となり、真庭市内2校4校地で真庭いきいきテレビ『SDGsって何？』番組協働制作。（令和元年5月～令和2年3月）

真庭市



# 岡山県立真庭高等学校



【代表者(校長)】豊田 涼 【担当者】中山 順充  
【住所】落合校地：〒719-3144真庭市落合垂水448-1 / 久世校地：〒719-3202真庭市中島143

2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール



## 団体の概要

机に向かうだけでなく、地域をフィールドに活動する、それが真庭高校です。

【落合校地普通科】21世紀を生き抜くための「新しい学力」を育み、あなたの夢を咲かせます！

【落合校地看護科・専攻科】看護師資格取得への最短コース！5年一貫教育で専門知識を身に付け、看護の心を育てます！

【久世校地生物生産科】緑を育み、人とふれあい、社会で輝く実践力を身に付けます！

【久世校地食品科学科】地産地消を実現する“職のスペシャリスト”を目指します！

## 宣言内容

### Think Globally Act Locally

『真庭高×地域』動かすのは、ペンだけじゃない

【学校全体】こちら高校市民課防災係『通称こち防』で地域と協働した防災活動、ユネスコスクールとしてESD（持続可能な社会開発のための教育活動）に取り組みます。

【普通科・看護科】真庭トライ&レポート（TR）SDGsを全体テーマとして、高校生にできることを地球的な視野で考え、地域で行動します。

【生物生産科・食品科学科】真庭市と連携・協働して、ジビエを活用した商品開発やバイオ液肥実証研究に取り組みます。

## SDGsに関する特徴的な取組

### 真庭トライ&レポート（TR）令和2年度2年生



『落合ヒカリプロジェクト』アートでまちを元気に！



『国際交流を地域活性化へ』高校生から見た真庭 高校生から見た世界



『子どもの豊かな想像力を育む映像教材』デジタル動画教材の制作と子ども教育

『Let's think!!～考えることの大切さ』水質検査を通して考える！



『「真庭」をたずね「私」を知る』真庭市公式Instagram活用



『S定山でDディスカバる 俺達 uys』アウトドア体験で地域理解・自己理解



『海外の食と文化』東京オリ・パラ、ホストタウン真庭として、ドイツ選手への応援動画作成と食文化探究

『障がい者と防災』災害時に障がいを抱えた人に役立つコミュニケーション道具開発。ヒノキ素材で真庭高校生みんなのスクールバッグにつけてもらいたい！



× 高校生 × 地域資源活用

真庭SDGsパートナー一覧

(R04.02.16現在 219団体)

| 番号 | 企業・団体名                 | 番号  | 企業・団体名               | 番号  | 企業・団体名                  |
|----|------------------------|-----|----------------------|-----|-------------------------|
| 1  | ランデス株式会社               | 76  | 有限会社フィンアートかわばた       | 151 | 株式会社岡田組                 |
| 2  | 株式会社イシン住宅研究所           | 77  | 社会福祉法人秋桜会            | 152 | 西日本電信電話株式会社 岡山支店        |
| 3  | 中高年から始めるらくらくピアノサークルまにわ | 78  | 真庭地域自立支援協議会          | 153 | 有限会社西本建設                |
| 4  | 株式会社藤岡エンジニアリング         | 79  | 株式会社齋藤燃糸             | 154 | 株式会社中国銀行                |
| 5  | 株式会社グリーンピア蒜山           | 80  | 中国電力株式会社津山営業所        | 155 | 鳥越工業株式会社                |
| 6  | 株式会社マルイ                | 81  | 真庭市環境衛生協議会           | 156 | 有限会社手打ちうどん味平            |
| 7  | 梶岡建設株式会社               | 82  | 一般社団法人真庭市医師会         | 157 | 竹藤建設株式会社                |
| 8  | 服部興業株式会社               | 83  | 真庭市議会                | 158 | 株式会社パブルフードオペレーション       |
| 9  | 大島技術コンサルタント株式会社        | 84  | 株式会社すえ木工             | 159 | 河井林産株式会社                |
| 10 | 真庭農業協同組合               | 85  | 小林測量設計株式会社           | 160 | ベッド通販セラピス               |
| 11 | 株式会社三謳                 | 86  | 真庭交通安全協会             | 161 | 美作ピアワークス                |
| 12 | 有限会社エコライフ商友            | 87  | 真庭市人権教育推進委員会         | 162 | 木工房もものたね                |
| 13 | 銘建工業株式会社               | 88  | 株式会社四方一商店            | 163 | 0867合同会社                |
| 14 | 十字屋グループ                | 89  | NPO法人子育て支援の会「サポートあい」 | 164 | まるいおやつとパン moi           |
| 15 | 株式会社アストピア蒜山            | 90  | 放課後児童クラブ ピオキッズ学童クラブ  | 165 | 株式会社MATSURIKA           |
| 16 | 公益財団法人真庭エスパス文化振興財団     | 91  | 昭和化学工業株式会社           | 166 | 合同会社蒜山耕藝                |
| 17 | 特別養護老人ホーム千寿荘           | 92  | 真庭市立久世中学校            | 167 | 中国防災工業株式会社              |
| 18 | 株式会社ヒルゼン高原センター         | 93  | 真庭市立北房小学校            | 168 | 株式会社柴田工務店               |
| 19 | 山下木材株式会社               | 94  | 真庭市立湯原小学校            | 169 | 志田工業株式会社                |
| 20 | ㈱HAPPY FARM plus R     | 95  | 真庭市立湯原中学校            | 170 | 真庭リユースプラザの会             |
| 21 | 岡山トヨタ自動車株式会社           | 96  | 真庭市立八束小学校            | 171 | 大進建設株式会社                |
| 22 | NPO法人真庭あぐりガーデンプロジェクト   | 97  | 真庭市立落合中学校            | 172 | 合同会社ウーラ                 |
| 23 | CHICK                  | 98  | 真庭市立木山小学校            | 173 | リサイクルプラザまにわの会           |
| 24 | 有限会社フクモトタクシー           | 99  | 真庭市立川上小学校            | 174 | 株式会社山中工務店               |
| 25 | 岡山県立真庭高等学校             | 100 | 真庭市立北房中学校            | 175 | 株式会社金平工務店               |
| 26 | 真庭圏域危険物安全協会            | 101 | 真庭市立美川小学校            | 176 | ママン-maniwa-             |
| 27 | 真庭市栄養改善協議会             | 102 | 真庭市立余野小学校            | 177 | 岡山県山岳・スポーツライミング連盟       |
| 28 | 株式会社トンボ                | 103 | 真庭市立蒜山中学校            | 178 | リコージャパン株式会社 岡山支社        |
| 29 | 合同会社PORT-LAIT          | 104 | 真庭市立豊邑小学校            | 179 | 株式会社大和建設                |
| 30 | 真庭歯科医師会                | 105 | 真庭市立勝山小学校            | 180 | 株式会社ウエモト組               |
| 31 | 真庭市愛育委員会               | 106 | 真庭市立落合小学校            | 181 | 株式会社大広                  |
| 32 | 株式会社三木工務店              | 107 | 真庭市立富原小学校            | 182 | デス・エンジニアリング株式会社         |
| 33 | 一般社団法人岡山県建築士会真庭支部      | 108 | 真庭市立川東小学校            | 183 | 大塚製薬(株)広島支店岡山出張所        |
| 34 | 真庭市消防団                 | 109 | 真庭市立美甘小学校            | 184 | SMFLみらいパートナーズ株式会社       |
| 35 | 一般財団法人真庭スポーツ振興財団       | 110 | 真庭市立勝山中学校            | 185 | 株式会社ランネット               |
| 36 | 真庭市老人クラブ連合会            | 111 | 有限会社竹中商店             | 186 | 株式会社SunSet.             |
| 37 | 公益社団法人真庭市シルバー人材センター    | 112 | 真庭市立米来小学校            | 187 | 一般社団法人はにわの森             |
| 38 | 岡山県建設業協会真庭支部           | 113 | 真庭市立中和小学校            | 188 | 一般社団法人真庭GadgetCreations |
| 39 | 真庭森林組合                 | 114 | 生活協同組合おかやまコープ        | 189 | 吉産株式会社                  |
| 40 | 真庭木材事業協同組合             | 115 | 株式会社三協商建             | 190 | ユニオンエタニティ株式会社           |
| 41 | 真庭市立草加部小学校             | 116 | 岡山県農業共済組合            | 191 | 株式会社HAKKEI JAPAN        |
| 42 | 真庭バイオマス発電株式会社          | 117 | 岡山県立勝山高等学校蒜山校地       | 192 | NPO法人生命の貯蓄体操普及会 落合連絡所   |
| 43 | 真庭市立天津小学校              | 118 | 有限会社富永ふとん店           | 193 | テレビせとうち株式会社             |
| 44 | 社会福祉法人真庭市社会福祉協議会       | 119 | 真庭市内郵便局              | 194 | グランパスコンサルティング株式会社       |
| 45 | 真庭市民生委員児童委員協議会         | 120 | 家庭食堂 ROOF            | 195 | 合同会社OFFICE HIT-LAB      |
| 46 | 真庭地区保護司会               | 121 | 草澤水路組合               | 196 | MaLon                   |
| 47 | 岡山県栄養士会真庭支部            | 122 | 有限会社醍醐の里             | 197 | 株式会社アイ・エス               |
| 48 | 真庭市文化連盟                | 123 | 株式会社真庭運創研            | 198 | 株式会社アリモト                |
| 49 | 真庭商工会                  | 124 | 株式会社村松木工所            | 199 | 正モバイル株式会社               |
| 50 | 有限会社ダイサン               | 125 | 株式会社イマガワ             | 200 | 株式会社上神食糧                |
| 51 | テクノス株式会社真庭支店           | 126 | 有限会社名和香美堂            | 201 | 歯科矯正の窓口                 |
| 52 | 株式会社明日香                | 127 | 牧野木材工業株式会社           | 202 | 釣りバカ甲子園                 |
| 53 | 株式会社マニワプラン             | 128 | 山縣電機工業株式会社           | 203 | 落合ライオンズクラブ              |
| 54 | 株式会社ケーアイケーコンサルタント      | 129 | 株式会社蒜山興業             | 204 | 湯原ライオンズクラブ              |
| 55 | 有限会社ナラサキシビルエンジニア       | 130 | 有限会社中村工業所            | 205 | 蒜山ライオンズクラブ              |
| 56 | 大成コンサルタント真庭支店          | 131 | パートナーシップ             | 206 | 真庭旭ライオンズクラブ             |
| 57 | 株式会社アークコンサルタント真庭営業所    | 132 | 清音金属工業株式会社津山工場       | 207 | 真庭ライオンズクラブ              |
| 58 | 株式会社ウジョウ               | 133 | 岡山県真庭地区猟友会           | 208 | 株式会社佐田建美                |
| 59 | 岡山県看護協会真庭支部            | 134 | オーティス株式会社            | 209 | 一般社団法人湯原観光協会            |
| 60 | 真庭市立月田小学校              | 135 | 三栄源エフエフアイ株式会社岡山工場    | 210 | 湯原旅館協同組合                |
| 61 | 東真産業株式会社               | 136 | 一般社団法人コミュニティデザイン     | 211 | 吉 縁起村                   |
| 62 | 参画まにわ                  | 137 | Mdenネット真庭店           | 212 | 株式会社インテグラルベース           |
| 63 | 津山人権擁護委員協議会真庭地区        | 138 | 福田農機株式会社             | 213 | エファタ株式会社                |
| 64 | 真庭市DV被害者サポーター          | 139 | 津山信用金庫               | 214 | 株式会社まちと学びのイノベーション研究所    |
| 65 | 真庭市立遷喬小学校              | 140 | 大和リース株式会社岡山テポ        | 215 | 株式会社瀬戸内海放送              |
| 66 | 真庭市電水協同組合              | 141 | 株式会社道滝石油店            | 216 | Owned株式会社               |
| 67 | ワイテック工業株式会社            | 142 | ピタゴラス放課後真庭           | 217 | 有限会社津山技研空調              |
| 68 | ひるぜんワイン有限会社            | 143 | 一般社団法人真庭青年会議所        | 218 | 株式会社Media With          |
| 69 | 岡山県小学校長会真庭支部           | 144 | 岡山県立勝山高等学校           | 219 | 真庭市少年野球協会               |
| 70 | 岡山県中学校長会真庭支部           | 145 | 株式会社ツリーサービス          |     |                         |
| 71 | 岡山地方方法務局津山支局           | 146 | まにわウッショイ             |     |                         |
| 72 | 真庭市立河内小学校              | 147 | 蒜山食品加工株式会社           |     |                         |
| 73 | 一般社団法人真庭観光局            | 148 | 株式会社平田建設             |     |                         |
| 74 | 岡山パールライス株式会社           | 149 | 株式会社カネカ              |     |                         |
| 75 | まにわ・しめ山プロジェクト          | 150 | JA晴れの国岡山真庭女性部        |     |                         |





# 第1学年

佐古・森年・中川・乙部・藤田  
宮本・森腰・山口・高田・宗田

令和3年度 1年生 課題探究サポートA 真庭トライ&レポート (TR) 年間活動計画

| 月日   | 探サポA (月曜5限)  |      |      |                 |   | TR (月曜6限)   |   |       |          |       |  |            |
|--|--|------|------|-----------------|---|---|---|-------|----------|-------|--|------------|
|  | 内容   | 形態   | 活動場所 | 担当者             | 回 | 内容  | プロセス  | 評価    | 形態       | 活動場所  | 担当者  |            |
| 4月15日  | ■議題づくり行事『探究学習スタートアップセミナー』<br>■自己診断①：知りたい自分になるしつもんメンタルトレーニング<br>■自己診断②：進学のためのアンダーネズミント<br>■自分プレゼンの作成『私はだあれ?』※Google スライドで作成→各クラスHR担任へ提出 (Classroom・スライド・Gmailの活用) |      |      |                 |   |   |   |       |          |       |  |            |
| 4月19日  | TR A   |      |      |                 |   | ①②  | 『TRって何だろう?』<br>■TR導入：TR説明 (Tryやってみる・Report人に伝える)・3年間の見直し  | テーマ導入 | 評価Ⅰ      | 1年全体  | 会議室<br>教室  | TR担当<br>学年 |
| 4月26日  | TR A   |      |      |                 |   | ③④  | 『TRって何だろう?』<br>■ミニ探究に挑戦! : 『バナ探究、やってみよう!』・先輩たちの探究   |       |          |       |  |            |
| GW課題<br>■自分プレゼン追加作業 (従来の事、これまでの私・仲間と達成したいこと、3年後の私・1年後の私) → Classroomにて課題提出 (5月11日締切) |  |      |      |                 |   |   |   |       |          |       |  |            |
| 5月24日  | ①② 統計の基礎<br>効果的なグラフ・グラフの分析   | 1年全体 | 各教室  | 1年①②<br>(山口・乙部) |   | 探究サポートA A   |   |       |          |       |  |            |
| 5月31日  | TR A   |      |      |                 |   | ⑤⑥  | 『エモ-1グランプリ 私×地域』 ※緊急事態宣言下により地域訪問での地域交流は中止<br>■地域訪問：総合総合センター・しめ山付近・サンブラザ・商店街等<br>■地域訪問で撮影した『エモい写真』を自分プレゼンに活用!  | 探究活動① | 評価Ⅱ<br>Ⅲ | 各チャネル | ①1組<br>②2組<br>③3組<br>+<br>【合議室】<br>【協賛】<br>【演習】<br>【社会科】<br>【生物】<br>【化学】<br>【物理】<br>【英語】<br>校外など |            |
| 6月7日   | ③ テキストLesson01<br>『人にわかりやすく伝えるコツ』  | 1年全体 | 会議室  | 1年①②<br>(高田)    | ⑦ | ■TRグループ希望調査<br>■自分プレゼン完成  |   |       |          |       |  |            |
| 6月14日  | ④ テキストLesson02<br>『主張には根拠を』  | 1年全体 | 会議室  | 1年②③<br>(高田)    | ⑧ | ■グループ決定・協議<br>■協定に『自分プレゼン』・探究活動計画作成   |   |       |          |       |  |            |
| 6月21日  | ⑤ テキストLesson03<br>『積極的なお話しを見極め』  | 1年全体 | 会議室  | 1年③④<br>(佐古)    | ⑨ |   |   |       |          |       |  |            |
| 6月28日  | ⑥ テキストLesson04<br>『影響力のある伝え方を実践する』   | 1年全体 | 会議室  | 1年④⑤<br>(宮本)    | ⑩ | ■探究活動<br>①五感を活用した実験を積み重ねる。<br>②Input (読む) + output (話す) → outcome (成果・効果)<br>自分の目で見る、耳で聞く、手で触れる、足で歩ける。<br>メディア情報 (本・TV・P・C) だけに頼らない。<br>・各プロジェクトで外部関係者OK ※要相談!<br>・図書館・インターネットでの調べ学習<br>・校外インタビュー<br>・アンケート (生徒・教員・保護者・地域)<br>・実験・実習・制作<br>・カメラ・ビデオ活用・パソコン<br>・調査 (同じ場所・複数回) (異なる場所でも比較分析)<br>・SDGs/パートナーとの連携 |   |       |          |       |  |            |
| 7月12日  | TR A   |      |      |                 |   | ⑪⑫  |   |       |          |       |  |            |
| 7月20日 (補給)   | SDGs講習会 (AsEco環境学習センター)  |      |      |                 |   |   |   |       |          |       |  |            |
| 7月21日 (補給)   | ⑦ ■夏季休業課題探究レポート説明<br>(シンキングツール活用)  | 1年全体 | 会議室  | TR担当者           | ⑬ |   |   |       |          |       |  |            |
| 9月6日 (休校日)   | ⑧ ■1学期リフレクション Google フォーム<br>■コンテスト・資格取得挑戦・進路検討  | 1年全体 | 会議室  | TR担当者           | ⑭ | ■探究活動<br>■リフレクションフィードバック  |   |       |          |       |  |            |
| 9月13日  | TR A   |      |      |                 |   | ⑮⑯  | ■探究活動   |       |          |       |  |            |
| 9月27日  | ⑩ テキストLesson05『情報を精選化する』   | 1年全体 | 会議室  | 1年⑤⑥<br>(高田)    | ⑰ |   |   |       |          |       |  |            |
| 10月4日  | ⑪ テキストLesson06『アウトラインを考える』   | 1年全体 | 会議室  | 1年⑥⑦<br>(中川)    | ⑱ | ■10/25中間発表会に向けたまとめ (パワーポイント作成)<br>・プレゼン練習 (原稿なしで発表)   |   |       |          |       |  |            |
| 10月18日   | TR A   |      |      |                 |   | ⑲⑳  |   |       |          |       |  |            |
| 10月20日 (LHR)   | TR A   |      |      |                 |   | ㉑   | ■中間発表会① 1階開演・1年1組・1年3組 7分発表→2分質疑応答<br>6・7組: 1年中間発表会<br>※成果発表会は8分発表→3分質疑応答   |       |          |       |  |            |
| 10月25日   | TR A   |      |      |                 |   | ㉒   |   |       |          |       |  |            |
| 11月1日  | TR A   |      |      |                 |   | ㉓   | ■探究活動<br>①五感を活用した実験を積み重ねる。<br>②Input (読む) + output (話す) → outcome (成果・効果)<br>自分の目で見る、耳で聞く、手で触れる、足で歩ける。<br>メディア情報 (本・TV・P・C) だけに頼らない。<br>・各プロジェクトで外部関係者OK ※要相談!<br>・図書館・インターネットでの調べ学習<br>・校外インタビュー<br>・アンケート (生徒・教員・保護者・地域)<br>・実験・実習・制作<br>・カメラ・ビデオ活用・パソコン<br>・調査 (同じ場所・複数回) (異なる場所でも比較分析)<br>・SDGs/パートナーとの連携 |       |          |       |  |            |
| 11月8日  | TR A   |      |      |                 |   | ㉔   |   |       |          |       |  |            |
| 11月22日   | TR A   |      |      |                 |   | ㉕   |   |       |          |       |  |            |
| 11月29日   | TR A   |      |      |                 |   | ㉖   |   |       |          |       |  |            |
| 12月13日   | TR A   |      |      |                 |   | ㉗   |   |       |          |       |  |            |
| 12月20日   | TR A   |      |      |                 |   | ㉘   | ■1年～3年 各チャネル合同TR<br>■1/24 学年内発表会に向けたまとめ (Google スライド作成)<br>・プレゼン練習 (原稿なしで発表)  |       |          |       |  |            |
| 1月17日  | TR A   |      |      |                 |   | ㉙   | ■リフレクションフィードバック<br>■1/24 学年内発表会に向けたまとめ (Google スライド作成)<br>・プレゼン練習 (原稿なしで発表)   |       |          |       |  |            |
| 1月24日  | TR A   |      |      |                 |   | ㉚   | ■学年内発表会→Q&Aまで<br>(※チャネルごと)  |       |          |       |  |            |
| 1月31日  | TR A   |      |      |                 |   | ㉛   | ■成果発表会に向けたまとめ・発表準備<br>■まとめ前子原稿作成 (パワーポイント印刷+メモ) (全組)  |       |          |       |  |            |
| 2月5日   | ■TR成果発表会<br>■TRアンケート・年間振り返り  |      |      |                 |   | ㉜   | 発表③<br>7:15より<br>開始   |       |          |       |  |            |

1年団: 佐古・森年・中川ゆ・乙部・藤田・宮本・藤藤・山口・高田・宗田・(村田)

■形態: 学年単位とし、3年間を通して段階的に発展していく。3年間の見直しをもって、総合的な探究の時間『真庭Try&Report (TR)』を計画する。  
【第1学年】『HOW TO LEARN』(ものごとを調べ、まとめる方法を学ぶ) 課題別グループ学習 (興味・関心を広げる)  
【第2学年】『WHAT TO LEARN』(自分で課題を設定し、調べる) 進路別課題学習 (知識・理解を深める)  
【第3学年】『HOW TO LIVE』(進路実現・卒業後の生活のために学ぶ) 進路別課題学習 (具体的な自身の進路実現)

■学校全体TRテーマ『SDGs』

■学年テーマ 『SDGs-MANWAの真ん中には「(裏)」がある～』

1年生60名【理選科37名+看護科23名】→3チャネル 普通科普通科混合、1班4名が基本 ①12班45名・②3班12名・③1班3名】

▼ 2月5日(土) TR成果発表会

| CH | チャネル名               | 活動内容  | 生徒数 | 班番号 (USB番号) | 活動場所                        | 担当者                              |
|----|---------------------|---|-----|-------------|-----------------------------|----------------------------------|
| ①  | MANWAチャネル<br>拠点は地域! | ■フリーテーマで課題設定、昨年度の継続的な取組にも期待。<br>コミュニティスペース活用、トンボ学習観察材活用、森林資源活用、産産開発など<br>・エキマエマエ (久世)・Happy Farm plus R (菊池)・真庭市公式Instagram、まにわ市民大学<br><真庭市役所、MIT、地域石こし協力隊、総合型水圏連携研究会、しめ山プロジェクト、各企業、大学等>                                    | 44名 | 10班 (1~12)  | 1階演習室<br>1組中<br>2組中<br>物理教室 | 佐古<br>森年<br>乙部<br>藤田<br>高田<br>山口 |
| ②  | こち防チャネル<br>拠点は防災!   | ■こちら高校市民防災防犯 (こち防)<br>6月兵隊員高校防犯 (事前準備・事後振り返り)、8月リーダー研修会 (県・校内)<br>11月地域合同防災訓練、11月全体的防災ユニオン@東区、11月兵庫県高専高専研修<br>【土曜防・洪水・地震・火災】を各班的テーマに探究活動/自然災害・人畜の災害含む<br>・防災キャンプ (元防災センター) 一緒にプロジェクト企画しよう!<br><消防・自衛隊・警察・日本赤十字社・病院・各企業、大学等> | 12名 | 3班 (13~15)  | 避難教室                        | 中川<br>宮本                         |
| ③  | ユネスコチャネル<br>拠点は世界!  | ■ユネスコスクールとしての活動<br>11月岡山県高校ユネスコスクール奨励交流会 (事前準備・事後振り返り)<br>フルガリア高校生との交流・フルガリア研修<br><青森ユネスコスクールとの連携・国際活動・外国語・異文化交流><br>・日本語教室 (久世)  | 3名  | 1班 (16)     | 3組HR                        | 高田                               |

# 令和3年度 1年生TR中間発表会

- 令和3年10月20日(水) 6・7限 グループA@1年1組 / グループB@1階講義室 / グループC@1年3組
- 1年生59名(普通科36名・看護科23名) 3チャンネル全7班 各班7分発表・2分質疑応答(フィードバックシート記入)

①MMIWAch 44名

②こち防ch 16名

③ユネスコch 9名

◎他のチャンネルの取組も知って自分たちの活動に生かそう!!  
◎より発表になるようにいろいろな視点から質疑応答を!!

| 班     | 発表タイトル                            | 班員                        | 会場    | 担当教員     |
|-------|-----------------------------------|---------------------------|-------|----------|
| グループA | 1 空き家を有効活用するために ~エキマエ/マエ~         | 酒井厚輝・河井集夢・杉山恭悠・藤井智己・山本巧波  | 1年1組  | 古本 佐宮    |
|       | 4 Instagram                       | 中村綾那・池本優生・小林春翔・藤久愛        |       |          |
|       | 7 復活させよう白梅の湯                      | 池田啓人・香川朝太郎・門野七星           |       |          |
|       | 10 落合元氣プロジェクト                     | 森本妃音・矢田部心鈴・大塚沙織           |       |          |
|       | 14 ~こち防~「災害時に安心できる食を!!!」          | 草地志帆・松尾陸・北楓真・藤原望夢         |       |          |
| グループB | 2 真庭市とゼロ・カーボンの繋がり                 | 坂本航輝・升耀生・盛永啓太・竹原諒         | 1階講義室 | 森年 中川    |
|       | 5 障がいをもつ子どもたちとの様子を学ぶ              | 立川天馬・岩本瑞稀・馬坂歩来和・平尾彩乃      |       |          |
|       | 8 地域の団らん場の場を作る~住みやすい地域を目指して~      | 新田陽菜・松永知子・池田一花・神古咲恵       |       |          |
|       | 11-12 よすがプロジェクト~シェアハウス作りで人の輪を広げる~ | 宮本千愛・毛利まり・山中愛望・鈴木奈々子・宮内鈴奈 |       |          |
|       | 15 災害時の応急手当・衛生について考える             | 宮島世莉羽・中西笙平・奥田華奈・山下裕花      |       |          |
|       | 3 食品ロスについて                        | 福嶋太一・横山逢斗・藤井里名・谷本遥菜・中西美咲  |       |          |
| グループC | 6 障がいをもつ子どもに何が出来るのか~ピタゴラス訪問を通して~  | 豆原雅人・秋田美有・香木 葵・船木愛結花      | 1年3組  | 藤田 森腰 高田 |
|       | 9 落合元氣プロジェクト~落合を元気にするために~         | 藤森美葵・沼 桃香・平井歩未            |       |          |
|       | 13 ロープワークで共助を広める                  | 近藤直哉・三澤樺乃・後河彩楽・西山怜依奈      |       |          |
|       | 16 外国人お助け隊                        | 東谷結美佳・平井夢来・三島奈々           |       |          |

| 日程                      |
|-------------------------|
| 14:10-挨拶・確認(6分)F→7分2F→> |
| 14:15-14:25 各班最終確認      |
| 14:25-14:34 班1          |
| 14:35-14:44 班2          |
| 14:45-14:54 班3          |
| 14:54-15:04 (休憩)        |
| 15:05-15:14 班4          |
| 15:15-15:24 班5          |
| 15:25-15:35 フィードバック     |
| (各班まとめて回収→班内回覧→教員再回収)   |
| 15:35-15:50 指導講評        |

フィードバックをしっかり記入してあげることで、次の活動の質が高まる!(あんまり書いてもらえないと寂しい...) お互いが”無関心”な仲間にならないよう、刺激し合える良い化学反応を起こす仲間であってほしい!

”爽やかであれ!”

## ☆10.20中間発表までの流れ (Google スライド作成⇒各classroomに提出)

- 9月13日(月) 5・6限(2時間) 【夏季課題発表・リフレクションバック】、9月27日(月) 6限(1時間)、10月4日(月) 6限(1時間)、10月18日(月) 5・6限(2時間) : PPTデータ (Google スライド) は各班Classroomへ

## ☆10.20中間発表からの流れ

- 10月25日(月) 5・6限(2時間) 【リフレクションバック・看護科不在】、11月1日(月) 5・6限(2時間) 【看護科不在】、11月8日(月) 5・6限(2時間)、11月22日(月) 5・6限(2時間)、12月13日(月) 5・6限(2時間) (まどめに入る頃...)

## ☆令和3年度TR成果発表会【令和3年2月5日(土)】

# 『空き家を活用するために』

1班 藤井智己・河井集夢・山本巧波・杉山恭悠・酒井厚揮

## 目的

僕たちの住んでいる地域では、どんどん過疎化が進んでいる。



その分空き家も増えてきている。その空き家を有効活用したいと思った。空き家を有効活用できれば、地域活性化に繋がると思ったので、実際に久世地域で空き家を活用している「エキマエノマエ」に関わらせてもらった。

私たちの活動目的は、地域の活性化に貢献することです。そのために、今ある空き家を有効活用したいと思いました。

## 空き家の現状

- 岡山県の空き家数は約14,250戸（全国14位）
- 日本の空き家数は約848万9千戸
- 全国の住宅の13.6%を占めている

岡山県には現在空き家が約14万戸あると言われていいます。これは、全国で14番目に多い値となっています。また、日本全国で空き家が増えていると言われ、多くの自治体が対策を考えています。

## エキマエノマエとは

空き家を解体してコワーキングスペースやレンタルスペースとして活用できる場所

○コワーキングスペースとは固定のブース席ではなく、部屋になった自分専用のワークスペースで、レンタルオフィスに該当するワークスペースである。



真庭市の久世地域ではエキマエノマエという場所があります。ここは、久世駅前の空き家をコワーキングスペースとして活用されています。コワーキングスペースの他にレンタルスペースとしても利用されています。

## ～エキマエノマエができる過程～

・久世駅の前にずっと使われていない空き家があった。

・久世在住の河野さんが中心となって、「みなさんの新たな居場所になるように」と思い、空き家を解体し、エキマエノマエを作った。



河野さんのFacebookより

エキマエノマエは、久世駅前の空き家を「みんなの新たな場所になれるように」と思い、河野さんが中心となり作られました。現所在地の人を中心に利用されています。

## 活動

8月にエキマエノマエに行って、今後の活動を決定した。



1. 空き家を探す。
2. 空き家を解体する。
3. 空き家をリフォームする。



8月に実際にエキマエノマエに訪問し、河野さんと相談をし、今後の活動を決定しました。そして空き家を探して解体し、リフォームをすることを決定しました。

## まとめ

現段階で、空き家を見つけていただき、その空き家の家具を移動させる段階まで進んだ。

あまり活動できていないので、これから解体・改装をはじめ空き家を有効活用するための活動をしていきたい。

現段階では、見つけていただいた空き家を解体するために1階から2階に家具を移動しました。まだ2回しか行けていませんが、これから解体をはじめ、空き家を新たな移住スペースに有効活用していきたいです。

## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

河野文雄さん【有限会社エコライフ商友 代表取締役】

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|   |   |
|---|---|
| <p><b>藤井智己</b></p> <p>①僕が今年のTRを通して気づいたことは、協力することの大切さです。僕たちのTRは家具を運んだりするので、一人がみんなと違う行動をとってしまうと大きな家具をスムーズに運ぶことができないからです。</p> <p>②活動に対する積極性が変化しました。最初はみんながすることに従っていましたが、TR活動を通じて自分で何をすべきか考えて積極的に行動できるようになりました。</p> | <p><b>杉山恭悠</b></p> <p>①学んだことは、全員が協力しあわないといけないこと。スライドづくりを通して空き家の現状や、空き家の状態から新しく家を作るまでの工程。気づいたことは、みんなが協力するのが大切だということ。</p> <p>②最初は、あまり協力的ではなかったが活動を進めていくうちに、協力することの大切さを知った。今の流れで「このような発言はどうか。」と考えて発言するようになった。</p>  |
| <p><b>山本巧波</b></p> <p>①自分がTRを通じて学んだことは、空き家の数や空き家の現状です。気づいたことは、協力することの大切さです。協力することによって、違う意見や案が飛び交い視野が広がりました。</p> <p>②仕事を任せっきりだったけど自分から動けるようになりました。協力して活動することが出来た。</p>  | <p><b>河井集夢</b></p> <p>①一人ひとりが周りを見て行動することが大切だということに気が付きました。</p> <p>②最初はあまり積極的ではなかったですが多くはない活動の中で少し積極的に行動したりできるようになったと思います。</p>   |
| <p><b>酒井厚揮</b></p> <p>①自分がTRを通して学んだことは、家の近くに空き家があり、その空き家を改築などをして地域おこしをしていることがすごいと思いました。</p> <p>②自分はもともと積極的に動く性格ではなかった。TRを通して少しずつ少しずつ積極的に動けるようになったと思いました。久世地域でそのようなことをしているところがないかすごく興味がわくようになりました。</p>           | <p><b>【担当教員 乙部博章 講評】</b></p> <p>地域で重要な問題になっている「空き家問題」に積極的に取り組むことができていました。外での活動の時間はあまり多くは取ることができませんでしたが、「空き家」とはそもそも何か、なにが問題となっているのかについて詳しく調べることができていました。</p> <p>特に発表では、私は直接見ることはできませんでしたが、多くの先生から「良い発表だった」という感想を聞きました。役割分担をしながら、上手にスライドをまとめた成果だと思えます。まだ活動としては途中ですので、今後も活動を続け、空き家問題の解決に少しでも貢献できると良いですね。</p> |



# 『真庭市とゼロ・カーボンと僕たちの繋がり』

2班 升耀生・盛永啓太・竹原諒・坂本航輝

## 活動目的

全員真庭市出身でSDGs未来都市でもある真庭市が積極的に実践・周知をしているゼロ・カーボンの取り組みについて真庭市に住む私達自身が知りたかった。

真庭市はSDGs未来都市になっていて、真庭市出身の僕たちが真庭市が積極的に実践・周知をしているゼロ・カーボンの取り組みについて知りたいと考えた。

## ◇地球温暖化と二酸化炭素について



現状、地球温暖化の原因は人間が出す二酸化炭素かどうかはわかっていない。  
今、起きている地球温暖化の影響は今まで地球に起こった氷河期のような気候変動の一部かもしれない。しかし二酸化炭素濃度が上がり、気温が上昇している事は確かなので明確な原因をみつけ対策する必要がある。



今までは地球温暖化の原因は人間が出す二酸化炭素だと思っていたが、そうではない可能性もあることが分かった。しかし二酸化炭素濃度が上がり気温が上がっているのは確かなので二酸化炭素濃度が上がる原因を明確にすることが必要だとわかった。

## ◇ゼロ・カーボンシティについて



再生可能エネルギーによって稼働し、温室効果ガスによる地球への害を及ぼすことのない都市のこと。真庭市は2050年までに「ゼロ・カーボンシティまにわ」を達成することを宣言した。

地球温暖化の悪化を防ぐため二酸化炭素排出量実質0都市であるゼロ・カーボンシティになることをゼロ・カーボンシティ真庭宣言で宣言した。

## ◇エネルギーの森づくりについて

バイオマス発電のエネルギー源となれる森を作る取り組みのこと。

今までは資源としては針葉樹が使われていたの  
で特に有効的に使えていなかった広葉樹を利用する取り組みがなされている。



今までは建築などの資源に針葉樹のスギやマツが使われており、広葉樹は有効的に使われていなかった。そこでクヌギやシラカバなどの広葉樹をバイオマス燃料として使う取り組みがなされている。

## 富士通JAPAN株式会社未来の語り場

○探究活動の発表 企業の方からフィードバックをもらった。

○未来の自分の探究・発表

10年後の自分やメンバーの姿を考え発表した

「性格が変わっているか?」「結婚しているか」等



富士通Japan株式会社の方にリモートで、TR活動で調べたことを発表し、その後掃除機などの電化製品の未来の形について話し合ったり、自分たちの将来のことを考えることを通して未来に向かって、どのように物事が変化するか考えた。また、未来に向けて自分たちに何ができるかについて考えた。

## まとめ

真庭市はバイオマス発電やゼロ・カーボンシティ真庭宣言を中心にSDGsの目標を達成するために取り組みを行っていた。この活動で、取り組みについての知識や今までの形に捕らわれない柔軟な考え方が身についた。真庭市の未来に対して出来る事を考えて行動していきたい。

真庭市役所に行きお話を聞くことで、真庭市のゼロ・カーボンの取り組みについて学べた。「未来の語り場」に参加することで掃除のいらない家ができるかもしれないなどといった今までは出来なかった柔軟な考え方ができるようになった。

## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

藤田浩史さん【真庭市役所環境課】  
小池龍一郎さん【富士通 JAPAN 株式会社】

## ■各自の振り返り

- ①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと
- ②今年のTR活動を通して感じた自分の変化  
(どういうことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|  |   |
|--|---|
| <p><b>升耀生</b></p> <p>①ゼロ・カーボンの基本的な知識と真庭市の取り組みについて学んだ。地球温暖化はそれ自体を調べるだけでは解決できず、人間が生む二酸化炭素の排出量なども知って対策するべきということが分かった。現在の地球の深刻さを学べ、自分たちがこれからどのように地球と関わって行くべきかを学べた。</p> <p>②「未来の語り場」や「探究フォーラム」を通して真庭市内だけでなく市外・県外の方とゼロ・カーボンについて話し合うことができた。メンバーと話し合うことでゼロ・カーボンについて関心を持って、積極的に校外活動に参加できるようになった。</p>  | <p><b>竹原諒</b></p> <p>①地球温暖化と人間の排出する二酸化炭素は、関係がない可能性があることや未来について考えることの大切さを学んだ。真庭市が今どんな対策をしていてどんな効果が得られるのか、またどんな課題があるのかを環境の観点から知ることができた。</p> <p>②グループの人とコミュニケーションを取って協力して発表スライドを作ったりできるようになった。今まで地球温暖化やゼロ・カーボンの取り組みがあるのは知っていたがそれがどのようなものでどんな影響を及ぼしているのか知らなかったが、自分から進んで環境の問題について考え、調べるようになった。</p> |
| <p><b>盛永啓太</b></p> <p>①SDGs 未来都市となっている真庭市のゼロ・カーボンについての取り組みを実際に教えてもらい自分たちが今後どうすべきか、自分たちでもできる取り組みを知ることができた。他にも「未来の語り場」や「探究フォーラム」でたくさんの人と意見交換をすることで違った視点で物事を見ることができた。</p> <p>②ゼロ・カーボンについて調べ考えていく中、メンバーと意見を出し合い、実際に市役所に行き話を聞いたりイベントなどに参加し、学びを得ることができた。校内だけでは学べないことでも、校外学習を行い細かい情報などを聞くことで自分たちの疑問も解決することができた。そして今後考えていかなければいけない課題も考え見つけることができた。</p> | <p><b>坂本航輝</b></p> <p>①真庭市役所に行くことによって真庭市のゼロ・カーボンの活動がどのようなものなのか知ることができた。また、二酸化炭素によって地球温暖化が起きているとは限らないことが分かった。</p> <p>②活動を通して協力することの大切さを前よりも実感できたし、協力することが楽しいと思えるようになった。また、発言することに消極的だった自分が前よりも積極的に発言出来るようになった。</p>   |

## 【担当教員 乙部博章 講評】

4人全員が役割分担をしながら、しっかりと活動ができていました。富士通 JAPAN の小池さんとの交流や、探究フォーラムでの他校の生徒との交流を通して、物事をいろんな角度から見る能力が高まりました。ゼロ・カーボン、SDGs というテーマは、これからの社会では様々な場面で必ず目にするようになると思います。今回探究した内容は確実に君たちのためになります。今回の探究を生かして、未来の社会で活躍してください。

# 『食品ロスについて』

3班 福嶋太一・藤井里名・谷本遥菜・中西美咲・横山逢斗

テーマを選んだ理由

- 1 食品ロスの原因が知りたかった
- 2 食べ残しと売れ残りのその後が気になった
- 3 廃棄される野菜を使った料理には何があるか

HAPPY FARM Plus Rさんやスーパーの店長さんに食品ロスについて聞き、野菜を育てさせてもらいました。

食べ残しや家庭の食品ロスが増えている原因

|         | 主な原因  |
|---------|---|
| 給食の食べ残し | <ul style="list-style-type: none"> <li>・好き嫌いが多い</li> <li>・給食の時間が短い</li> <li>・量が多い</li> </ul>                |
| 家庭でのロス  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の皮の剥きすぎ</li> <li>・食べられる部分まで捨てる</li> <li>・賞味・消費期限切れで捨てる</li> </ul> |

食べ残しや家庭の食品ロスが増えている主な原因が分かりました。身近なことで食べ残しや家庭の食品ロスがなくなることが分かりました。

食品ロスの現状と食べ残しのその後

食べられるのに破棄されている「食品ロス」

▶年間 約600万トン（毎日130g = ご飯一杯分）

食べ残された食品のほとんど

↓

堆肥として再利用

食品ロスの現状としては、毎日お茶碗一杯分の食べ物が廃棄されています。そして、食べ残されたものはたい肥としても再利用されていることがわかりました。

①ポトフ

白菜 ブロッコリー 大根 キャベツ その他

できるだけ捨てる所を出さないようにポトフを作りました。他にもブロッコリーの芯のキンピラや葉の炒め物、赤大根の酢漬けなども作りました。しかし廃棄してしまう部分がたくさん出てしまいました。

感想

- ・好き嫌いをなくし、バランスの良い食事を！
- ・食材を作ってください方、動物の命に感謝！
- ・計画して買い物・調理をしよう！

実際に料理を作ってみて廃棄する部分を少なくして作ることは難しかったです。だから、作ってくれる人に感謝しながらご飯を食べようと思いました。

今回のTRで学んだSDGs

12 つくる責任 つかう責任

このSDGsが目指すターゲット（目標）

- ・天然資源の効率的な利用
- ・世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させる
- ・廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。など・・・

これらは、すべて2030年までに達成するターゲット（目標）です

私たちは農家さんが作った野菜を買い、食べています。廃棄される食品を少なくするために、できるだけ賞味期限が過ぎる前に食べようと思いました。

## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

奥村龍次さん・中村妃佐子さん【(株)HAPPY FARM Plus R】  
サンプラザ食品館店長さん、中川悠斗先生

## ■各自の振り返り

- ①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと
- ②今年のTR活動を通して感じた自分の変化  
(どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|  |   |
|--|---|
| <p><b>福嶋太一</b></p> <p>①今回のTRでまず食品ロスから学び直しました。廃棄される食材を使って料理を作ることやサルベージ料理だということもわかりました。また、日本で食品ロスが多いということもわかりました。そして、廃棄される食材を使ってなにか作れないかと考えました。初めは、廃棄してしまう部分が多く出てしまいました。</p> <p>②スライドの作成時、最初の頃は人とあまり喋れなかったけど、時間が経つにつれて他の人も、喋れるようになりました。そして食品ロスを減らすためにどんな取り組みをしているのかを農家の方々やお店の店長さんに、話を伺うとたくさんの取り組みがされていることがわかりました。僕達は簡単に「食品ロスを減らす」と言っていますが実はとても難しい問題だと今回のTRを通して学びました。</p> | <p><b>谷本遥菜</b></p> <p>①中学校のときに給食を食べきれずに残してしまうことがあったけど、今回のTRの取り組みを通して好き嫌いなく食べるようにしたいと思いました。また、買い物をするときも食材がどのくらい必要なかをしっかり考え、冷蔵庫の中に食材が溜まっていかないように毎日の生活の中で工夫していきたいです。</p> <p>～実際に農業の体験をしてみてわかったこと～<br/>今回は大根の種を植える体験をしました。マルチに穴を開けたり、丁寧に3粒ずつ種を植えたりなど、一つ一つの作業がとても大変でした。私達が普段口に入っている野菜は農家の人が大切に育てた野菜なので、食べるときはいただきますとしっかり感謝して食べたいと思いました。</p> <p>②食品ロスを無くすためにはどんなことができるのかと考えていくうちに、自分も嫌いな食べ物はどうやったら食べることができているのかを調べたりして、食に対する考え方が変わりました。</p> |
| <p><b>中西美咲</b></p> <p>①料理を家で作ることはよくありましたが、捨てる場所を少なくしようと考えたことは、ありませんでした。ですが、今回のTRで食品ロスの原因を知り、廃棄される野菜や普段食べることはないが食べられるところを使って、料理を作っていました。始めは廃棄するところも多く出てしまいました。けれど、先生にどの部分が食べられるかを教えてもらい、意外な部分が食べられるという新しい発見がありました。</p> <p>②今まではトマトぐらいしか野菜を作った経験はなく、数も少なかった。野菜の種を植えるのを手伝わせてもらったが、植える量は多く、思っている以上に大変だということがわかり、農家の方々の凄さを実感することができました。</p>                                 | <p><b>藤井里名</b></p> <p>①畑で野菜の種を植えたり、なるべく捨てる場所を出さないように料理を作ったりしたけど、その中には失敗したものもあり、「捨てる部分を無くそう」と言っていたけど、実際に作ってみるとどうしても食べられない部分がたくさん出てしまいました。でも、普段捨ててしまうようなところでも工夫して調理すれば美味しく食べられることがわかりました。</p> <p>②食品ロスを減らすための取り組みを農家の方々やお店の店長さんに聞くと、それぞれいろんな工夫をされていることがわかったので、自分でもできることを考えられるようになりました。でも、簡単に「食品ロスを減らす」と言っていたけど、実際にはとても難しいことだということがこの活動を通して感じるすることができました。</p>  |

## 【担当教員 山口明 講評】

実際に野菜を育てて出荷するのは大変であることがわかったのではないかと思います。ブロッコリーの芯や大根の葉など食べてみると、とても美味しいものもありました。日頃の生活の中で少しでもフードロスを減らす努力をしていけるのではと思います。さらに社会全体にもこの問題を提起していけたらいいですね。

# 『真庭市の良い所』

4班 小林春翔・池本優生・藤久愛・中村綾那

## この活動をしようと思ったきっかけ・理由

- ・真庭市の魅力をもっと色々な人に伝えたかったから。
- ・SNSを通して真庭市のいいところを伝えたかったから。
- ・真庭のことを色々な人に知ってほしかったから。
- ・世界中の人に真庭市に興味を持ってほしかったから。

## 活動報告

- ・真庭市の公式アカウントで2000人の目標を達成することができた。
- ・今では2218人がフォローしてくれている。
- ・自分たちのアカウントを使って投稿したこと。
- ・真庭市の色々なところに行って写真を撮ったりしたこと。

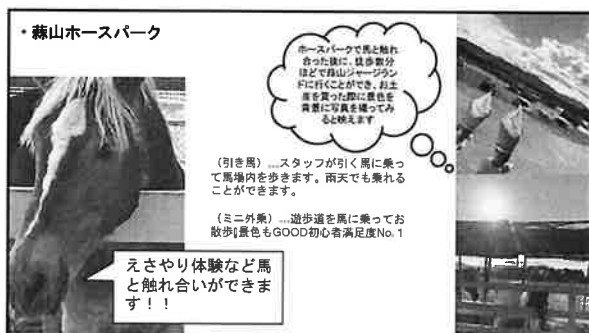


## 活動のきっかけと理由

- ・真庭市の魅力をいろいろな人に知ってほしかったから。
- ・SNSを通して真庭市のいい所を伝えたかったから。
- ・世界中の人に興味を持ってもらいたいから。

## 活動報告

- ・真庭市の公式アカウントで2000人の目標を達成することができた。
- ・今では2218人がフォローしてくれている。
- ・自分のアカウントを使って投稿した。



ホースパークで馬と触れ合った後に、徒歩数分ほどで萩山ジャージーランドに行くことができ、お土産を買った際に景色を背景に写真を撮ると映えます。その場でとれたミルクを使ったものもあります!

## ・木山寺・木山神社

木山寺は標高430mの山上にあり、秋になると紅葉が綺麗です。今年で創建1207年と歴史のあるお寺です。

木山神社は木山寺の少し下にあります。毎年初詣に多くの方が訪れます。今年で創建1206年です。



木山寺は、標高430mの山上にあり秋になると紅葉が綺麗です。

木山神社は木山寺の少し下にあります。毎年初詣に多くの方が訪れます。

どちらも歴史のあるお寺と神社です。



「日本百景」や「日本の滝百選」に選ばれています! また、滝近くには200匹近いサルたちが愛嬌いっぱいでお迎えしてくれます。高さが110m・幅20mと迫力のある滝です。

## まとめ

- ・真庭市のInstagramのフォロワー数を増やすことができた。
- ・真庭市の観光地を自分たちで見に行き、体験してそれを動画にして真庭市の人以外の人に魅力を知ってもらい真庭市に移住してくる人が増えるようなPR活動をこれからもしていきたい。



真庭市の観光地を自分たちで見に行き、体験してそれを動画にして真庭市の人以外の人に魅力を知ってもらい、真庭市に移住してくれる人が増えるような活動をこれからもしていきたいです。



## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

嶋田有一郎さん・石原歩美さん【真庭市役所秘書広報課】  
黒田和美さん【グリッチ合同会社代表】

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|   |   |
|---|---|
| <p><b>池本優生</b></p> <p>①InstagramのTR活動を通して真庭市のことを知ってもらうために日本だけでなく世界中の人に見てもらうことです。どのようにすれば真庭市に興味を持ってもらえるかをTR活動だけでなく、日々の生活から学び、それを生かしてメンバーと協力しフォロワーを増やせたことは、とてもやりがいがありました。TR活動があったことでコミュニケーション能力やみんなの意見をまとめることの大切さがわかりました。TR活動の中でも山口先生に色々なところに連れて行って貰ったことは凄く勉強になりました。現地に行き写真では学ぶことのできないものがあることを知りました。</p> <p>②以前よりみんなの意見や、資料作成などが順調に進むようになりました。他には、みんなと努力すると一人で作るよりいいものができることを知りました。</p> | <p><b>小林春翔</b></p> <p>①TRを通して自分達が住む真庭市について知れたし、真庭市のInstagramのフォロワーをたくさん増やすためにはどんな投稿をしたら良いかを考えることが出来た。あとは毎回のTRの時間でたくさん話し合いができてコミュニケーションも多く取れたのでメンバーで協力することとコミュニケーションの大切さをこのTRで学べてとても充実した活動が出来て良かったです。</p> <p>②TRを通して変化したことは、最初の方は1人1人で作業しているところもあったけど段々みんな協力し合えるようになって自分自身もみんなのことを考えられるようになったことです。</p> |
| <p><b>藤久愛</b></p> <p>①TR活動を通して真庭市の魅力やいいところを日本の色々な県の人たちや海外の人たちにも知ってもらえてSNSの力はすごいなと思いました。コミュニケーションを取るのが苦手だけどグループのみんなと協力して意見やアイデアなど出し合えたので良かったです。</p> <p>②TR活動を通して最初は初対面の人しかなくて気まずかったけど一緒に活動していくうちに言いたいことも言えるようになり自分のことやみんなのことも考えられるようになりました。</p>  | <p><b>中村綾那</b></p> <p>①今回のTR活動で初めて真庭市のいいところや観光地をInstagramを通して発信をして世界中の人々に真庭市の魅力を知ってもらえるような活動ができました。真庭市役所の方々や地域の方々と意見交換をし、コミュニケーション力も身につきました。山口先生に色々なところに連れて行って貰い写真を撮って歌詞動画を作ることができて良かったです。</p> <p>②初対面の人と会話することは苦手だったけど今回のTRを通してグループのメンバーと意見を話したり積極的に話し合いに参加できるようになりました。</p>                          |

## 【担当教員 山口明 講評】

今回、真庭市の公式Instagramの”真庭市のいいところを発信する”という活動に参加させていただくという貴重な体験をすることができました。画像だけでなく、動画も投稿することを目標に頑張りました。色々なところに行きましたが、初めて行く場所もあったようですね。近い所には意外と行かないということもあるかもしれません。真庭市は自然が豊かで、とてもいい観光資源がたくさんあります。さらに、真庭市をアピールして、観光客や人口を増やすにはどうしたらいいか?なども考えることができたらいいいのではないのでしょうか。また、真庭高校の宣伝動画などを作成してみるのもいいかでしょうか。

# 『障がいを持った子どもたち

## ～一人ひとりの個性を大切にするためには～』

5班 立川天馬・岩本瑞稀・馬坂歩来和・平尾彩乃

### 目的

将来の夢が看護師、保育士を目指すものとして子どもたちとの関わり方を学びたいと思ったから。



### 調べたこと

放課後デイサービスとは？

・障がいのある子どもたちや発達に特性のある子どもたちが放課後や長期休暇に利用できる福祉サービス。

・真庭の放課後デイサービスには教室が3つ

「ピタゴラス」「マルコポーロ」「ペリー」

ピタゴラス⇒「私だってできる」の育成を目的とする！

マルコポーロ⇒バリアフリーでも楽しめる！

ペリー⇒現代に必要なスキルを身につけられる！

私たちは、看護師、保育士を目指すものとして子どもたちとの接し方、触れ合い方、真庭市はどのように障がいのある子どもたちを支援しているかなどについて知りたいと思い、ピタゴラス放課後真庭と関わることのできるグループに参加しました。

真庭市の放課後等デイサービスには教室が3つあり、それぞれに「ピタゴラス」「マルコポーロ」「ペリー」という名前がついています。ピタゴラスは「私だってできる」を目的とし、マルコポーロはバリアフリーでも楽しめる施設、ペリーは現代に必要なスキルを身につけられる施設になっています。

### 活動内容(1)



子ども達と頭を使って手足を動かし、子ども達と学びながらふれあう。

子ども達とのふれあいを通して子ども達との接し方を学ぶ。

放課後デイサービスに訪問し、障がい者支援について学ぶ。

ピタゴラス = 料理、ゲーム  
マルコポーロ = 鬼ごっこ、竹馬、車いす体験  
ペリー = ジップライン、編み物、動画

### 活動を通して出てきた疑問

放課後デイサービス以外に特別支援教育と言うものがある

放課後デイサービスと特別支援教育の違いは？

そもそも特別支援教育ってなに？

特別支援教育とは？

障がいのある子どもたちの自立や社会への参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点にたち一人ひとりの教育ニーズを把握する。そしてその子自身が持てる力を高め、生活面などを改善するために必要な適切な指導を行うこと。

私たちは実際に放課後等デイサービスに行きました。自分から話しかけてくれる子もいましたがこちらから話しかけないと話してくれない子もいました。そこから私たちは子どもたちに興味を持ってもらわないといけないということを学びました。

そこで私たちは岡山大学の宮崎先生のご講義を聞きました。そして放課後等デイサービス以外に特別支援教育という支援制度について詳しく学べました。特別支援教育については自分たちが知らなかったことも知ることができました。

### まとめ

私達はこの活動を通して2つのことを学びました。

1つ目は、障がいを抱えている子との接し方について

⇒出来ること、得意なことに目を向け、強みを発揮できるように支えていく。苦手なことは長い目で見守る。

2つ目は、特別支援教育とはどんな福祉サービスなのか

⇒特別な教育的ニーズのある人に対して適切な支援を行い最大限力を伸ばすための教育ですすべての学校で行われるもの。

### SDGsとのつながり

・子供たちの興味のある学びについて調べて、そこからどのように広げ、知りたいことを教える。

⇒SDGs 4番「質の高い教育をみんなに」



・子どもたち一人ひとりの個性を尊重して、積極的に話したり行動したりしたい。

⇒SDGs 10番「人や国の不平等をなくす」



私たちは今までの活動を通して障がいのある子どもたちの個性を大切にしていけないといけないということを学びました。一人ひとりの考えや行動を尊重してあげることが必要だということをこれから意識していきたいです。

私たちの活動はSDGsの4と10に当てはまるのではないかと考えました。障がいのある子にも分け隔てなく接することが大切だと考えたため、そうした社会の実現を目指していきたいです。

## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

長綱かほりさん・江森美玖さん他【ピタゴラス・マルコポーロ・ペリー放課後真庭の職員】  
宮崎善郎先生【岡山大学教育学部】

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|  |   |
|--|---|
| <p><b>立川天馬</b></p> <p>①「障がい」とは個人の問題ではなく社会の問題であり、社会が自分たちと違う要素のある人を異端だと認識しているから出てくる言葉であることが分かった。障がい者は身体に不自由があるだけで特別な存在ではなく他の子とほぼ変わらない人であること、周囲と同じ生活を送れるように社会や周りの人々が手助けをすること大切だと学んだ。</p> <p>②今までは障がいについてあまり知識がなく、障がいのある子どもたちがどういった日常生活を送っているのか疑問を多く持っていた。しかし障がい者支援について学ぶにつれて、障がいについての考え方や障がいのある子どもたちへの接し方が当初から変わったのを感じた。</p>  | <p><b>岩本瑞稀</b></p> <p>①障がい児を対象とした様々な福祉サービスがあり連続性のある「多様な学び場」を社会が提供していることを学んだ。生活しやすい環境を作るには障がい者が積極的に社会に参加・貢献出来る雰囲気を作ることが大切だということも学んだ。</p> <p>②1学期の活動では自分から子どものもとに行くことが難しく子どもたちとのふれあいがあまりできなかったけれど、ピタゴラスの方のお話や岡山大学の宮崎先生のご講義などを聞き、子どもたちの個性を理解した上でその子にあった接し方を考える事ができるようになり子どもたちの良いところやできることに目を向けられるようになった。</p>   |
| <p><b>平尾彩乃</b></p> <p>①最初は障がいのある子とどう接していけばいいのかわからなかったけど、TRで活動し、調べていくうちに子どもたちの個性を大切にしながら行動していくべきだと思った。自分から話しかけてくれる子もいたけど私たちから話しかけないと話してくれない子もいて、最初は自分から積極的に話しかけることができず、どうすればよいかわからなかったけど、自分たちに興味を持ってもらえるようにすることで自分から話しかけていく事ができた。そして特別支援教育は障がいのある子がいきいきと日常生活を送るためにサポートしていることを学んだ。</p> <p>②最初は緊張して自分の意見や質問したいことを発言することができなかったが、回数を重ねていくうちに分からないことや疑問に思ったことが発言できるようになった。自分から積極的に子どもたちに話しかけられなかったが後半はその子がしていることや、好きなキャラクターなどの話をして自分から話しかけることができた。また、岡山大学の宮崎先生のご講義を聞いて、障がいのある子一人ひとりにあったコミュニケーションを取れるように意識しながらふれあう事ができた。</p> | <p><b>馬坂歩来和</b></p> <p>①このTRを通して1学期は何も知らないまま障がいのある子どもたちとふれあっていたけど2学期、3学期になるにつれて障がいのある子どもたちは一人ひとり個性があってその個性を大切にすることが大事だと思いました。障がいのある子どもたちの接し方も前は障がい者はできることが限られていて決められていることをするだけかと思っていただけ放課後等デイサービスは自分の得意なことに目を向け支えていくこと、苦手なものは長い目で見守ってあげることが大事だと学びました。</p> <p>②私は放課後等デイサービスの最初のイメージがその日やることを大人が決めて決めたことだけをやることだと思っていたけど訪問するに当たって放課後等デイサービスは得意なことに目を向け得意なことを伸ばしていき苦手なものは長い目で見守っていくということがわかりました。その他にも自分から積極的に話しかけることや自分から発言や質問をすることが苦手だったがこのTRでの話し合いや施設訪問のおかげで自分からコミュニケーションを取れるようになりました。</p> |

## 【担当教員 藤田優衣 講評】

この班の強みはコミュニケーション能力と行動力だと思います。メンバー同士気さくに声かけをし、手の足りていないところには必ず誰かが入る様子が見られました。そうしたみんなの明るさや優しさは、実際の施設訪問で子どもたちにも伝わっています。子どもたちに一瞬で好かれる様子には感心しました。みんなの目指す進路に必要な不可欠なこの力を、失うことなく保ち続けてほしいです。


# 『障がいを持っている人への偏見をなくす

## ～ 障がいのある子どもたちと関わって ～

6班 秋田 美有・春木 葵・船木 愛結花・豆原 雅人

～目的～

- ・障がいのある子どもたちのことについてもっと詳しく知るため
- ・子どもたち一人一人の特性について知りたいため
- ・特性を持っている人がどんな感じなのか理解するため
- ・もともと持っている障がい者へのイメージではなく新しい障がい者の個性を見つけるため



最初の活動目的は「子どもと上手に話せるようになりたい」というものだったが二学期のいろんな活動で活動の主旨が変わっていったことがわかった。主旨が変わった理由は障がいのある子どもへのイメージが大きく変わったことにより一人ひとりの考え方やどんなことを学びたいかが変わったからである。

～仮説～

最初の障がいのある子へのイメージ

障がいのある子どもとの接し方

怖い？ 特別な子？ 話しかけにくい？

相手の好きなことについて話せば話しやすい？

はじめは勝手に障がいのある子に対し偏見の目で見ていたが、岡山大学の宮崎先生やピタゴラス放課後真庭のスタッフの長綱さんから話を聞かせていただき、活動を重ねるうちに積極的に話せるようになり、自信がいった。相手の好きなことについて話せば話しやすいのではないかとという仮説が4人とも同じということがわかった。

～ 活動内容 ～

3回目のピタゴラス訪問

キャベツの収穫！

スープ作り！

完成したスープを美食！

仲良くなった子どもたちと近くの畑にキャベツの収穫にいき施設に帰って一緒にスープを作った。その後完成したスープをみんなで食べた。子どもの好きなことに私たちが興味を持つことで子どもとの仲が深まることがわかった。

～ 活動内容 ～

←岡山大学の宮崎先生のご講義

リモートで障がいのお話について聞かせてもらい障がいを持つ子どもたちへの考えも変わった

←長綱さんと江森さんのお話

普段の施設の様子や子どもたちとどのように関わっているのかを教えてもらった

障がい児に関わっている方々に話を聞き、子どもたちとどのように関わればいいのか、施設の人たちは子どもたちとどのように接しているのかがわかった。私たちは子どもたちに怖いという印象をもち、自分から壁を作っていたことがわかった。

～学んだこと～

- ・固定観念にとらわれ自分から壁を作らず、身構えずに広い考えで接する。
- ・障がいは本人だけの問題ではない
- 周囲からの理解が必要

障がいは障がい者自身が抱えているものではなく、社会に存在している。

「怖い」などの固定観念にとらわれて自分で壁を作らないことや、障がいは本人だけの問題ではなく周囲からの理解が必要ということ学んだ。障がいは、障がい者自身が抱えるものではなく社会に存在するものなのだと改めて理解した。

～ SDGs との関わり ～

- ・障がいに対する差別&偏見をなくす
- ・障がいをもっている人の良さを知らってもらう
- ・障がいに対しての知識や理解を深める

障がいに関して気軽に学べる場を作る！

障がいのある人とふれあう中で良さを知り知識や理解を深めたことで、障がいに対する偏見をなくすきっかけになった。自分から障がいについて学びたい人が少ないということが社会の課題であると感じた。

## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

長綱かほりさん・江森美玖さん他【ピタゴラス・マルコポーロ・ペリー放課後真庭の職員】  
宮崎善郎先生【岡山大学教育学部】

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういうことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|   |   |
|---|---|
| <p><b>秋田美有</b></p> <p>①子どもたちと仲良くなりたいたいという気持ちで訪問に行っていたけれど、子どもたちからすれば見ず知らずの人だからすぐに心を開いてもらえないのが普通なんだということに気づいた。障がいがあるからといって、特別な子だというわけではなく私たちとなんら変わりないんだということにも気づいた。自分たちが持っている勝手な固定観念をなくすことで、子どもたちに対しての見方も大きく変わるということを学ぶことができた。</p> <p>②はじめは、障がいがある人は怖いという偏見を持って自分から話しかけることができなかったが、関わっていくうちに、偏見もなくなっていく、だんだん自分から話しかけることができるようになった。そして、子どもたちから話しかけてきてくれるものだとはじめは思い込んでいたが、子どもたちからすれば私たちは初対面の人だから話しかけづらいということ意識したことで、自分から声をかけられるようになり、仲良くなることもできた。</p> | <p><b>船木愛結花</b></p> <p>①子どもたちと仲良くなるには子どもたちの立場になって考えを理解し関わっていくことが大切だと思った。子どもたち一人ひとり個性があって、施設では自分の好きな遊びができて、行事もたくさんあって友達や先生と遊べるから子どもたちにとってはすごく楽しい場所だと思った。</p> <p>②最初は子どもたちにどう接したらいいかわからなくて全然話せなかったけど、宮崎先生の話聞いてからは自分から積極的に子どもたちに話しかけることができた。今回のTRの活動でもっと子どもたちと仲良くなりたいたいという気持ちが強くなった。</p> |
| <p><b>春木葵</b></p> <p>①子どもたちと関わって仲良くなることの難しさがわかった。どんな特性を持っている子でも自分は子どもが好きということに変わりはないから子どもたちについてたくさんいろんなことが学べた。</p> <p>②最初障がいのある子や人は怖いという偏見をもっていたがたくさんの人と関わり話を聞いていく中で障がいがあるからといって障がいのない子とそんなに変わらないということがわかった。少し考え方が違うだけ思えばいいとわかった。全然話せなかったが何回もあって話せるようになり障がいに対しての考え方が変わった。</p>   | <p><b>豆原雅人</b></p> <p>①特性といっても一括りにできるものではなく、一人ひとりにそれぞれ別々の特性があり、その子に合った接し方を模索していく必要があることを学んだ。</p> <p>②最初は特性のある子どもたちと関わる時に気張ってしまっていたが、長綱さんや江森さん、宮崎先生のお話を聞き、子どもたちに興味を持ってもらうよう工夫するのではなく、子どもたちの興味のあることを話題にしたり、理解することが大事ということが分かって実践できた。</p>  |

## 【担当教員 藤田優衣 講評】

この班は思考力と表現力にかなりの伸びが見られました。様々な人の協力を得るなかで、今までの価値観や考えを見つめ直し成長する姿を見て、驚きと喜びを感じました。自己を理解したうえで他者を理解しようとすることは、これからの社会でとても大切な力です。そうした考えを周囲に発信する力も身につけたみんなであれば、きっとすてきな社会が実現できると信じています。



# 『地域の団らんの場を作る』

## ～住みやすい地域を目指して～』

7班 池田啓人・香川朔太郎・門野七星

### 活動のきっかけ

白梅の湯は家族や地域の人との団らんの場でもあり、とても暖かかったのを覚えている。

そんな場が完全になくなってしまわないように、地域の方と復活のために活動したいと思った。



### 〈インタビュー〉

実際に白梅の湯を訪ねてお話を聞いた。

〈目指しているもの〉

- ⇒ お客さんの興味を惹くもの
- ・身近にあって、気軽に来れる場所

私たちは、住みやすい地域を目指して団らんの場を作ることをテーマに、白梅の湯の再開に向けて活動しました。活動内容はインタビューやアンケートを実施し、白梅の湯の活性化のための提案をしました。

インタビューでは、白梅の湯があるリバーサイドホテルを訪ねて総支配人大谷考志さんにお話を伺いました。そこでお客さんの興味を惹くものや、身近にあって気軽に来れる場所を目指していることが分かりました。

### 〈アンケート〉

真庭高校の生徒、先生、保護者の方にアンケートを実施した。

当てはまるものを選んでください。  
280件の回答



● 1年  
● 2年  
● 3年  
● 先生  
● 保護者  
● 校長先生  
● 教員

### 〈提案〉

アンケート結果をもとに提案を考えました。

- ・休憩スペース
- ・施設内
- ・イベント



アンケートでは、真庭高校の生徒や先生、保護者の方に協力していただき280件もの意見が得られました。意見の中には選択肢に対する反対意見もいただき、とても参考になりました。

提案では、アンケート結果をもとに案を考え、大谷さんに、「休憩スペース」「施設内」「イベント」についての提案をしました。しかし現在の状況では実施困難な提案もあることがわかりました。

### 〈イベントを提案する上で〉

このイベントは、お客さんや地域の方の協力が必要になるものもある。

⇒お客さんや地域の方との交流が増え、リバーサイド、白梅の湯をより身近に感じてもらえる。

### 〈今後の課題〉

- ・男性中心の発想だったので女性の好みも把握する。
- ・イベントなどの情報発信をどうするか考える

お客さんや地域の方の協力が必要になるものもあり、特にお客さんに協力していただくことは難しいことかもしれません。しかし、協力していただけることで、お客さんや地域の方との交流が増え、白梅の湯を身近に感じてもらえることができます。

今後の課題は、「今までの提案は男性中心の発想だったので、女性の好みも把握し、新たな提案を行うこと」と、「イベントの情報発信をどのように工夫するか」です。

## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

大谷考志さん【有限会社サンライズ総支配人】

教職員、保護者

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

池田啓人

①白梅の湯を復活させるためにメンバーのみんなと協力して温泉の魅力を調べることができました。イベントを考える時、1人で考えるよりみんなで考えるほうが素晴らしいアイデアが生まれ、協力する大切さを学びました。保護者や生徒そして先生方にアンケートに協力してもらい貴重な意見が聞け、アンケートの必要性を再認識しました。

②最初は、あまりTRに積極的ではなかったけど、みんなで活動しているうちにTRが積極的になりました。そして、白梅の湯の魅力をたくさん知ることができ、白梅の湯を復活させてほしいという声をたくさん聞き、私も役に立てるように、積極的に行動しました。

門野七星

①白梅の湯を復活させるために、班のみんなや、大谷さん、地域の方々などに協力してもらい、色々な意見が聞け、温泉を復活させようという思いが強くなりました。1人ではなく、班みんなが協力してからこそできる活動だと気づきました。大谷さんに協力してもらい、様々な経験を積むことで、仲間の大切さがわかりました。

②はじめはやらされている活動と思っていたが、先生や地域の方々、保護者の方にアンケートを取り、ほとんどの人が、復活させて欲しいと考えていることを知り、みんなの役に立ちたいと思い、積極的に活動に参加することができました。

香川朔太郎

①白梅の湯を復活させるために班のみんなで見解を共有し、実際にリバーサイドの大谷考志さんにお会いして貴重なお話が聞けました。保護者や先生方にアンケートを実施して今の白梅の湯には何が必要なのが気づきました。スライド作成に困っている時、仲間が助けてくれ、協力する大切さを学びました。

②最初はみんなTRに積極的ではなく、話し合いだけで1時間が終わることもありましたが、最近では行動に移せるようになりました。そして、企画案を考えたりと、とてもやりがいのあるTR活動になりました。保護者や地域の方々に復活してほしいとの声を上げてもらって私も復活させたい、役に立ちたいと思い、積極的に話し合いやTR活動に参加しました。



## 【担当教員 佐古和俊 講評】

この活動を通して3人が着実に成長してくれたことをとてもうれしく思っています。グループ内で気軽に意見交換するために親和的な雰囲気作りを心がけることができるようになったり、グループリーダーとして、まとめ役や司会進行で力を発揮できるようになったりと、それぞれがこの1年間で協働性を身につけてくれました。また、グループで共有した考えを堂々と発表できる表現力も身につけてくれました。この力を生かして、来年度の活動がより良いものになることを期待しています。

# 『地域の団らんの場を作る』

～住みやすい地域を目指して～』

8班 新田陽菜・松永知子・神吉咲恵・池田一花

## 活動の目的

白梅の湯の再開において、より活性化できる案を考え、提案する。



活動の目的は、白梅の湯の再開において、より活性化できる案を考え提案することです。インタビューやアンケートを実施して、その結果を取り入れた案を考え提案しました。

## 〈インタビュー〉

実際に白梅の湯を訪ねてお話を聞いた。

〈目指しているもの〉

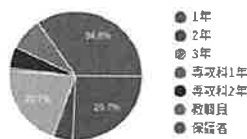
- ⇒ お客さんの興味を惹くもの
- ・身近にあって、気軽に来れる場所

インタビューでは、白梅の湯があるリバーサイドホテルを訪ねて、総支配人大谷孝さんにお話を伺いました。そこで、お客さんの興味を惹くものや、身近にあって気軽に来れる場所を目指していることがわかりました。

## 〈アンケート〉

真庭高校の生徒や先生、保護者の方に向けてアンケートを実施した。

280件もの回答を参考にすることができた。



アンケートでは、真庭高校の生徒や先生、保護者の方にもご協力いただき、280件もの回答を参考にすることができました。回答の中には、選択肢に対する反対意見も出ていて、「施設内の感染対策をどのように実施できるか」も問題として挙げられました。

## 〈提案〉

アンケート結果をもとに提案を考えました。

- ・休憩スペース
- ・施設内
- ・イベント



提案では、アンケート結果をもとに案を考え、大谷さんに「休憩スペース」「施設内」「イベント」についての提案をしました。しかし、新型コロナウイルスが収束していない状況では実施は難しいと思われます。

## 【イベントを提案する上で】

このイベントは、お客さんや地域の方の協力が必要になるものもある。

⇒お客さんや地域の方との交流が増え、リバーサイド、白梅の湯をより身近に感じてもらえる。

イベントは、お客さんや地域の方の協力が必要なものもあり、特にお客さんに協力していただくのは難しいことかもしれません。しかし、協力していただくことで、お客さんや地域の方との交流が増え、リバーサイド、白梅の湯をより身近に感じてもらえると考えます。

## 一年間の活動を振り返って

本格的に活動を始めるのが遅くなった。  
アポイントメントを生徒がとれなかった。



一人一人意見が出るようになった。  
進んで取り組めるようになった。

一年間の活動を振り返って、はじめは、本格的に活動を始めるのが遅くなったり、アポイントメントを自分たちで取れなかったりしていましたが、活動をしていくうちに一人一人意見が出るようになり、アポイントメントやスライド作りなども進んで取り組めるようになるなどの成長がありました。

## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

大谷考志さん【有限会社サンライズ総支配人】  
教職員、保護者

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

### 新田陽菜

①インタビューを行うときや発表を行うときに事前に質問をまとめたり、スライドの作成をしたりするなど、行動を起こすには事前の準備が大切だということに気づきました。インターネットだけでは探求活動をするのに限界があったけど、インタビューをしたり、アンケートを取ったりして活動できたことはいい経験になりました。また、一人ではなく、みんなで協力することで目的を達成できることを学びました。

②TR活動を始めた時はなかなか意見が言えずに周りの意見に流されていたけど、活動時間が増えるに連れて自分の意見が言えるようになりました。中間発表ではスライドを作るのが精一杯で探究が全然できていなかったけど、アンケートや提案を考えることで深く探究できました。

### 松永知子

①何か小さいことでも動けると、そこから活動が広がり充実してくることが分かりました。アンケートの作り方やアポイントメントのとり方、見やすいスライドの作り方など、自分の将来に役立てられることを学びました。スライドには写真やイラストが多くあった方が見やすいことに気づけたので、次にスライドを作るときは事前に写真やイラストを用意しておこうと思いました。

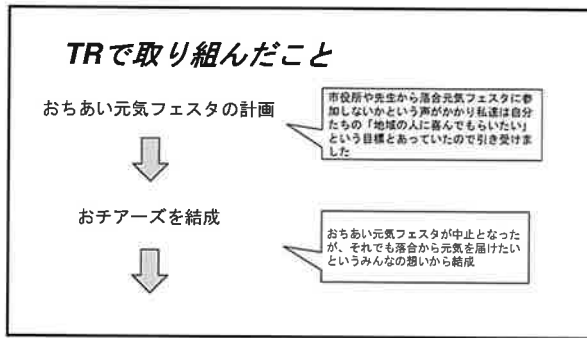
②はじめは一人で勝手に進めてしまうことがあり、周りに意見を求めるなど班での協力が難しかったけど、活動を続けるうちに、役割分担を考えたり周りの意見を聞いて動けるようになっていて、成長を感じました。中間発表のときはスライド作りに慣れず、内容が薄かったり写真やイラストの無いものになりましたが、リバーサイドでのインタビューをきっかけにアンケートや提案など、一気に活動の幅が広がりました。忙しくはなりましたが、その分、進んで取り組む力もついてきたと思います。



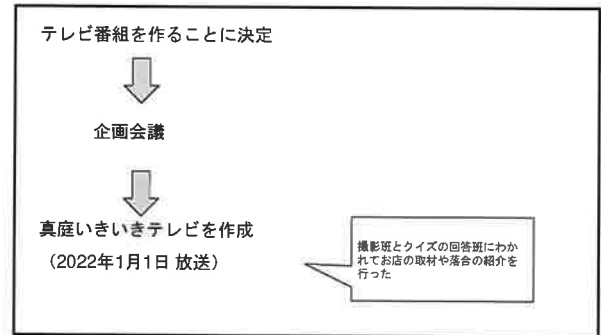
## 【担当教員 佐古和俊 講評】

年度当初は遠慮がちに意見を言ったり指示を待っていたり、あまり積極的な活動ができませんでした。しかし、大谷さんへのインタビューをきっかけに、しっかり考え試行錯誤しながら、粘り強く取り組むことができました。また、相手の思いを受け入れながら自分の意見を伝えられるようになり、協働性も身に付きました。このTRで身に付けた力が来年度の活動に生かされることを信じています。

# 『落合元気プロジェクト～落合を元気にするために～』 9班 藤森美葵・沼桃香・平井歩未



落合を盛り上げたいという思いでおちあい元気フェスタの参加しようと思っていましたが、コロナの影響でおちあい元気フェスタが中止となり、ほかにできることはないかなと市役所の方たちと話し合い落合から元気を届けたいという思いからおチアーズを結成しました。



おチアーズで話し合った結果、テレビ番組を作ることになり、どうしたら楽しんでくれるかなど案を出しながら企画会議を進めました。



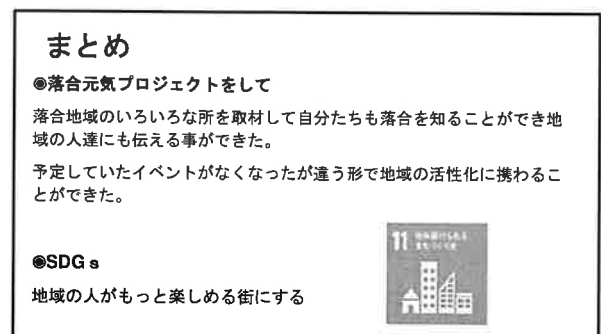
最終的に出来上がった番組は一時間のお正月番組として落合を知ってもらうために令和4年1月1日に真庭いきいきテレビで放送されました。



番組を撮影する時には、撮影班と回答班にわかれてきました。撮影班は、お店の方にインタビューをしたり、照明や音声を担当しました。アグリガーデンや普門寺、市内の羊薬店などで取材をさせてもらいました。



回答班は、落合振興局のホールをスタジオにして収録しました。撮影班が撮影したVTRを見ながら、落合についての問題に答えるというクイズ形式で行いました。



落合元気プロジェクトを通して、落合の魅力や地域の人との関わりを知ることができ、番組を通して落合の良さをたくさんの人に伝えることができました。会議や撮影を通して自分から積極的に意見を言うことの大切さを学びました。



## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他のの方々)

西本浩史さん【真庭市地域おこし協力隊】 中島一郎さん【落合振興局地域振興課】  
 小林督治さん・道満洋和さん・有森匠さん・WESTNOSE【おチアーズ】  
 菱川陽平さん【真庭いきいきテレビ】 和田ひろみさん【普門寺】  
 黒田和美さん【グリッチ合同会社】 番組作成に関わってくださった方々・視聴者のみなさん

## ■各自の振り返り

- ①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと
- ②今年のTR活動を通して感じた自分の変化  
 (どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

### 藤森美葵

- ①落合元気プロジェクトを通して、番組を作ることの大変さや人とコミュニケーションを取ることの大切さを学びました。
- ②最初は、自分の意見を積極的に相手に伝えることができなかつたけど、企画会議など番組制作を進めるに連れ大人の人達と話す機会が多くなりました。自分が発言しないと企画会議ができないから番組制作が進まないということがわかり、自分から意見を言うことによつて積極的に意見を言えるようになりました。

### 沼桃香

- ①落合元気プロジェクトを通して、自分から積極的に話しコミュニケーションを取ることの大切さが分かりました。
- ②人の前で発表したり意見を出すのが苦手だったけど、番組撮影や大人の方と話していくにつれてだんだん自分から話せるようになりました。  
 普段話さない普通科の人や地域の方と話す機会が増えて、真庭市の魅力を知ることができ、真庭についても詳しくなれました。

### 平井歩未

- ①落合元気プロジェクトを通して、コミュニケーションの重要性や番組作成に初めて参加し、作成の様子を見て大変さが分かりました。
- ②話し合いを進めていく上で、様々な人と関わることができて、最初の頃の自分と比べると自信がついて成長することができたと思います。緊張することも多かつたけど、真庭の方々と協力して良い番組を作ることができました。番組作成によつて真庭の良いところも知ることができました。



## 【担当教員 森腰美奈 講評】

皆さんの活動の目標は、【地域の人に元気になってもらうこと】でしたね。はじめに考えていた内容とは変わりましたが、目標はブレずに活動ができたと思います。グループ内の話し合いでもなかなか意見が出ず心配したこともありましたが、企画会議で発言できたことやロケで堂々とインタビューできたこと、ロケのスタッフとして周囲をよく見ながら動いていた姿に成長を感じました。成果発表の際も実際の番組を見ていただくことを提案でき、自分たちの活動が相手に伝わる工夫を考へることができましたね。2年生の活動にも繋げていって欲しいと思います。

# 『地域の人を笑顔にしたい』

10班 森本妃音・矢田部心鈴・大家沙織

**なぜこのテーマを選んだのか**

コロナ禍でも地域の人に喜んでもらいたいから  
落合地域から地元の魅力を発信したいから





そのためには？

私達は地域の方を笑顔にしたいという思いと、落合地域から地元の魅力を真庭市全体に発信したいという思いから、この活動を始めました。そして、毎年行われている落合元気フェスタのスタッフとして参加させていただくことになりました。

**番組作成をするまでの流れ**

元気フェスタに協力  
↓  
元気フェスタがコロナで中止  
↓  
MITの番組作成のお誘いをいただく  
↓  
MITの番組作成に参加する





参加させていただく予定だったイベントが中止になり、イベントの代わりになる番組をMITで作成することになりました。番組作成には、より多くの人に地元の魅力を発信できるということから参加させていただきました。

**活動① (企画会議の流れ)**

番組名の案をそれぞれで考え  
意見交換  
↓  
どんな番組にしたいのか考え  
内容を決定  
↓  
対象や時間、アンケートの  
答え方を相談

おチアーズの中島さん



企画会議ではおチアーズの方々と一緒に、興味を持ってもらうにはどうすべきか、楽しんで見てもらうにはどうすべきか、自分たちの目標達成にはどうすべきか、など様々なことを話し合いました。

**活動② (ロケ収録撮影)**

収録した番組

撮影の様子

照明、マイクなど

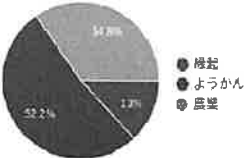



ロケや収録では、出演をしたり、撮影の手伝いをさせていただきました。わからないことばかりでしたが本格的な機材を使ったりなど、とても貴重な経験をすることができました。

**活動③ (アンケートの結果)**

■地域の人のコメント  
▼落合地域の知らないことをたくさん知れて楽しかった。クイズ形式だったので楽しく見る事ができた。羊羹のことも色々知れた。

3つのテーマの中でどのテーマが一番興味を持ちましたか。



● 縁起  
● ようかん  
● 産婆



番組を見てくれた方にとってアンケート結果です。クイズ形式で楽しかったというコメントが多く、続編が見たいというコメントもありました。思ったよりも良かったという意見が多かったです。

**まとめ**

- ・落合について知らなかったことなどを紹介することができた
- ・目標が達成できた

お店まで訪れてくれる人を増やす

地域を活性化させる

TRの活動で、私たちの目標でもあった地元の魅力を落合地域から発信したいという目標が達成でき、たくさんの地域の方に喜んでもらうことができ、企画会議や番組収録などの場面でコミュニケーション力も高められたと思います。

## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

西本浩史さん【真庭市地域おこし協力隊】 中島一郎さん【落合振興局地域振興課】  
 小林督治さん・道満洋和さん・有森匠さん・WESTNOSE【おチアーズ】  
 菱川陽平さん【真庭いきいきテレビ】 和田ひろみさん【普門寺】  
 黒田和美さん【グリッチ合同会社】 番組作成に関わってくださった方々・視聴者のみなさん

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

### 森本妃音

①落合元気プロジェクトから番組の作り方やコミュニケーションのとり方、機材の扱い方を学びました。番組作成は企画会議から始まり、たくさんの種類の機材を扱うロケ撮影や収録、経験したことのないことばかりでとてもいい経験になったなと思います。

②あまり自分が思っている意見を相手に伝えることができなかつたけど企画会議や番組作成などを通して、前よりは意見を言えるようになりました。普段することのない番組作成など貴重な経験ができてとても良かったと思います。

### 矢田部心鈴

①MITの番組作成で、企画をすることの大変さ、機材を扱うことの大変さ、地域の方とのコミュニケーションのとり方などたくさんのことを学ぶことができました。自分たちは今まで先生に言われて行動をすることが多かったですが、このTR活動を通して自分たちが積極的に行動することや自分たちなりの答えを出したりなど班のメンバーと協力しながら活動をすることができました。番組を通して落合地域の新しい魅力に気づくことができました。

②今までは地域の方と話す機会もなかつたし、番組を自分たちで作り上げるのはこの機会がないとできないことだと思うので貴重な体験ができました。番組制作で自分たちのコミュニケーション力が身につく、目標を最後までやり遂げることができました。

### 大家沙織

①MITの番組作成に参加させていただいたことで、楽しんでもらえる方法や興味を持ってもらう方法など、考える力がついたと思う。経験したことのないことばかりでテレビ関係の方や、企画を立てる方の大変さも学ぶことができたと思う。

②地域の方とコミュニケーションを取ることで、TRを始める前よりも人とのコミュニケーションを上手く取ることができるようになった。貴重な体験を沢山させていただいて、初めてのものに緊張はしたけど、積極的に協力したりできるようになった。



## 【担当教員 森腰美奈 講評】

活動を始めたときは落合ヒカリプロジェクトを引き継ぐという予定でしたが、【地域の人を笑顔にしたい】という目標に向かって、内容が変わってもブレずにしっかり活動できましたね。企画段階から「対象者」のことを意識するなど、番組の先にいる人に喜んでもらうという視点を持ちながら活動できていたことが素晴らしいと思います。番組のアンケートでは、皆さんの活動に対して今後に期待する意見もたくさんいただきました。ぜひ2年生の探究活動に繋げていってほしいと思います。

# よすがプロジェクト


## 『シェアハウス作りで人の輪を広げる』①

11班 宮本千愛・毛利まり・山中愛望

**なぜ空き家が社会問題になっているのか？**

- 不法侵入等による治安の悪化。  
(野良犬・野良猫・不審者・放火・・・)
- 地域の財産である景観の悪化。
- 人が住んでいるときより住んでいないときの方が建物の劣化のスピードが早い。
- 建物の老朽化による倒壊。

そもそもなぜ空き家になるのか・・・？



親と子の世代交代...  
独居老人...

若い人は都会へ進出。  
そのまま新たな土地へ...

**私たちの目的**

シェアハウスって何のためにあるの？  
田舎にシェアハウスがあっても地域は活性化しないのでは？

私達は、働き方が変化している今、「家を固定しない」生き方に興味を持ちました。その中で、人とのふれあいや地域に貢献できることを考え、生活をデザインすることについて考えていこうと決めました。

ただ、シェアハウスが余野にあることで地域が本当に活性化するかという疑問を抱えながら、今は活動をしています。

真庭市に限らず過疎地域では、近年空き家が問題になっています。余野地域も空き家の問題を抱えている地域の一つです。空き家が社会問題になっている背景や空き家が増えてしまう理由について検討しました。

余野に住む藤田さんとシェアハウスをただ創るのではなく、生き方や暮らし方について考えていくことで自分たちの将来についても考えることができました。家を固定しない生き方に興味を持ちつつ、シェアハウスが余野にあることで地域が本当に活性化するか疑問を抱えながら活動することができました。

**余野ってどんなところ？**  
—落合人から見た余野—


【第一印象】  
余野はとても自然が豊かで綺麗なところ。

【落合と比較】  
落合にも山や川はあるが余野ほどきれいではない。

【コントラスト】  
余野の山や木々は本当にきれいな緑色で青空との相性が抜群。


【生命線の水】  
川は透き通っていて余野の自然のきれいさがよくわかる。

【地域の音】  
余野は静かで鳥の鳴き声と風の音がよく聞こえました。



**TRY①**  
リノベーション中のよすがへ突入！

最初にもらった写真とは大きく変わっていた。  
→家の構造などをしっかりと見れた。  
The 和風という感じ！  
→この雰囲気を保つのもいいな・・・。  
家を建てるときに天井にある柱を見た。  
→名前が書かれた札があった。  
→建築された大工さんが残したのも庭も自然が綺麗。  
→もっと整備したほうがいいとおもった！




余野地区は、落合地区に住んでいる私たちから見てもとても自然が豊かで、私たちが住んでいるところとはまた違う綺麗さがありました。実際に川に入ったり、生き物触れたりすることで、余野地区の美しさを感じることができました。

リノベーション中のシェアハウス“よすが”の中は最初にもらった写真とは大きく変わっていて、和風な雰囲気の家をしっかりとみることができました。天井裏の柱に名前が書かれたお札があり、これは当時の大工さんが残したものであると知りました。また、庭も自然がいっぱいでしたが少し整備したほうがいいと思いました。

**TRY②作業—竹切り・竹割り—**

余野の空き家（課題①）  
×  
余野の放置竹林（課題②）  
↓  
変革・イノベーション！  
”掛け算”で解決！

余野には放置竹林がたくさんある！




**TRY②作業—竹切り・竹割り—**

- 1.竹の1メートルのところに印をつける
- 2.印をつけたところを切る(ノコギリかチェーンソー)
- 3.1メートルの長さになった竹を縦に割る
- 4.竹の中の節を割る(ハンマー)

どれも力とやる気が大切！

この竹は、炭にしてよすがの地面に敷きます。(湿気取り)



#よすがは、沢山の人の思いが詰まっている。  
#以前住んでいた方の思いを継承したい。  
活動中、藤田さんから余野に沢山の放置竹林があることを教えてもらいました。この竹をシェアハウス作りにも使うことにし、空き家問題と放置竹林問題を合わせることで新しい発想を生み出せると考えました。

放置された竹は切ったり割ったりしてシェアハウスの床下の湿気をとるための炭にして敷いていきました。竹をノコギリで切ってみましたがかまく切れず、どの作業も大変でした。

⇒⇒⇒②(次ページ)に続きます。

## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

藤田亮太さん【leal.lab 代表】 藤本一志さん【一般社団法人コミュニティデザイン】  
 松尾敏正さん(一家)【一般社団法人コミュニティデザイン代表理事】  
 石橋千賀良さん【株式会社年貢代表取締役】 石原佑美さん【TUMUGU(プロカメラマン)】  
 入江大地さん【入江設備代表】 中川悠斗先生・大橋勝利(卒業生)・余野地区の方々 等

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

### 毛利まり

- ①1つの活動を行うには沢山の人の協力や労力が必要になること。権利があれば責任もあり、それらは裏表一体で離れられないこと。本気で取り組むことで人の輪が広がり、信頼を得ること。周りの変化についていだけでなく、自身も変わっていかねばならないこと。私は、身近な竹が問題となっていることを知って、その竹をシェアハウスのために使うことで放置竹林を減らすことに貢献でき、空き家をシェアハウスにすることで、人を呼び込み過疎化と空き家問題を減らすことに貢献できることが分かり、いろんな視点からでもSDGsについて考えることができた。
- ②シェアハウス作りを通して、沢山のの方々に関わり、ひとりでは出来ないことや浮かばない考えなどを見つめることができ、仲間や関わった人の重要性を知ることができた。以前より自分から積極的に話せるようになった。

### 宮本千愛

- ①活動1つひとつに沢山の人の協力と関わりがありました。そのため自分たちがすると決めたことを中途半端にすると、沢山のの方に迷惑がかかってしまうので何をやるにしても最後までやり遂げる覚悟が必要だということ学びました。権利の裏には責任があり、権利をもらったからには責任を持たなければいけない、このことを教えていただきました。そしてたくさんの方々に関わっていく中で人と人との輪が広がっていくと感じました。将来に繋がることを沢山の先生に教えていただき、すごく勉強になりました。
- ②活動をしていく中で失敗したことが沢山のありました。それでもみんなで協力しながら作成し、達成感を味わうことが出来ました。次は何をすれば良いのか自分で考えながら活動することができました。私たちも成長できたと感じられることもありました。最初より断然今の方が楽しいと感じることが出来ています。

### 山中愛望

- ①この活動を通してたくさんの方のことを学ぶことができました。特に責任を持つ大切さを知ることができました。自分たちの責任を持ってない行動一つで、周りの人たちに迷惑をかけてしまうことを忘れずに行動したいです。探究フォーラムでは代表で自分たちの活動について発表させていただきました。他の学校の人たちの活動の内容を知ることができ、そこで意見交換ができ、最後には自分たちの将来についても見直すことができました。貴重な体験をすることができました。
- ②自分も行動1つひとつに責任を持って活動をする大切さを感じました。皆で1つの目標に向かって頑張ることで、達成感が得られ、前の自分より責任を持って行動できていると感じました。



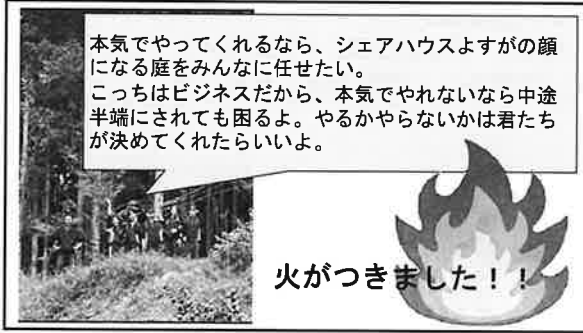
## 【担当教員 森年雅子 講評】

まずは、「よく頑張りました！」たくさんの方々と関わりながら、みんなが協働性を高めていく場面、思考力を高めたい場面を目の当たりにして、成長を感じられました。特に、地域の方から“任せられた”ときのやる気とねばり強さは、どこにも負けないくらい力だと強く感じています。権利と責任の話は、これからはずっとみんなの心の片隅に置いてほしい。他の学校では学べない、他の学校ではできない経験を真庭高校だからできた！胸を張って、2年生での探究活動も頑張ってくださいね！私だけでなく、たくさんの方が応援してくれています！！

# よすがプロジェクト

## 『シェアハウス作りで人の輪を広げる』②


12班 宮内鈴奈・鈴木奈々子



本気でやってくれるなら、シェアハウスよすがの顔になる庭をみんなに任せたい。  
こっちはビジネスだから、本気でやれないなら中途半端にされても困るよ。やるかやらないかは君たちが決めてくれたらいいよ。

**火がつけました！！**

活動を通して失敗したこともありましたが、「本気でやってくれるならシェアハウス”よすが”の顔になる庭をみんなに任せたい。」という藤田さんからの言葉に火が付き、私たちは最後までやりきる覚悟をもって頑張ろうと決めました。



TRY③ 私たちからの提案

コロナの影響で、活動が一旦ストップ!②

↓

リノベーション作業は進んでいるが、高校生の私たちがお手伝いできることは限られている。


↓

学校でも作業ができるように、余野地区で放置されている竹を活用し、竹の灯籠を創ることに!

↓

12月26日のシェアハウスよすがのお披露目会でライトアップ!③ 余野地区の人に喜んでもらおう!

シェアハウスはリノベーションが進み、12月26日にお披露目会をしました。空き家問題と放置竹林のことを学んだ私たちは、そのお披露目会で地域の方に喜んでもらえるよう、庭に竹の灯籠を置くことにしました。




TRY③ 竹の灯籠づくり

- ・庭は広くて木や岩の宝庫。  
⇒ 灯籠が映えそう!  
どう置けばきれいに見えるか探究!
- ・ろうそく作りは廃油を活用!  
⇒ 温度を計りながら凝固剤を使って...
- ・タコ糸の長さ、油の固まり具合に左右され...

**失敗の連続!④**

### デザイン・ろうそく作り

- ❑ 灯籠のデザインはインテリア関係の就職を目指している 鈴木さんが担当しました。
- ❑ ろうそく作りは、家庭科の先生と廃油を使って作成しましたが失敗の連続でした。



TRY③ 竹の灯籠づくり

1. 竹は大きさや丈夫さ、細さを見て選ぶのが大切
2. 竹をだいたい節ごとにきって、デザインした紙をマスキングテープで竹に貼る。
3. デザインをもとに竹に穴を開ける。

竹に穴が開けにくい、、、

↓

竹の繊維に逆らって穴を開けるから!

### 竹ドリル

- ❑ 竹に穴を開け、穴の大きさ、竹の高さや幅を計算して作成しました。
- ❑ 電動ドリルでのけがもあり、イベント1つ成功させるために大変な労力がかかっていることを実感しました。



卒業生も手伝ってくれました!

12月26日

**当日の様子**

当日は私たちの手で庭を整備し、灯籠を綺麗に並べました。しかし、大雪でうまく火がつかず、念のために用意しておいたLEDライトが大活躍でした。また、灯籠を見た人からは、「綺麗、すごい!」といった声をいただくことができ、やってよかったなと感じました。



シェアハウスは余野にとってどんな意味があるのか?

<私たちなりの仮説→結論>

- ・余野の魅力を伝えられる
- ・外国の方々でも余野について知ることが出来る
- ・余野のキレイな自然に触れてもらうための場所
- ・余野に若い力が集まる・活気があふれる
- ・余野の竹を使うことで放置竹林の問題を軽減できる
- ・伐採した竹を資源として有効活用することもできる

・余野から真庭市、真庭市から岡山県、岡山県から全国へ!!

最後に、シェアハウスは余野地区にとってどんな意味合いがあるのかということについて私たちなりの仮説を立てながらこれまで頑張ってきました。今回の小さな取り組みが、私たちだけでなく余野地区にとって大きな財産になることを期待しています。



## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

藤田亮太さん【leal.lab 代表】 藤本一志さん【一般社団法人コミュニティデザイン】  
 松尾敏正さん(一家)【一般社団法人コミュニティデザイン代表理事】  
 石橋千賀良さん【株式会社年貢代表取締役】 石原佑美さん【TUMUGU (プロカメラマン)】  
 入江大地さん【入江設備代表】 中川悠斗先生・大橋勝利(卒業生)・余野地区の方々 等

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

### 宮内鈴奈

①なぜ空き家が社会問題となっているのか調べると、治安の悪化や景観の悪化・建物の老朽化が原因だということがわかりました。また、先生からライフシフトの考え方を教わり、今までは「教育・仕事・引退」という人生のステージが一般的でしたが、最近では働き方や暮らし方が多様化していて、シェアハウスはもってこいの場だと考えました。さらに、放置竹林の問題についても教わりました。今の日本の領土の約0.6%は放置竹林であり、この数字だけだとあまり実感がわかりませんが、自分の周りのことを考えるとたくさんの放置竹林があることに気づきました。活動を通して、権利には責任がついてくることも教わりました。②私はこのTRの活動を通して、以前より考える力がついたと思います。活動をする中で、次のことを考えて行動したり、先を見越して、これをすればいいのではないかなど考えるようにしていたら、自然と普段の生活にも生かすことができるようになりました。

### 鈴木奈々子

①空き家問題の原因として治安の悪化や景観の悪化、建物の老朽化などの他にも親と子の世代交代の問題や若い人が都会へ進出してしまったため空き家が増えてしまうことがわかりました。リノベーション中のよすがの中には、和風な雰囲気でも自然が綺麗なもので色んな人に見てもらいたいなと思いました。空き家問題と放置竹林問題をかけ合わせて地域の人に喜んでもらおうと竹の灯籠を作ることにし、灯籠の中に入れるろうそくは自分たちで作りました。材料を買いに行き、家庭科で使った後の廃油を使って作りました。廃油の匂いを薄めるためにアロマオイルを使うなどの工夫もしました。権利と責任についても藤田さんに教えていただきました。②私はTR活動を通して、行動力や判断力、積極性が身についたのではないかと思います。協力もしながら、自分で考えて動き、一つ二つ先のことを考えて行動するのは難しかったですが、これから社会に出ていく上で必要なことをたくさん学ぶことが出来ました。



## 【担当教員 森年雅子 講評】

2人は夏のプレゼンから、人前に出て話す機会が多く与えられました。はじめは「緊張する～」と言っていた2人も、藤田さんとのzoomでのやりとりや、地域の方々との交流、そして探究フォーラム等、たくさんの経験を積んで、論理的に考えたり、自分の役割を見つけ出したり、さらにはグループ全体のことも考えて行動できるようになりました。大きな成長です。このメンバーだったからできたことも、これからは身につけた力をどんな時にも発揮できるようになってほしいです。今後の活躍を期待しています！

# 『ロープワークで共助を広げる』

13班 近藤直哉・三澤樺乃・西山怜依奈・後河彩楽

**目的・きっかけ**

- ・災害が起きた場合自分の命が助かるためにはどうすればいいのか。
- ・どうすれば多くの命を助けることができるのか。

自助：自分の事は、自分でやる。

共助：家族や地域等、周囲が支える。

公助：行政等の公的な支援。

災害時には、自助・共助・公助が互いに連携し一体となることで、被害を最小限にできるとともに、早期の復旧・復興につながるものとなる。

**なぜロープなのか**

災害時に使える道具の中で、車を上げるジャッキや穴を掘るドリルなどがあるが、他の道具より

↓

すぐに手に入り、家庭でも簡単に扱えるため。

災害時にどうすればたくさんの人が助かるのか、また、自分の命を守るためにはどのようなことをすればいいのか疑問に思い自衛隊の方々や、真庭市地域おこし協力隊の方々に災害時に役立つロープワークについて教えていただきました。

災害時に使える道具の中で家庭ですぐ手にはいるものがロープだと思ったからです。そして、簡単に結ぶことができ、なおかつ頑丈なロープの結び方を知りたかったからです。

**～リーダー研修会～**

- ・自衛隊の方から災害時に役に立つロープの結び方を教わる。
- ・結び方の種類やどのような場面で使えるのかなどを学んだ

**～合同防災訓練～**

・自衛隊の方々に教えてもらったことを活かし合同防災訓練で他の生徒たちにロープワークのやり方を体験してもらう

気づき

- ・相手のスピードに合わせて話す。ロープを結んでいく
- ・ロープを結ぶときに誰にでも伝わる表現で細かく説明することで一回で伝わる

自衛隊の方々に来てもらい災害時に役立つロープの結び方を教わった。色々な結び方があり難しかったが、災害の時だけではなくどんな時でも使えるような結び方ばかりだったのでいろんな場所で使ったみたいと思いました。

合同防災訓練では、こち防ではない他の生徒の皆さんにロープの結び方を体験してもらいました。人に説明をするときには何が必要なのかきずくことができました。

**～模擬ワークショップ～**

ロープワークを地域の方々に発表するときと一緒にロープワークの実践をしてもらった。

気づき

1つ1つの手順を詳しく知りたいという方もいるため詳しく説明した

**～まとめ・SDGsへの繋がり～**

合同防災訓練と模擬ワークショップでは自分たちが教える立場になりロープの結び方を教えることができた。

これから、地域の人に防災のことをより知ってもらえるような取り組みをしていきたい。

災害に対する強靭さ（レジリエンス）を目指す

↓

「回復力」「弾性（しなやかさ）」意味する英単語です。「レジリエントな」と形容される人物は、困難な問題、危機的な状況、ストレスといった要素に遭遇しても、すぐに立ち直ることができます。

模擬ワークショップではたくさんの人に災害時に使えるロープの結び方について知ってもらいたいと思い、落合SAKAI-eで地域おこし協力隊の方や学校の先生方に来てもらい、災害時に役立つロープの結び方について体験してもらいました。

これらの活動を通して、災害時に役立つことは何なのかについて考えることができました。学んだロープワークを災害がおきた時に使えるようにこれからもたくさんの人たちに伝えていけるようにしていきたいと思っています。

## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

吉原 啓介 様【落合 SAKAI-e/SAKAI-e キッチン所有者】  
 小野 智之 様 池田 将 様【真庭市地域おこし協力隊】  
 尾高 三樹生 様 桑室 様【防衛省自衛隊岡山地方本部津山出張所】  
 青野 先生 杉 先生 吉原 先生

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|  |  |
|--|--|
| <p><b>西山怜依奈</b></p> <p>①小野さんや自衛隊の方から、災害時や家庭でも使えるようなロープワークを教わった。スライドを作るときにみんなと意見を出し合いながら作ると、一人じゃ思いつかない色々なアイデアがでてきて、スライドがよいものになっていくことがわかった。模擬ワークショップでは、吉原さんに場所を借り、参加者の方も一緒に実践しながら行うことで、自分達だけでやっているのではないと思った。誰かの協力があると色々なことができることがわかった。</p> <p>②人とのコミュニケーションをとるのが苦手だけど、色々な人と関わっていく中で最初のときよりも上手くコミュニケーションがとれるようになり、班のみんなとも仲が深まっていったので、人と話すのが前より緊張しなくなった。</p> | <p><b>三澤樺乃</b></p> <p>①主に、こち防ではロープワークを教わり災害時に使えるような取り組みをした。他の人に伝わるようなスライドや企画書を作るためにいろいろな説明を詳しくすることの必要性を学んだ。</p> <p>②いろいろな活動を通して、終わった後の達成感や、これからも防災について学んでいきたいと思った。特に模擬ワークショップでは、限られた時間の中でみんなと完成させていく作業はすごくやりがいを感じた。また、合同防災訓練やリーダー研修会をふまえて災害や防災について前より興味をもつようになった。そして、同じ班のメンバーと意見が出せたり、できないところはメンバーの人に教えてもらったりして仲が深まったと思った。</p> |
| <p><b>後河彩楽</b></p> <p>①災害時にどうすればたくさんの方が助かるのか、自分の命を守るためにはどうすればいいのか学ぶことができた。自衛隊の方や小野さんにいろんな場所で使えるロープワークを教わった。合同防災訓練や模擬ワークショップを通して人前に立って説明するときには何が必要なのか考えることができた。</p> <p>②災害時には何をすればいいのかわからなかったけど、身体もやい結びや命綱結びなどを教わり災害時に役立てたいと思った。いろんな活動をしていく中で同じ班のメンバーと意見を出し共有をすることで自然と同じ目標に向かって取り組んでいけると思った。</p>  | <p><b>近藤直哉</b></p> <p>①自衛隊の方や真庭市地域おこし協力隊の小野さんにロープワークを詳しく教えてもらいロープの汎用性と誰でも使えることを知れた。スライドや文章も一人で作ることはできなかったが、グループ内での助けあいがあったから楽しく活動ができた。</p> <p>②これまでは人前に出て話すことや発表することが苦手で緊張してしまっていたがTR活動を通して、高校生の前や地域の方の前で発表をしていくうちに緊張することがなくなり人前に出て発表することが苦手ではなくなった。</p>   |

## 【担当教員 中川悠斗 講評】

小野さんや自衛隊の方から教えていただいたロープワークを通して、共助を広めるために何が 필요한のか、何ができるのかなどよく考え、実行することができたのではないのでしょうか。近年、地域との関わりが薄れている状況の中、この班の目標「共助を広める」は、助け合いの意識の重要性を再認識させる。という重大な意味のある活動であったと思います。これからも、今何が 필요한のか、自分に何ができるのかを考え、実行できる人になれるよう、頑張りましょう。

# 『災害時に活用できる防災食を広める』

14班 草地志帆・松尾陸・北楓真・藤原望夢

**・活動の目的・**

日本人の防災意識が低い


↓

防災食をテーマに、災害時でも簡単に美味しい防災食を考え広めよう

↓

防災食を通じて防災意識を高めてもらおう！

お住まいで取り組める防災対策をしていますか？



|       |         |       |        |
|-------|---------|-------|--------|
| 2009年 | 1,631回  | 2014年 | 2,052回 |
| 2010年 | 1,313回  | 2015年 | 1,841回 |
| 2011年 | 10,680回 | 2016年 | 6,587回 |
| 2012年 | 1,904回  | 2017年 | 2,025回 |
| 2013年 | 2,387回  | 2018年 | 2,179回 |

日本は地震などの災害が多いが、日本人は防災意識が低いと言われている。地震は年間約1000回から2000回起きていると言われている。グラフは住まいで取り組める防災対策をしているかのアンケートでしている人が53.2%していない人が46.8%なので、全体の約半数の人が防災意識が低いと考えられる。

**活動内容1 災害時における食を考える！**

～家庭にあり保存性の高い食材を使い簡単に美味しい防災食を作る～

内容：非常食の中でも非常食に当てはまらないものを調理し試食した。備蓄食の調理や試食、保存期間の確認  
なぜこの商品が備蓄食として認められなかったのか話した。




真庭市の備蓄品の中で防災食の基準に適さないものを調理し試食を行った。適さないものの中には辛い物など好みの分かれてしまう物やアレルギー物質が多く入っている物などがあつた。そのようなことから、防災食は誰でも食べれるものではないといけなかつた。

**活動内容2 ポリ袋で和風ツナパスタ**

災害時にポリ袋があれば作れる和風ツナパスタ

内容：ロケットストーブを使いポリ袋でお米やパスタを茹でた。パスタやご飯の硬さはとても良かった！



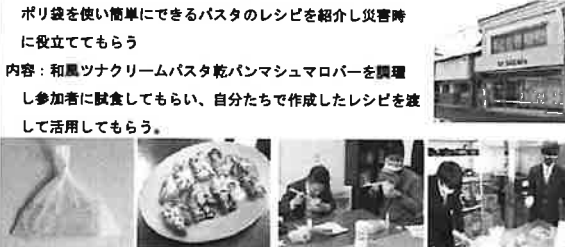
1つ目の活動では備蓄品の調理を行ったが、今回は家庭にあるもので何か作れないかなと思ひ、パスタを調理した。災害時を想定し、できるだけものを使わないように工夫すれば調理器具を汚さず、大切な水を節約できる。パスタだけではなくポリ袋でお米を炊くこともでき、ポリ袋の利便性もわかつた。

**活動内容3 模擬ワークショップ ～防災食～**

目的：模擬ワークショップに参加して防災意識を高めてもらう

ポリ袋を使い簡単にできるパスタのレシピを紹介し災害時に役立ててもらおう

内容：和風ツナクリームパスタ乾パンマッシュマロバーを調理し参加者に試食してもらひ、自分たちで作成したレシピを渡して活用してもらおう。



2つ活動を生かして地域の人に広めたいと思ひ、落合地区のコミュニティスペースの落合サカイエと落合サカイエキッチンを借りて模擬ワークショップを開催し、地域の人に災害時に役立ててもらおうため、ポリ袋でできるパスタと、乾パンマッシュマロバーを作り、試食をしてもらつた。

**・SDGsとの繋がり・**

防災食の調理をしたりする上で食材を無駄にしないことで食品ロスの削減につながっています。

ポリ袋を使い、洗い物をすくなくすることで水を節約することができました。

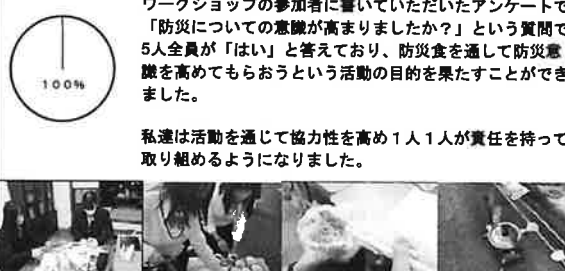


私たちの活動でSDGsと繋がる目標は、2番の「餓死をゼロ」と6番の「安全な水とトイレを世界に」、16番の「つくる責任つかう責任」だ。ポリ袋調理で洗い物を減らすことで、食品ロスや節約につながっている。

**・まとめ・**

ワークショップの参加者に書いていただいたアンケートで「防災についての意識が高まりましたか？」という質問で5人全員が「はい」と答えており、防災食を通して防災意識を高めてもらおうという活動の目的を果たすことができました。

私達は活動を通じて協力性を高め1人1人が責任を持って取り組めるようになりました。



実施後のアンケートで「防災意識を高めることができましたか？」という質問に5人全員が「はい」と答えており、防災食を通して防災意識を高めてもらおうという活動の目的を達成できた。


## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

吉原 啓介 様【落合 SAKAI-e/SAKAI-e キッチン所有者】  
 小野 智之 様 池田 将 様【真庭市地域おこし協力隊】  
 尾高 三樹生 様 桑室 様 佐々木 様 齋藤 様【防衛省自衛隊岡山地方本部津山出張所】  
 青野 先生 杉 先生 吉原 先生

## ■各自の振り返り

- ①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと
- ②今年のTR活動を通して感じた自分の変化  
(どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|   |   |
|---|---|
| <p><b>北楓真</b></p> <p>①日本人の防災意識が低いことや日本の災害について知ることができた。<br/>また、備蓄品の中には、好みが分かれたりアレルギー物質などで備蓄品に適さないものがあることが分かった。</p> <p>②今まで防災に対する意識は自分も低かったがTRを通して防災の知識がたり、防災の意識が高まった。<br/>今後も防災について知りたいと思った。</p>         | <p><b>草地志帆</b></p> <p>①防災食を調理する上で、防災食は誰でも食べられるものでないといけないとわかった。<br/>また、ポリ袋でご飯やパスタができると、災害時に洗い物を少なくして大切な水を節約できるととても便利なものだと気づいた。</p> <p>②今まであまり防災について知識や関心がなかったけれど、TR活動を通して防災に興味を持つようになり、班のリーダーとしてみんなをまとめられるようになったり積極的に行動するようになった。<br/>災害が起きたときに少しでも活躍できるというと思う。</p> |
| <p><b>松尾陸</b></p> <p>①ポリ袋を使いパスタや米などを作りポリ袋の利便性を学んだ。そして防災食や備蓄食は、老若男女問わず作れ、食べられなければならないため辛すぎるものは駄目ということを通して学べた。</p> <p>②防災の知識はそこそこあったが関心がなかった。TR活動や模擬ワークショップを通じて防災に関心を抱くようになった。<br/>今後も防災について調べたいと思った。</p> |   |

## 【担当教員 中川悠斗 講評】

災害時(避難所)の生活において、食というものはとても重要なものです。大災害では、長期間の避難所生活が余儀なくされ、身体的にも精神的にも大きな負担となります。その状況において、アレルギーのない備蓄食を準備することや、家にあるようなもので資源を無駄にしないポリ袋調理を考えたり、気分転換になるようおやつを考えたりと、災害時を想定し、考え、挑戦することができていた様子が感じます。班の一人ひとりが自分の役割を自覚し、お互いを尊重して、協力しながらTR活動に取り組むことができていましたね。これからも、何事にも積極的に挑戦し、自ら考え行動できる人に成長していきましょう。

# 『衛生について考える～消毒づくり～』

15班 中西笙平・奥田華奈・宮島世莉羽・山下裕花

**活動の目的**

- 災害時、避難場所には多くの人たちが避難してくるため衛生が保たれにくい。また、コロナ禍でもあり衛生をより保つ必要がある
- 災害時、物資不足のため消毒液が手に入らないかもしれない
- 身近なもので消毒液を作ることができれば衛生が保たれる
- さらに、沢山のの人に消毒液の作り方を知ってもらいたい

災害時の避難場所に注目すると衛生状態が保たれにくく問題視されていることを私たちは知り、衛生を保つ必要があると考えた。物資不足時でも身近なもので消毒液を作れば衛生が保たれると考えた。また消毒液の作り方を多くの人に伝え、広めたいと考えた。

**消毒づくりを学ぶ**

- 災害時の場合の対策だから身近なもので作れる方法を。
- 塩素系漂白剤(ブリーチ)と水で消毒液を作る
- まずは自分たちで災害時でも有効か試す。

100:1の割合でつくることが分かった  
水500ml 漂白剤5mlで消毒液を作ってみた

自分たちで身近な物を使った消毒づくりができるか調べて実践した。消毒液は塩素系漂白剤1に対し水100の割合で、ペットボトルを使って作れることが分かった。500mlのペットボトルで作れば、スプレーヘッドに付け替えそのまま使用できる。

**落合SAKAI-eでの模擬ワークショップ**  
〈消毒づくり〉

準備  
練習  
本番  
反省

アンケートをすると・・・  
イベントにおいて災害時の対策を楽しく学ぶことができたか、防災についての意識が高まったかという質問に参加者全員が「はい」と答えていた！！

反省を次の活動に活かす

落合SAKAI-eを借りて模擬ワークショップを行った。真庭市地域おこし協力隊の方々や学校の先生方を招いて消毒づくりの指導を行うことができた。この活動で多くの方に防災への関心を持っていただけました。

**合同TR**

- ・3年生に一人ひとりわかりやすく消毒の作り方を知ってもらうことができた
- ・模擬ワークショップの反省を活かして質問に答えることができた
- ・模擬ワークショップの反省を活かしてプッシュボトルを誰が見てもわかりやすいラベルを作ることができた。

模擬ワークショップの反省を活かした合同TRを行った。3年生に消毒づくりの指導と活動の成果発表を行うことができた。発表するときには、声の大きさや読むスピードに気を付け、わかりやすく丁寧に伝えることができた。

**こんな活動もしました！！～リーダー研修会～**

○簡易担架

使用したのもの  
・長めの棒  
・毛布

毛布がない場合、着ている服の袖を棒に通して作る方法も学んだ

○止血法

使用したのもの  
・ナイロン袋  
・タオル

素手で血や傷を触ると、感染症を起こす可能性があるためナイロン袋を手にはめて止血した

リーダー研修会で、自衛隊の方に簡易担架の作り方と応急手当の方法を学んだ。身近にあるもので担架を作ったり止血を行うことができると知った。教えてもらう側を体験することで、どう教えると伝わりやすいか分かった。

**まとめ**

- 避難場所の衛生問題の課題に効果的な消毒を身近なもので作ることができた
- 消毒液が作れることで衛生を保つことができる
- 消毒液づくりの体験後のアンケートから沢山のの人に災害時に役立つ技術と防災への関心を持ってもらった

**SDGsへの繋がり**

災害時の備えとして消毒作りの物品を常備しておく → 作った消毒でトイレを拭くと衛生を保つことができる。 →

これらの活動を通して私たちは、消毒液を身近なものを使って作ることができ、災害時避難場所での衛生を保つことができると考えた。また私たちの活動はSDGs6と11の活動に繋がることが分かった。今後は、もっとたくさんの防災知識を学び多くの人に広めていきたい。



## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

吉原 啓介 様【落合 SAKAI-e/SAKAI-e キッチン所有者】  
 小野 智之 様 池田 将 様【真庭市地域おこし協力隊】  
 尾高 様 佐々木 様 齋藤 様【防衛省自衛隊岡山地方本部津山出張所】  
 青野 先生 杉 先生 吉原 先生

## ■各自の振り返り

- ①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと
- ②今年のTR活動を通して感じた自分の変化  
 (どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|  |   |
|--|---|
| <p><b>中西笙平</b></p> <p>①今年のTRを通して僕は、ロケットストーブの使用や塩素系漂白剤で消毒液を作るなどの体験をし、体験することは耳で聞くより、頭に定着しやすく、遥かに多くのためになる気づきがあると感じた。</p> <p>②自分は、上記のような普段やらないようなことをやる上で、今まで何か大切に感じたものを学んだ時、何かにまとめると言うことに対してあまりピンと来ていなかったが、大事なものを感じた時学んだ時はメモなどをするようになった。</p>   | <p><b>奥田華奈</b></p> <p>①身近なもので消毒を作れることがわかった。合同TRや模擬ワークショップを通して衛生について調べたり発表の準備をしたりなどみんな協力していかないと大変なことだということが分かった。</p> <p>②最初は先生に言われたことをするだけだったけど活動を深めていくごとに自分から調べたり改善方法を見つけたりなどの作業ができるようになった。</p>                                     |
| <p><b>宮島世莉羽</b></p> <p>①日常生活で使っているもので簡単に消毒液を作れることを学んだ。また模擬ワークショップを行ってみて準備の大切さを改めて知ることができた。スライドや原稿を作ることで意見や情報をまとめることがうまくなった。</p> <p>②最初は話に入ったり意見を言うことができなかったが、活動をしていく中で責任感が生まれ、メンバーと協力して課題を解決することができた。誰かに言われてするのではなく、自分から積極的に動けるようになった。</p> | <p><b>山下裕花</b></p> <p>①身近なものを使って消毒液が作れることで衛生を保つことができることを学んだ。また活動を行うなかで、準備や下調べなどをしっかりしておくことが大切であることを学んだ。メンバーで意見を出し合うことで色々な意見が生まれ充実した活動ができると思った。</p> <p>②はじめは活動に対して言われたことをしていたが、問題に対してどうしたら良くなるかどんな解決方法があるか探究心を持って行うことができるようになった。</p> |

## 【担当教員 宮本あすか 講評】

災害時の避難所では様々な問題があげられますが、コロナ禍でもあるという視点から、衛生面へのアプローチを考え、身近なもので誰でもできる方法を「共助」として広めるというところまで目的をもって活動ができましたね。模擬ワークショップでは自分達で計画・準備・開催するという難しさや達成感を学び、想定外のことに対処する必要性も学べたのではないのでしょうか。また振り返りを次の活動に活かすことで合同TRでは完成度の高いものになりましたね。様々な方に協力していただき、グループでもみんなが協力し合えたからこそ得られた結果だと思います。消毒づくりや応急救護など、学んだことを今後も活かし、共助できるように繋げていきましょう。

# 『外国人お助け隊』

16班 東谷結美佳・平井夢来・三島奈々

## きっかけ

- ★外国人と関わることがしてみたかったから
  - ★外国人の困っていることを聞き解決したいと思ったから
  - ★将来、外国人と関わる仕事がしたかったから
- ↳ (共通点)外国人と関わりを持ちたい!

外国文化や言語について触れ、日本で暮らす外国人の困り感などを聞き一緒に解決していくことが目的なので外国人と関わりを持ちたいと思いました。

## ～取り組んだ内容～

人数の対比



外国人は教えてもらう人が少ないから日本語がわからない

久世の公民館で行われている日本語教室に行き外国人の困っていることを聞いた。

外国人がなぜ日本語が難しいのかについて調べると日本語教室に通っている人と日本語を教えている人の人数に差があることがわかりました。だから外国人の困っていることを聞きました。

## ～取り組んだ内容～

ゴミ問題について

世界でも問題になっているゴミ問題について取り組もう!



真庭市のゴミ分別ポスターを中国語・韓国語・英語に翻訳したポスターを作成!



世界でも問題になっているごみ問題を少しでも解決出来るように中国語・韓国語・英語に翻訳したポスターを作成しました。

## ～結果に対する考察～

実際に掲載されている様子

真庭市の環境課の公式ホームページ掲載していただいた



私たちが作ったゴミ分別ポスターをきっかけにごみの分別を理解し実践していただけると活動した意義があると思います

## ～取り組んだ内容～

お魚やお肉について

お魚、お肉、銀行の種類についてやさしい日本語(漢字の上にくりがなをふったもの)に直したカードを作成



## ～結果に対する考察～

私たちが作ったカードは日本語教室などで配布

外国人の方にとって少しでも日本での生活がより良くなる

日本での生活が今より楽しくなる!

外国人が日本での生活をよりよくできるように魚・肉・銀行の種類について優しい日本語に直したカードを作成した。このことから今よりも楽しく過ごせるようになると思います。

## ～まとめ～

(社会的課題)

- ・外国人の方は日本語を教えてもらう人が少ないから日本語がわからない
- ・外国人の方に対する理解がないから差別・偏見が発生している

アパートへの入所を拒否される、宿泊を拒否されるということが実際に発生している

法務省公式ページより

私達は文化の多様性を認め、外国人の生活習慣等を理解・尊重し、外国人に対する差別・偏見をなくしていく必要がある

私たちは外国人差別を理解し知り得た情報を周囲に伝え差別・偏見をなくしていく必要があります。

## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)


真庭市環境課の方々・久世公民館にほんご教室講師の方・勝央にほんご教室講師の方

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|  |   |
|--|---|
| <p><b>東谷結美佳</b></p> <p>①今年のTRを通してどうすれば自分の思いが相手に伝わるのかということ学びました。外国人の方とコミュニケーションを取るのとはとても難しくなかなか自分の伝えたいことが伝わらなくて困っていました。しかし話していくうちに動作をつけたり簡単な言葉に変換してコミュニケーションを取ると伝わりやすいことに気づきました。また、活動を行う際にはきちんと計画を立てて行動することが大切であることを学びました。</p> <p>②TR活動を通して最初は自分の意見や自分がやりたいことを言えなかったが、活動が進むにつれ、やりたいことや意見が出せるようになりました。また、今までは目的をもって行動していなかったけどTR活動を通して、目的をもって行動するようになりました。</p> | <p><b>平井夢来</b></p> <p>①TRを通して自分が何を相手に伝えたいのかやどうしたら相手に自分の伝えたいことが伝わるかなど考える大切さを学びました。日本人なら言語が一緒なので伝えたいこともすぐ伝わるかもしれないけど外国人は言語が違うので言葉だけではなくジェスチャーを使ったりひらがなやローマ字で書いたり工夫しないと伝わらないことがわかりました。そして活動を行う際、計画性を持ち行動するとスムーズに進むことに気づきました。</p> <p>②はじめは話し合うときになかなか意見を出せなかったけど、時間が経つにつれ、提案を発表するときには意見をたくさん出したり、ポスターやカードを作成したりなどと、積極的に行動できるようになりました。</p> |
| <p><b>三島奈々</b></p> <p>①私はTRの活動を通して、外国人とどのようにコミュニケーションを取ればいいのかを学んだり、話し合いの時間が長く行動にうつす時間が短くなったりしたので時間配分を考えなければならぬことを学びました。</p> <p>②話し合いのときに最初は意見が出せなかったけど、TRの活動をやっていくうちに、意見を出すことができるようになった。積極的に物事を考えることができるようになった。</p>  |   |

## 【担当教員 高田健一 講評】

今世界にはおよそ200の国があることになっています。また、そこで話されている言語の数は7000より多いらしい。当然価値観(ものの考え方)は多岐にわたり、場合によれば全く逆転することもありうる。実に複雑怪奇だ。お互いがお互いに相手を理解する努力をしなければ、自分のしたいことも十分に果たせないどころか、一方的に嫌な思いをしたり、させたりすることも起こりうる。さらには生命に関わることにまで発展するかもしれない、事実、世界では絶えず事件や紛争が起きているし、あるいは起きつつある。誰もそんなことを望んでいないはずなのに。今、日本にきた外国人たちのごみ処理問題に取り組んだこと、あるいは生活習慣の改善に取り組んだことは、世界が抱えるそんな問題の解き方に取り組んだことに等しいと、私は考えます。

さあ、今日はここまで考えた。明日はどちらにむかって進むのか。その生き方を考える時間と権利はすでに君たちの手の中にある、とこれまた私は考えます。



# 第2学年



麻田・池田・井上  
栗木・田中・岡本  
高橋・水本・杉・青野

令和3年度 2年生 課題探究サポートB 真庭トライ&レポート (TR) 年間活動計画

| 月日                      | 探サボB (金曜5限)                                  |   |      |     | TR (金曜6限) |   |  |                           |        |              |  |           |    |
|-------------------------|--|---|------|-----|-----------|---|--|---------------------------|--------|--------------|--|-----------|----|
|                         | 内容   | 形態  | 活動場所 | 担当者 | 回         | 内容  | プロセス   | 評価                        | 形態     | 活動場所         | 担当者  |           |    |
| 4月16日                   | TR A   |   |      |     | 1         | ■全体ガイダンス (春季休業課題→これまでこれから)<br>■チャンネル希望選考                          | (1)テーマ導入   | 評価Ⅰ                       | 2年全体   | 会議室          | 栗木   |           |    |
| 4月23日                   | TR A   |   |      |     | 2         | ■チャンネル内グループ割 (1班4名)<br>■探究活動計画とテーマ設定                              | (2)テーマ設定<br>(3)探究活動計画  | 評価Ⅰ                       |        |              |  |           |    |
| 4月30日                   | 1  | 授業の手引き～基礎・分析編～<br>テキストLesson07                                      | 2年全体 | 会議室 | 担任①<br>栗木 | 5   | ■探究活動<br>◎五感を活した実体験を積み重ねる。<br>◎input (読む聞く)<br>→output (話す書く行動する)<br>→outcome (成果・効果)<br>○自分の目で見る、耳で聞く、手で触れる、足で訪れる。<br>○メディア情報 (本・TV・PC) だけに頼らない。<br>■各プロジェクトで外部講師講演OK<br>■図書館・インターネットでの調べ学習<br>■校外インタビュ<br>■アンケート (生徒・教員・保護者・地域)<br>■実験・実習・制作<br>■カメラ・ビデオ活用・パソコン<br>■調査 (同じ場所に複数回) (異なる場所で比較分析) |                           |        |              | ①1組<br>②2組<br>③3組<br>+<br>【電算】<br>【視聴覚】<br>【図書】<br>【社会科】<br>【物理】<br>【生物】<br>【化学】<br>【調理】<br>【英語】<br>校外など |           |    |
| 5月7日                    | 2  | 授業の手引き～基礎・分析編～<br>テキストLesson08                                      |      |     |           |   |  |                           |        |              |  | 担任②<br>杉本 | 6  |
| 5月14日                   | 3  | 授業の手引き～基礎・分析編～<br>テキストLesson09                                      |      |     |           |   |  |                           |        |              |  | 担任③<br>岡本 | 7  |
| 5月28日                   | 4  | 授業の手引き～基礎・分析編～<br>テキストLesson10                                      |      |     |           |   |  |                           |        |              |  | 担任④<br>井上 | 8  |
| 6月4日                    | TR A   |   |      |     |           |   |  |                           |        |              |  | 9         | 10 |
| 6月11日                   | TR A   |   |      |     | 11        | 12  | (4)探究活動①   | 評価Ⅰ                       | 各チャンネル |              | 各担当者   |           |    |
| 6月18日                   | TR A   |   |      |     | 13        | 14  |  |                           |        |              |  |           |    |
| 6月25日                   | TR A   |   |      |     | 15        | 16  |  |                           |        |              |  |           |    |
| 7月16日                   | TR A   |   |      |     | 17        | 18  |  |                           |        |              |  |           |    |
| 特別活動<br>7/20・21<br>8/23 |  |   |      |     | 19        | 20  |  |                           |        |              |  |           |    |
| 9月10日                   | TR A   |   |      |     | 21        | 22  |  |                           |        |              |  |           |    |
| 9月17日                   | TR A   |   |      |     | 23        | 24  | ■9/24中間発表会に向けたまとめ (パワーポイント作成)<br>1～6班 電算室 7班～14班 視聴覚室<br>・スライド15枚程度 (作成マニュアルあり)<br>・プレゼン練習 (原稿なしで発表)   | (5)まとめ①                   | 評価Ⅰ    |              |  |           |    |
| 9月22日                   | 水曜7限LHRをTRに特別変更                              |   |      |     | 25        | 26  |  |                           |        |              |  |           |    |
| 9月24日                   | TR A   |   |      |     | 27        | 28  | ■中間発表会@会議室 7分発表→2分質疑応答   | (6)発表①                    | 2年全体   | 会議室          | 2年団  |           |    |
| 10月1日                   | TR A   |   |      |     | 29        | 30  | ■探究活動<br>◎五感を活した実体験を積み重ねる。<br>◎input (読む聞く)<br>→output (話す書く行動する)<br>→outcome (成果・効果)  | (4)探究活動②                  | 評価Ⅰ    | 各チャンネル       | ①2時<br>+<br>①上記録簿  | 各担当者      |    |
| 10月8日                   | TR A   |   |      |     | 31        | 32  |  |                           |        |              |  |           |    |
| 10月22日                  | TR A   |   |      |     | 33        | 34  |  |                           |        |              |  |           |    |
| 10月29日                  | TR A   |   |      |     | 35        | 36  |  |                           |        |              |  |           |    |
| 11月5日                   | ①②   | ■一斉授業の探究のコツ<br>実践の手引き～基礎編～<br>(トモノカイ)<br>(基礎研究カド) StartBook<br>(併用) | 2Fのみ | 会議室 | 探究        | 探サボBへ<br>(2年生看護科実習期間中11/5,12,19のため)<br>※コロナの関係で実習期間・実習形態の変更がありえる。 |  |                           |        |              |  |           |    |
| 11月12日                  | ③④   | ■パフォーマンス課題  | 2Fのみ | 会議室 | 探究        |   |  |                           |        |              |  |           |    |
| 11月19日                  | ⑤⑥   |   |      |     | 探究        |   |  |                           |        |              |  |           |    |
| 11月26日                  | TR A   |   |      |     | 37        | 38  | ■探究活動<br>◎五感を活した実体験を積み重ねる。<br>◎input (読む聞く) →output (話す書く行動する) →outcome (成果・効果)  | (4)探究活動②                  | 評価Ⅰ    |              |  |           |    |
| 12月10日                  | TR A   |   |      |     | 39        | 40  | ■1/14チャンネル内発表会に向けたまとめ (パワーポイント作成)<br>MANIWAch→電算室、防災chとユネスコch→視聴覚教室<br>・スライド6枚 (作成マニュアルあり) ・プレゼン練習 (原稿なしで発表)   | (5)まとめ②                   | 評価Ⅰ    | 各チャンネル       | ①1組<br>②2組<br>③3組<br>+<br>【電算】<br>【視聴覚】<br>【図書】<br>【社会科】<br>【物理】<br>【生物】<br>【化学】<br>【調理】<br>【英語】<br>校外など |           |    |
| 12月17日                  | TR A   |   |      |     | 41        | 42  |  |                           |        |              |  |           |    |
| 12月20日                  | 1～3年合同TR (5,6限)<br>こち防chは3年生に向けて成果報告 (体験・説明) |   |      |     | 43        | 44  | 二重面談中は午前中授業で、午後がフリー!<br>その午後を使って1/14チャンネル内発表会に向けたまとめ   |                           |        |              |  |           |    |
| 12月21日                  | 12月21日<br>3PM                                |   |      |     |           |   |  |                           |        |              |  |           |    |
| 1月14日                   | TR A   |   |      |     | 45        | 46  | ■1/14チャンネル内発表会に向けたまとめ (パワーポイント作成)  |                           |        |              |  |           |    |
| 1月21日                   | TR A   |   |      |     | 47        | 48  | ■チャンネル内発表会→代表選出  | (6)発表②                    |        |              |  |           |    |
| 1月28日                   | TR A   |   |      |     | 49        | 50  | ■成果発表会に向けたまとめ パワーポイントなど発表準備 (代表班)<br>■まとめ冊子原稿作成 (パワーポイント印刷+メモ) (全班)<br>※成果発表会後、TRなし<br>→成果発表会準備と並行してまとめ冊子原稿作成を行う。  | (5)まとめ③                   |        |              |  |           |    |
| 2月4日                    | TR A   |   |      |     | 51        | 52  |  |                           |        |              |  |           |    |
| 2月5日                    | TR A   |   |      |     | 53        | 54  | ■TR成果発表会<br>学校に戻ってきてアンケート記入  | (6)発表③<br>(7)アンケートの<br>総括 | 全校     | 履合履合<br>センター | 2年団  |           |    |

- 2年団: 麻田・池田・井上・栗木・田中・岡本・高橋・水本・青野・杉
- 形態: 学年単位とし、3年間を通して段階的に発展していく。3年間の見直しをもって、総合的な探究の過程『真庭Try&Report (TR)』を計画する。  
【第1学年】『HOW TO LEARN』(ものごとを調べ、まとめる方法を学ぶ) 課題別グループ学習 (興味・関心を広げる)  
【第2学年】『WHAT TO LEARN』(自分で課題を設定し、調べる) 進路別課題学習 (知識・理解を深める)  
【第3学年】『HOW TO LIVE』(進路実現・卒業後の生活のために学ぶ) 進路別課題学習 (具体的な目標の達成意識)
- 学校全体TRテーマ『SDGs』  
まとめ冊子のデータを有効活用してください!  
P02まとめ冊子P24: 真庭市SDGsパートナー賞、H30まとめ冊子P75: 地域の匠・名人・プロフェッショナルの力、H29まとめ冊子P78: 特別活動記録メモ (コンテストやイベント)
- 学年テーマ『社会とつながり、自分を知る』  
2年生57名 (普通科36名+看護科21名) →3チャンネル 1班4名が基本 【①10班40名・②3班15名・③1班4名】  
▼11月13日(土) 真庭ひとつながりフォーラム (＠履合総合センター) に①②③代表生徒発表 (令和3年度中止)

| CH | チャンネル名      | 活動内容   | 生徒数            | 班番号 (USB番号)        | 活動場所  | 担当者                  |
|----|-------------|--|----------------|--------------------|-------|----------------------|
| ①  | MANIWAチャンネル | ■フリーテーマで課題設定、昨年度の継続的な取組にも期待。<br>コミュニティスペース活用、トンボ学生 録音機活用、森林資源活用など<br>真庭市役所、真庭いきいきテレビ、地域おこし協力隊、履合池水向連立委員会、しめ山プロジェクト                           | 40名<br>(16・24) | 1班～10班<br>(1～10)   | 社会科   | 栗木 池田<br>岡本 水本<br>青野 |
| ②  | こち防チャンネル    | ■こち防高松市民連防災隊 (こち防)<br>6月兵庫県舞子高校訪問 (事前準備・事後振り返り)、8月リーダー研修会 (県・校内)<br>11月地域合同防災訓練、11月全県防災ユニオニア@東京、11月兵庫県舞子高校研修<br>(土砂崩れ・洪水・地震・火災) を各班テーマに探究活動? | 15名<br>(8・4)   | 11班～13班<br>(11～13) | 3段講義室 | 杉<br>青野<br>高橋        |
| ③  | ユネスコチャンネル   | ■ユネスコスクールとしての活動<br>11月岡山県高校ユネスコスクール実践交流会 (事前準備・事後振り返り)<br>ブルガリア高校生との交流・ブルガリア研修   | 4名<br>(0+4)    | 14班 (14)           | 2-1HR | 井上<br>田中             |

- コロナ情報メモ ■ 外部への直接交流体験は難しいので… 引き続き  
▼学習動画紹介、家で何が出来るか、youtube (小中高生向けなどターゲットを明確に)、テレワークやってみた! ・LINEグループでテレビ会議やってみた! 家にいながらできるSDGs  
▼春休みみんな何してた? (雨晴天気関係ある? 起床時間就寝時間は? スマホ何時間? ゲーム? 手伝い? 勉強? オリジナルで考えた遊び・勉強ある?、よく入れたアプリは?)  
→問題点は? →提案 (個人・家族・地域の視点や、小中高生向けの視点)  
▼海外の小中高は? ユネスコスクールネットワーク活用で交流可能、

# 令和3年度 2年生TR中間発表会

- 令和3年9月24日(金) 5・6限 グループA@会議室 / グループB@2-3HR / グループC@2年講義室
- 2年生56名(普通科35名・看護科21名) 3チャンネル全14班 各班7分発表・2分質疑応答(フットパッド・ワグシート記入)

①MANIWAch 40名

②こち防ch 12名

③ユネスコch 4名

◎他のチャンネルの取組も知って自分たちの活動に生かそう!!  
◎よりよい発表になるようにいろいろいるな視点から質疑応答を!!

| 班            | 発表タイトル                           | 班員                        | 会場     | 担当教員           |
|--------------|----------------------------------|---------------------------|--------|----------------|
| グループA        | 1 保育士について考えてみよう!!!               | 中西彪斗・浅雄萌・野島小晴・西田葵         | 会議室    | 池田<br>栗木<br>高橋 |
|              | 2 美容師について                        | 江原暖稀・村瀬まひる・前田彩花           |        |                |
|              | 3 ピーマンの成長~バイオ液肥~                 | 瀬恒秀太・中島季来・池田愛友・吉田壮汰       |        |                |
|              | 4 落合の魅力を歩きながら感じな                 | 今石和希・瀬島勝也・立石見誠            |        |                |
|              | 11 災害時の水の問題                      | 栗木恒太・谷口久利生・西田圭佑           |        |                |
| グループB        | 5 高校生が利用しやすい交通機関の案理について まにわく人を例に | 中川照太・黒岩大地・杉山蒼弥・杉山大翔       | 2年3組HR | 麻田<br>岡本<br>杉  |
|              | 6 真庭の資源~珪藻土~                     | 石田 榎・石田 凜・鎌崎真衣・坂井亜友菜      |        |                |
|              | 7 真庭市の高齢者に私たちがができること             | 山本友翔・志田純香・柴田 鷹翔・滝山晃汰・横山樹香 |        |                |
|              | 8 訪問看護について                       | 名越優里・佐々木愛・高藤穂乃花・濱戸美羽・宮本菜桜 |        |                |
| グループC        | 12 災害時の食問題                       | 中塚麻景・平山和・古堤心・森本湖音         | 2年講義室  | 水本<br>青野<br>井上 |
|              | 9 コロナ禍で働く医療従事者                   | 白田芽生・榎本陽奈・平井千羽・政吉心優       |        |                |
|              | 10 真庭の特産品を広めよう                   | 池本早織・藤本遥・長沼凜・山崎百々花        |        |                |
|              | 13 高校生でも作れるロケットストーブ              | 瀧本 葉・野村一貴・屋敷千嗣・山本大誠・西山智哉  |        |                |
| 14 日伊の食品ロス対策 | 久保琴充・樋口美咲・高下奈々・谷本芽依              |                           |        |                |

| 確認事項 (6分1ターン→7分2ターン)              | 日程 |
|-----------------------------------|----|
| 13:15-挨拶                          |    |
| 13:20-13:29 班1                    |    |
| 13:30-13:39 班2                    |    |
| 13:40-13:49 班3                    |    |
| 13:50-13:59 班4                    |    |
| 14:00-14:10 (休憩)                  |    |
| 14:10-14:19 班5                    |    |
| 14:20-14:40 7分パッドワグシート            |    |
| (各班まとめて回収→班内回収+成果発表会に向けて記入→教員再回収) |    |
| 14:40-14:55 指導講評                  |    |

時間に余裕があるので、7分パッドも続けて発表。

### 【係分担】

- 司会・進行 (6分1ターン→7分2ターン)  
A 池田 B 麻田 C 井上
- 写真記録(ビデオ撮影不要)  
A 栗木 B 岡本 C 水本
- PC(データ・スクリプトに)、マイク(会議室) / スピーカー / スクリーン準備  
A 栗木 B 岡本 C 水本
- フォードバックシート回収→栗木へ  
A 高橋 B 杉 C 青野
- 指導講評(全教員)  
A : 池田・栗木・高橋  
B : 麻田・岡本・杉  
C : 水本・青野・井上



# 令和3年度 2年TR学年発表会

- 令和4年1月21日(金) 3・4・5・6限 @会議室
- 2年生55名(普通科35名・看護科20名) 3千チャネル全14班 各班7分発表・2分質疑応答(ワイードバックシート記入)

①MANIWAch

②こち防ch

③ユネスコch

◎2月5日発表発表会の代表班を決めます。最低1班 全8班選出  
 ①MANIWAch②こち防ch③ユネスコch 各班3つを選びます。  
 自分の班以外で「代表にふさわしい！」班3つを選びます。  
 (おみなさんの〇印は選出の参考データとします)

|  |
|--|
| <p>日程</p> <p>3限10:55-挨拶<br/>確認事項</p> <p>自分の名前を○で囲む<br/>×の様に●</p> <p>6分1千→7分2千→</p> |
|--|

| 順  | 班                            | 発表タイトル                    | 班員(自分の名前を○で囲む) | 自分の班に●<br>代表に! ○印3つ | メモ |
|----|------------------------------|---------------------------|----------------|---------------------|----|
| 1  | 保育士についていろいろ調べてみた!            | 中西彪斗・淺雄萌・野島小晴・西田葵         |                |                     |    |
| 2  | 美容師について                      | 江原曜稀・村瀬まひる・前田彩花           |                |                     |    |
| 3  | バイオ液肥の効果について                 | 瀬恒秀太・中島季米・池田愛友・吉田壮汰       |                |                     |    |
| 4  | 落合の魅力を歩きながら感じな               | 今石和希・瀬島勝也・立石晃誠            |                |                     |    |
| 5  | まわく人を高校生にとって使いやすいとする提案       | 中川照太・黒岩大地・杉山蒼弥・杉山大翔       |                |                     |    |
| 6  | 真庭の天然資源を紹介                   | 石田欄・石田凜・鎌崎真衣・坂井亜友菜        |                |                     |    |
| 7  | 真庭の高齢者に私たちがができること            | 山本友翔・志田純香・柴田鷹翔・渡山晃汰・横山樹香  |                |                     |    |
| 8  | 訪問看護について                     | 名越優里・佐々木愛・高藤穂乃花・濱戸美羽・宮本菜桜 |                |                     |    |
| 9  | コロナ禍で働く医療従事者-高校生の私たちが今ができること | 白田芽生・平井千羽・政吉心優            |                |                     |    |
| 10 | 真庭の特産品を広める                   | 池本早穂・藤本遥・長沼凜・山崎百々花        |                |                     |    |
| 11 | 災害時の水問題                      | 桑木恒太・谷口久利生・西田圭佑           |                |                     |    |
| 12 | 避難時の食を豊かに                    | 中塚麻景・平山和・古埜心・森本湖音         |                |                     |    |
| 13 | ロケットストーブって何?                 | 瀧本真・野村一貴・屋敷千颯・山本大誠・西山智哉   |                |                     |    |
| 14 | 日伊の食品ロス意識                    | 久保琴充・樋口美咲・高下奈々・谷本芽依       |                |                     |    |

ワイードバックシート記入

ワイードバックシート各班ごとに仕分け、班に配布

持参物: □筆記用具・□ひざかけ・□自分たちの班の発表に必要なもの  
 2限が終わったらすぐに移動してね。10:55挨拶・確認事項説明・11:00～発表スタート!  
 1/26(水)7限・1/28(金)5.6限・2/2(水)7限・2/4(金)5.6限でまとめ冊子原稿完成、⇒2/5(土)TR成果発表会【8班発表各7分(質疑応答なし)】

- 【1/21教員係分担メモ】
- ◆PC(データ管理デスクトップ)ノマイク/スピーカー/スクリーン/ハル[栗木]◆灯油[青野]◆写真記録[水本]◆生徒シート集計[井上・岡本・高橋・杉]
  - ◆同会・進行・事前確認事項説明・講評[麻田・栗木]◆タイムキーパー→ペル[池田]


# 『保育士について』

1班 西田葵 野島小晴 浅雄萌 中西彪斗

◆活動の目的

- 子どもが過ごしやすい環境をつくるためにはどうすればいいのか

◇関係するSDGs → 11. 住み続けられるまちづくりを



◆取り組んだ内容

- ①保育士についての調べ学習
- ①楽しさ、やりがい
- ②大変なこと、つらいこと
- ③仕事内容
- ④給与、平均年収
- ⑤保育士の方へ電話で質問
- ⑥子ども向けの動画作成


活動の目的は、子どもが過ごしやすい環境をつくるためにはどうすればいいのか考え、保育士の仕事について考えることです。関連するSDGsは、11番の「住み続けられるまちづくりを」です。

### 活動1 ⑤保育士についての調べ学習


#### 調べた内容とわかったこと

①楽しさ、やりがい      ②大変なこと、つらいこと

- ・笑顔が引き出せたとき
- ・特別になれたとき
- ・日々の発見
- ・成長を感じたとき
- ・達成感



- ・子どもとの関わりかた
- ・職場での人間関係
- ・クレーム対応
- ・事務作業
- ・プライベートが確保しにくい



保育士についての調べ学習でわかったことをまとめました。たのしさ・やりがいを調べると笑顔を引き出せたなどが分かりました、たいへんなこと・つらいことを聞くと子どもとの関わり方などを聞きました。

### ③仕事内容について      ④給与・平均年収

〔朝〕

- ・掃除、換気、スケジュール確認
- ・朝礼

〔昼〕

- ・子どもの手洗い・うがいの手伝い
- ・お昼ご飯の準備 など

〔夕〕

- ・室内、園内で遊ばせる
- ・掃除、片付け、戸締りをする

〔平均給与〕

|            |           |
|------------|-----------|
| 男性...約26万円 | 女性...23万円 |
|------------|-----------|

〔平均年収〕

|             |             |
|-------------|-------------|
| 男性...約370万円 | 女性...約347万円 |
|-------------|-------------|

Q. なぜ男性のほうが高いのか？

- ・男性は出産がない
- ・専業主夫になる人が少ない
- ・家庭があると諸手当が支給される
- ・長く勤務してほしいから

次に仕事内容について調べたところ朝には朝礼を行うこと、昼にはお昼ご飯の準備を行うこと、夕方には掃除や戸締りを行うことが分かりました。最後に平均年収について調べたところ男性が約370万円、女性が約347万円だと分かりました。

### 活動2 ⑤保育士の方へ電話で質問

1. 保育士になりたいと思ったきっかけ      2. 大変だと思うこと

- ・子どもや世話が好きだから
- ・保護者への対応など

3. やりがいを感じる時

- ・子どもができなかったことができるようになったとき

4. 喧嘩がおきたときの対応

- ・年長さんの場合) お互いの話を聞きつつ、気持ちに寄り添う
- ・年少さんの場合) うまく子どもの仲裁に入る、代弁

保育士の方へ電話で質問をしました。まず保育士になりたいと思ったきっかけを聞くと、世話が好きと答えていただきました。次に保育士になって大変だと思うことを聞くと、保護者への対応と答えていただきました。次に保育士をしていてやりがいを感じることを聞くと、子どもの成長を見れたときと答えていただきました。

### 活動3 ⑥子ども向けの動画作成

作成目的

子供たちに協力することの大切さを知ってもらいたいと思ったから

作成しての感想


- ・みんなで協力してできたのでよかった
- ・動画を作ることで、子どもを喜ばせるといううれしさを知ることができた

子どもたちに協力することの大切さを知ってもらいたいと思い動画作成をしました。動画をみんなで協力して作成し、作ることで子どもたちを喜ばせるうれしさを知ることができました。

### まとめ

◆感想

- ・コロナの影響で保育園に行くことができなかったので少し心残りだった
- ・保育園に行くことが出来なかったからこそできたこともあった
- ・みんなで協力して動画を作ることができた



この活動の感想はコロナの影響で保育園に行くことができなかったので少し心残りでした。しかし、保育園に行くことができなかったからこそ、動画作成など、できたこともありました。みんなで協力して動画作成でき、よかったです。

## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

### 4 か所の保育園の先生

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|  |   |
|--|---|
| <p>(西田葵)</p> <p>② 今回のTRを通して保育士の方たちが普段していることや子ども達との関わり方などを知ることができてよかった。</p> <p>②保育士の方たちに実際に電話で質問をしたりして、詳しく知ることができた。班の人たちと意見を共有するときなどに自分から意見を言うことが苦手だったけどこの活動を通して積極的に発言することができるようになった。</p> | <p>(浅雄萌)</p> <p>① 今回のTRを通して子ども向けの動画をつくるときに子供の目線に立って何かを作ることの大変さに気づいた。</p> <p>② 保育士のしている仕事など調べたことによって自分の知らなかったことがたくさん知ることができたので、保育士になりたいという気持ちが大きくなった。また、1年生のときより積極的に活動することができた。</p>  |
| <p>(中西彪斗)</p> <p>① 保育士のことを調べて保育士の大変さややりがいを学ぶことができた。電話をして話を聞いて保育士になるには子どもが好きという気持ちが大切と学んだ。子どもについて色々考えることができた。</p> <p>② 班の人の話を1年生の時よりきちんと聞くことができた。班の人の意見を聞いて考える事で考える力が身についた。</p>           | <p>(野島小晴)</p> <p>① 今回のTRを通して保育士さんが子どもたちとどういふ風に関わっているのか、子どもたちと触れ合っていない時間は何をしているのかなど、自分が知らなかった部分を新しく学ぶことができた。</p> <p>② 1年生の時より、積極的に意見を出すことができたし、動画作成や調べ学習のときなど、みんなで話し合いをすることができた。また保育士について調べることがあったら今回調べたことを活かしていけるようにしたいとも思ったし、保育士になるためにもっと頑張りたいなと思った。</p> |

## 【担当教員 池田祐弘 講評】

子どもが過ごしやすい環境づくりをテーマに、保育士の方が子どもに対してどのように接しているのかわかり、高校生として何ができるのか考え一生懸命に活動することができましたね。コロナ禍で子どもと直接関わる機会はありませんでしたが、子ども達のために動画を作成する姿と気持ちは保育士そのものだと思います。保育士という夢の実現に向けて探究活動を続けていきましょう。

# 美容師になるためには...

2班 前田彩花 村瀬まひる 江原暖稀

## 活動のきっかけ

チームのメンバーが美容師になりたいから

## 活動の内容

自分たちでヘアセットを行った

メンバー各々か所ずつ美容室に電話をかけて、コロナ禍の美容室の現状や美容師の仕事内容について聞いた

私たちは将来の夢が美容師なので美容師について知りたいと思いました。そこで年間を通して、自分達でモデルを見つけヘアセットを行ったり、各々か所ずつ美容室に電話でインタビューをしたりなどの活動をしました。

## 自分たちで行ったヘアセット

夏にしたヘアセット

ヘアセットの感想

髪の毛を巻くことが難しかった

カールの跡が残らなかった



私たちは夏に一回目のヘアセットをしました。自分たちでモデルを見つけ、道具を各自用意しそれぞれのモデルにヘアセットを行いました。はじめてのヘアセットだったので、髪を巻くことが難しかったり、カールの跡が残らなかったりと、苦戦しました。

## 10月に行ったヘアセット

ヘアセットの感想

モデル側

普段しないセットで嬉しい  
アイロンでのセットが初めてで嬉しい

スタイリスト側

夏よりうまくセットができた  
短髪のセットは難しかった



夏に行ったヘアセットの、髪の毛を巻くのが難しかったこと、カールの跡が残らなかったことという反省を活かし変化のわかりやすいヘアセットを行いました。そうすることで少し凝ったヘアセットをすることができ、モデル側にもとても喜んでもらえることができました。

## 実際に美容師の方にインタビュー①

Q.コロナ禍で美容室はどうしているか

A.消毒、空気清浄機の設置、換気などの感染対策を徹底している

Q.美容師になってよかった事

A.お客様にお礼を言って帰られた時や、結婚式や人生の区切りの時に役立てた時

実際に美容師の方に電話でネットの情報だけでは分からない、コロナ禍の美容室の現状や美容師になってよかったことをインタビューをしました。インタビューをすることで、コロナ禍での大変さや感染対策について知ることができました。

## 実際に美容師の方にインタビュー②

Q.美容師になるための心構え

A.美容師になりたいと思う気持ち、忍耐力、お客様への思い

Q.失敗してクレームが来たらどうすればよいか

A.お客様の話を聞き、無償で期限なく直す

私たちが美容師になるための心構えを聞いたところ、忍耐力やお客様への思いを知ることができました。美容師の実態や目に見えないことなどを聞くことができ、自分たちが美容師になるために必要な忍耐力を身に付けようと思いました。

## まとめ

コロナ禍の美容師の実態について知ることができた  
ヘアセットをすることは人それぞれの  
髪質があり大変だった

この活動を通して、美容師になるための心構えや実際にヘアセットをすることの大変さや楽しさなどがわかりました。この活動が活かせるように美容師になりたいと思いました。

## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

真庭の美容師 横山樹香 瀬恒秀太 山本友翔(モデル)

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|   |  |
|---|--|
| <p>江原暖稀</p> <p>① 自分の将来の夢である美容師について調べていくうちに、美容師の実態や詳しい仕事内容などを知ることができた。また、実際に友人の髪で二度ヘアセットに挑戦してみたけど、一人一人髪質が違って長さも違うからその人に合う髪型にセットするのは相当難しいことだと気づいた。</p> <p>② 今まで美容師に興味はあっても深く調べたりすることがなかったが、この活動をしていくにつれて美容師への関心が高まり、自ら美容師について調べたりいつも自分の髪を担当してもらっている美容師さんに話を聞いたりして積極的に調べるようになった。</p> | <p>村瀬まひる</p> <p>① 今まで美容師の仕事は髪を切るだけだと思っていたが、実際に美容師の方に電話でお話を聞かせていただいて、着物の着付けだったりメイクだったり、髪を切る以外にもやらなければならないことがあって、自分が思っていたよりハードで体力が必要な仕事だということが分かった。</p> <p>② チームのメンバーの将来の夢が美容師になることなので、最初は興味がなくてメンバーに活動を任せていたけど、メンバーと一緒に美容師の事について調べていくに連れて、自分の興味がないことでも深く追求していくと楽しくなっていくことに気付いた。</p> |
| <p>前田彩花</p> <p>① 今まで知らなかった美容師の実態や仕事内容を知ることができた。実際にヘアセットをすることで、ヘアセットをすることの楽しさと大変さを知ることができた。また、自分たちでモデルを見つけその人に合う髪型をその場で考える臨機応変な対応が必要だということがよくわかった。</p> <p>② 今まで自分は美容師になりたいとだけ思っていたけど、実際にヘアセットをして相手が喜んでいる姿を見て人に喜んでもらえる美容師になりたいと思うようになった。美容師のことを調べていくうちにもっといろいろ知りたいと思うようになった。</p>    |  |

美容師という具体的な目標に向け、コロナ禍で高校生としてできる活動を考え、実際にヘアセットを行いましたね。ヘアセットを行う楽しさはもちろんですが、上の感想にあるようにセットをしてもらった人に喜んでもらったことはよい経験だったと思います。また、美容師になるための心構えも学びましたね。今からできる活動を積極的に行い、夢の実現に向けて進んでいきましょう。

【担当教員 池田祐弘講評】

# 『バイオ液肥の効果について』

3班 池田愛友 中島季来 瀬恒秀太 吉田壮汰

## バイオ液肥の効果について



池田愛友  
瀬恒秀太  
吉田壮汰  
中島季来  
栗木先生



僕たちがこのテーマを設定した理由はバイオ液肥の効果を知りたいと思ったからです。

### 関連するSDGs

野菜を育てて持続可能な農業を推進し  
持続可能な消費と生産のパターンを確保する

2 資源を  
ゼロに



12 つくる責任  
つかう責任



関連するSDGsは野菜を育てて持続可能な農業を推進し、持続可能な消費と生産のパターンを確保するという点で2番と12番です。

### バイオ液肥

- ・真庭市では生ごみなどの有機性廃棄物をお金をかけて処理するのではなく、バイオマス資源として活用しようとバイオ液肥を作っています。
- ・現在は小規模なモデル事業ですが、将来は真庭市全域に施設を整備し、持続可能な循環型社会を目指しています。




真庭市では生ごみなどの有機性廃棄物をお金をかけて処理するのではなく、バイオマス資源として活用しようとバイオ液肥を作っています。

9月10日

|   | A(肥有、液肥有) | B(肥有、液肥無) | C(肥無、液肥有) | D(肥無、液肥無) |
|---|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 葉 | 7         | 0         | 0         | 0         |
| 茎 | 42        | 0         | 0         | 0         |

これはピーマンを育てて観察した表です。BCDはピーマンではないものを測っていたので記録するのをやめました。


12月20日

|   | A(肥料有) | B(肥料無) |
|---|--------|--------|
| 葉 | 21cm   | 19cm   |

これは大根を育てて観察した表です。バイオ液肥を使ったAの方が成長しているのがわかります。

### 結果・まとめ

- ・大きな差は無かったけどバイオ液肥を使ったほうが良く成長することが分かった。
- ・バイオ液肥をかけた方のプランターはかけてないプランターより成長の速度が少し早かった。



\* 右がBの大根  
左がAの大根

大きな差はなかったけどバイオ液肥を使った方がよく成長することが分かった。



## ■関わった人たち

- (担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他のの方々)

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|  |  |
|--|--|
| <p>(池田愛友)</p> <p>① バイオ液肥を使うことでバイオ液肥の効果がよくわかった。植物の成長を観察していると違いがぱっとみてもわかるほど違いが大きかった。</p> <p>② 自分達で考えて行動すること、できていない仕事があったら自分で率先してすることができていた。</p>          | <p>(瀬恒秀太)</p> <p>① バイオ液肥を使うことで成長にどれくらい差があるのかを知ることができた。育てる野菜を決める過程で真庭市の野菜の収穫量を知ることができた。</p> <p>② 効率良く進めるための役割分担をできるようになった。空いている仕事を見つけて自ら進んでできるようになった。</p> |
| <p>(中島季来)</p> <p>① 去年とは異なり自分たちで考えて企画し、実行するまでの大変さを知りました。バイオ液肥を使うことで野菜の成長に差があることがわかった。</p> <p>② メンバーと意見交換をし、一緒に活動していく中で積極的に物事に取り組めるようになりTRの大切さが分かった。</p> | <p>(吉田壮汰)</p> <p>① 今まで詳しく知らなかったバイオ液肥の効果について知ることができ、真庭市がバイオ液肥に対してどのような取り組みをしているのか知ることができた。</p> <p>② 人に頼らず自分1人で物事を考える力がついた。</p>                            |

【担当教員 栗木裕矢 講評】


自分たちで考え実行することの難しさを感じたと思います。なぜそれをするのか、結果から何がわかったのか整理し、伝えることはあらゆる場面で必要です。テーマ決めでは非常に苦労して最後にはこちらからテーマを与える形になってしまいましたが、それぞれ役割をこなそうと気を配り、協力できるようになっていく姿には成長を感じました。発表でも自分たちで話の流れをつくりあげ、筋道通った発表ができたことは大きな力になったと思います。

# 『落合の魅力を歩きながら感じな！』

4班 今石和希 瀬島勝也 立石晃誠

**活動の経緯と目的**

コロナ禍で運動ができていない  
真庭市には高齢者が多い  
自分たちの街の魅力を伝えたい




ウォーキングマップを作ろう！！

コンセプトは「健康づくり」  
ターゲットを「全年代」に

僕たちはコロナ禍の真庭市の現状からウォーキングマップを作ることになりました。真庭観光局のかたのアドバイスをいただき、コンセプトとターゲットを決めました。

**制作過程**

観光スポットの抽出 → ルート決め → フィールドワーク



良かった点 自然が豊かで景色もいい  
悪かった点 段差やデコボコした道が多い

制作過程は①観光スポットの抽出、②ルート決め、③フィールドワークです。フィールドワークでは様々な感想を得られました。

**コンセプト変更**

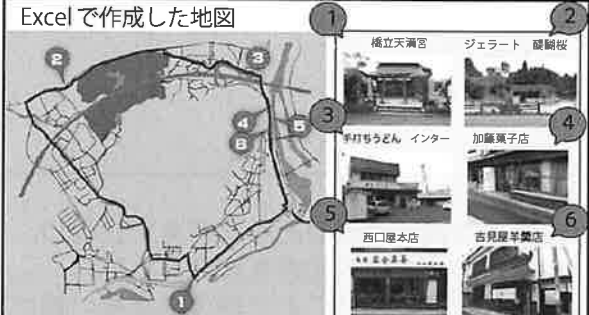
「真庭に住む全ての年代の人」

↓

落合の人に落合の魅力を伝える

中間発表を終えて、過去のままではターゲットが広すぎると感じ、コンセプトを「落合の人に落合の魅力を伝える」に変更しました。

Excelで作成した地図



抽出した観光スポットを基にExcelで地図を作成しました。写真を載せ番号を振ることで、見やすい地図になりました。

**まとめ**

落合は 歴史ある街並み  
街の人が優しい  
自然あふれる景色  
…のあるいい町！


危険な場所もピックアップ！



僕たちはウォーキングマップ制作を通して落合の良さに気づくことができました。ルート上の危険な場所もいくつかピックアップしました。

**今後の活動**

市役所の方に見てもらう  
道路状況の改善  
作成したマップを配布する



今後は作った地図を市役所の方に見てもらうと同時に、道路状況の改善も提案していきたいです。作成したマップを配布することも考えています。

## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

### 真庭観光局

#### ■各自の振り返り

- ①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと
- ②今年のTR活動を通して感じた自分の変化  
(どういうことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|   |   |
|---|---|
| <p>(瀬島勝也)</p> <p>①<br/>TRの活動をしていると自分でも気づかなかった、自然の豊かさや地域の人々のやさしさなどの落合の魅力を見ることができた。そして、活動をしていく中で仲間と協力することが大切だということに改めて感じた。</p> <p>②<br/>今年のTRを通して自分の成長を感じたのは積極的に案を出したり行動をするようになったこと。今までは言われるがままということが多かったのがこれに大きな変化だと思う。</p>          | <p>(立石晃誠)</p> <p>①<br/>落合の魅力について調べているので自分も改めて落合の魅力を感じることもできた。落合の景色や自然の魅力だけではなく、地域の人々の優しさにも気がついた。今回は3人ということもあって協力することの大切さを改めて学んだ。</p> <p>②<br/>3人ということもあったので前と比べて積極的になった。自分の思ったことを意見としてみんなと共有することができた。</p> |
| <p>(今石 和希)</p> <p>①<br/>TRでは、メンバーとの協力が必要だと改めて感じた。他のメンバーの検閲や指摘があってこそいい発表原稿やスライドを作れたのだと思う。メンバーは3人いるので、自分一人の3倍いいものができたと思う。</p> <p>②<br/>TRを通して自分は「他人に伝える力」が身についたと思う。発表用スライドや6スライドで自分が伝えたいことを分かりやすく伝えられる工夫が去年よりできた。これは将来役に立つ能力だと思う。</p> |   |

#### 【担当教員 栗木裕矢 講評】

地域のために何ができるかを班結成当初からよく議論し、主体的な活動ができていました。自分たちの力で今、何ができるのか、ウォーキングマップではどんなルートにして、その中で何を伝えたいかなど協働性や論理的思考力に優れていました。こういった〇から何か生み出す活動では仲間の意見が非常に重要です。悩みながら話をする中でそれが実感できたかと思えます。最後どこか学校外に披露する場面があればもう1段階進むことができたかと思えますが、それは今後の皆さんのチャレンジに活かしてください。

# 『まにわくんを高校生にとって使いやすくする提案』

5班 中川照太 黒岩大地 杉山大翔 杉山蒼弥

## 活動理由

- ・真庭市の公共交通機関を高校生にとって使いやすかったと思ったから。
- ・津山の高校に行くのに便はないのか気になったから。



写真 真庭高校落合校地前バス停

## 昔と比較するために

参考資料を見つけられなかったため



備北バスの本社へ聞き取りに行くことに

私たちは真庭市の公共交通機関を高校生にとって使いやすいものにするために、まにわくんについて調べて真庭市に提案しようと考えた。

昔は今より便数が多かったと仮説を立てて、まにわくんについて調べると、以前は備北バスの落合線が通っていたことが分かり、利便性などを比較してみることにした。

## 分かったこと

- ・2009年10月に備北バス落合線廃止
- ・時刻表と当時の運賃を教えてもらった
- ・必要最低限な便だけの運行(登下校、通院など)



真庭市役所の担当者の方に質問をしました。

- ・ダイヤは何を基準に運行
- ・なぜ200円と安いのか。
- ・バスの管理はどのようにしているのか。
- ・定期券を作らない理由



比較しようとしたが当時の資料を見つけないことができなかったため、備北バスの本社に聞き取りに行き、当時の話を聞いた。時刻表などの資料をいただき比較することができた。

まにわくんのダイヤは通院通学を基準にし、赤字前提の利便性優先、バスの管理はバス会社に委託していて、事務手続きでコスト高のため、定期券は作らないという事がわかった。

## 来年度のダイヤ改定に向けて



来年度から50分×6時間の時程に変わるので、真庭高校生にとって、使いやすいするために市役所に伝えてダイヤ改定や運賃の見直しを行ってもらう。

## まとめ

私たちの意見が来年のダイヤ改定に反映されて、高校生にとって使いやすい交通機関になればいいと思います。



来年度からの高校再編に伴い、乗り換えが必要になるなどの課題を解決するとともにダイヤ改定や運賃の見直し(、乗り継ぎ割引)が実現する。

私たちの活動で出た意見がダイヤ改定に反映され、高校生にとって使いやすい公共交通機関になればいいと思う。午後の便の充実を希望する。

## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

備北バスの営業部部長木村様、真庭市役所生活環境部暮らし安全課参事矢田部様、同主事真崎様、武村副校長先生

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|   |   |
|---|---|
| <p>(氏名 中川照太)</p> <p>① みんなと協力して一つのことをやり遂げることの大切さを知ることができました。学年発表では練習不足で、パワーポイントと原稿がずれてしまいました。それでも、このメンバーでTRの活動をできて僕は楽しかったです。備北バスの木村様、真庭市役所安全課の矢田部様、真崎様、武村副校長先生、本当にありがとうございました。</p> <p>② 最初は、「どうでもいいな」と思っていたのですが、メンバーのみんなと協力することで、やろうという気持ちが芽生えました。すぐに諦めるのではなく、少しは考えなければいけないという気持ちになりました。</p> | <p>(氏名 杉山蒼弥)</p> <p>① 初めは何をすればよいのか分からないまま、時間が過ぎてしまうことがありました。班のみんなとお互いに考えながら活動していく内に、協力することの大切さを改めて知ることができました。また、パワーポイントや原稿で相手に分かりやすく伝えることの難しさについて実感しました。</p> <p>② 公共交通機関を利用することがあまりなく、分からないことが多いので、今回の活動を通して、公共交通機関の運行や便の決め方について、詳しく知ることができました。新しいことが分かったので良かったと思います。</p> |
| <p>(氏名 黒岩大地)</p> <p>① 交通の事には興味がない上に知識も無いので何か指示が来るまで待機しているつもりだったが何をすればいいかを書いてみる事で大まかな道筋を見つけられた。</p> <p>② 研究を進めるためには、まず自分から行動することが大事だ、ということを知ることができた。去年と違って、原稿の内容で分からないことがあったのに、自分で調べようとしなかった。</p>  | <p>(氏名 杉山大翔)</p> <p>① みんなで協力して、最後まであきらめずに頑張れた。お互いに意見を出しながら活動することができた。初めての人と話すことや、みんなの前で発表することが、とても大変だった。コミュニケーション能力がいかに大切かよくわかった。</p> <p>② 大勢の前発表は苦手だけど、あまり緊張しなかったのは一つ成長と感じた。協力が大事だと改めて分かった</p>   |

## 【担当教員 麻田典生講評】

高校生の視点で発信していくことが大切だと思います。まにわくんを利用する人が利便性を高めるアイデアを出していくことは大切です。バスの運行には、これまでの歴史や運行されていた経緯があるので、かつて高校生として利用していた人などに取材ができるとさらによかったと思います。

発表の練習が最終的に足らず、調べた成果を他の生徒たちに、正しく理解してもらえなかったのが残念に思います。探究した内容については、とてもよい内容でした。最終的に市役所にアイデアを提言するところまでできればよかったと思います。

# 『真庭の自然・天然資源珪藻土を商品を提案する』

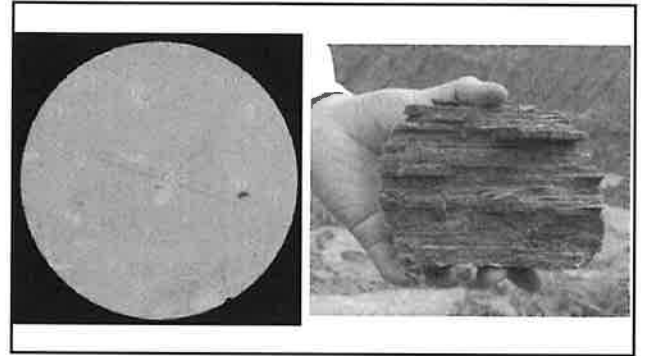
6班 石田欄 石田凜 鎌崎真衣 坂井亜友菜

## 1. 活動目的

1年生の時に石灰石について調べていて、真庭に石灰石以外にも何か資源がないかを考えたとき珪藻土があると知ったから



一年生のときのTRで石灰石について調べていたメンバーから話を聞き、真庭には石灰石以外の天然資源がないかと考えたとき、珪藻土があると聞いたからです。珪藻土はどのように使われているのか気になり、深く知りたかったからです。私たちは、クッキーなどの食品や、珪藻土マットに珪藻土は使われていると仮説を立てました。



乙部先生の助言を得て実験をしました。砕いたものを、オキシドールで洗浄し、その残渣を顕微鏡で観察しました。珪藻土にはプランクトンの化石があることがわかりました。まだ理解が深まっていないと思い、珪藻土を採掘・加工している昭和化学工業を訪ねました。珪藻土は季節の関係で2つの層があり、淡色のものは冬に蓄積されたステファノディスクス層で、暗色のものは夏に蓄積されたキクノテラという層です。

## 昭和化学工業に行って

- ・濾過助剤用途
- ・充填材用途
- ・建材用途
- ・化成品事業



## 制作

珪藻土とセメントを混ぜると割れなかった  
珪藻土とセメントの割合を変え、  
恒温乾燥機で1時間250度で  
加熱した

| 珪藻土 | セメント  |
|-----|-------|
| 1位  | 8 : 2 |
| 2位  | 7 : 3 |
| 3位  | 6 : 4 |
| 4位  | 4 : 6 |

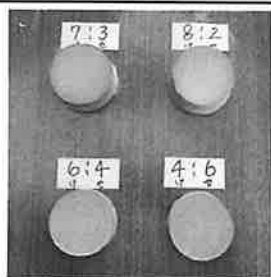


昭和化学工業を見学した結果、ビールや日本酒など、ろ過装置や建材の塗り壁や自動車の塗料などに使われている充填材、化成品事業などに使われていることがわかりました。食品には含まれていませんが、ビールや日本酒などのろ過装置に使用するため珪藻土は欠かせない資源だとわかりました

セメントと珪藻土をいろいろな割合で混ぜて乾燥させてみました。①珪藻土6対セメント4、②珪藻土4対セメント6、③珪藻土7対セメント3、④珪藻土8対セメント2の割合で実験しました。強度を高めるために恒温乾燥機で250度で一時間加熱しました。そこで完成品を使い、どの割合が早く水を吸うのか実験してみました。

## 結果

| 珪藻土 | セメント  |
|-----|-------|
| 1位  | 8 : 2 |
| 2位  | 7 : 3 |
| 3位  | 6 : 4 |
| 4位  | 4 : 6 |



1番珪藻土ものが  
水分をよく吸った!!!

実験の結果、一位は珪藻土8対セメント2、二位は珪藻土7対セメント3、三位は珪藻土6対セメント4、四位は珪藻土4対セメント6となりました。  
この順位から珪藻土の割合が多いほうが早く水を吸うことが実験からわかりました。

## まとめ

- ・私たち、高校生が考える「真庭の名産」として、珪藻土を使った商品が作れるとよいと思いました
- ・市役所にアイデアを提案したいと思います

この実験を生かして私たち高校生が考える「真庭の名産」として珪藻土を使ったグッズを作ろうと様々な実験をすることができました。珪藻土バスマットから考えると、100円ぐらいですが、私たち高校生が、真庭の名産の珪藻土を使い機械などを使用せず自分たちの手で製作したので今後300円ぐらいで販売するよう市役所に提案したいと思います。



## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

### 昭和化学工業岡山工場，乙部博章先生

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|  |   |
|--|---|
| <p>石田 欄</p> <p>①チームの人と協力し、たくさんの意見を出し合い、製品を提案することができました。この経験を活かして、意見を述べる場があれば、はっきり自分の意見を述べたいです。</p> <p>②「成功したことが自分の自信につながる」ということです。珪藻土を固めるのに何度も苦戦しました。そのときは「できない」などとネガティブ思考でしたが、成功したことによりなにかに挑戦するとき「できそう」、「できるかもしれない」というポジティブ思考に変わりました。</p> | <p>石田 凜</p> <p>①「何度も失敗しても諦めずにやるとやっと珪藻土を固めることができ、達成感を感じることができる」ということに気づいたことや、班のみんなと協力して、良いスライドを完成させて協力の大切さを知ることができました。</p> <p>②スライドや原稿を作るときなどに、班のみんなと協力しました。この経験から協力の大切さを知ることができて、自ら進んで意見を出したり、行動することができるようになりました。</p> |
| <p>坂井亜友菜</p> <p>①なにか行動するとき一人では考えるのではなくチームのみんなと一緒に考えてくれるのでより良い結果に繋がることが分かり、協力することの大切さを知ることがわかりました。</p> <p>②今までの自分は、一度失敗するとすぐに諦めていたけれど、今回は失敗しても諦めずに工夫し改善したことで珪藻土を固めることができました。このことから、失敗しても何度も挑戦することの大切さを知ることができました。</p>                       | <p>鎌崎真衣</p> <p>①普段使っているバスマットから珪藻土について探究しようと思いました。その結果自分たちが思っている製品以外の使用方法を知りました。</p> <p>②珪藻土を固めるためにセメントを混ぜたり、自分たちでさまざまな工夫を考えることができました。失敗しても諦めず、何度も挑戦することのできるようになりました。</p>  |

【担当教員 麻田典生講評】

昨年度に引き続き、資源について探究できたことはとてもよかったと思います。発表ではきちんと仮説を立てて、結果を導き出したところは感心しました。講評をいただいた大学の先生からもわかりやすかったと具体的に評価をいただくことができました。この4人のメンバーは将来看護師を目指しますが、「地場製品作りや、地域の天然資源について」など、よい経験になると思います。蒜山まで工場や露頭の見学に行った行動力に感心しました。

# 『真庭市の高齢者に私たちができること』 7班

横山樹香 志田純香 山本友翔 滝山晃汰 柴田鷹翔

### 活動内容

- ①真庭の人口・年齢層を調べた
- ②落合病院の理学療法士の方に質問を聞きに行った
- ③聞いたことを実際に実践した
- ④落合病院の管理栄養士の方に質問を聞きに行った
- ⑤真庭支援コーディネーターの伴野さんにお話を聞きに行った
- ⑥実際にサロンに行った

活動内容は①真庭の人口・年齢層を調べた。②落合病院の理学療法士の方に質問を聞きに行った。③聞いたことを実際に実践した。④落合病院の管理栄養士の方に質問を聞きに行った。⑤真庭支援コーディネーターの伴野さんにお話を聞きに行った。⑥実際にサロンに行った。

### 運動について

- ・**パタカラ体操**・・・パパパパパ タタタタタ カカカカカ ラララララを5回ずつ言う。  
★効果・・・口の筋肉を落とさない。飲み込む力の低下を防ぐ。
- ・**グーパー運動**・・・5秒かけて手を開いて5秒かけて手を閉じる。  
★効果・・・腕の筋力を落とさない。物をつかむ力の衰え防止。
- ・**タオルを足の指先でつまむ運動**・・・  
タオルの端に水を入れたペットボトルを置き、足の指を使ってペットボトルを倒さないように自分のほうに引き寄せる。  
★効果・・・歩くときに地面を上手く蹴れる。転倒防止。

パタカラ体操はパパパパパ タタタタタ カカカカカ ラララララを5回ずつ言う。効果は口の筋力を落とさない。飲み込む力を防ぐ。グーパー運動は5秒かけて手を開いて5秒かけて手を閉じる。効果は腕の筋力を落とさない。物をつかむ力の衰え防止。

### 食事・栄養について

- ・食欲がないときはその時の調子にあったものを食べるようにすると脱水症状にならないために水分だけは取るようにする。
- ・1日に摂取しないほうがいいご飯の量が多い場合、女性はご飯を100g～150g
- ・1日の食事のカロリー計算をせずに大まかにわかる方法は自分の手のひらサイズのお肉や魚を取ってもらってもう片方の手の2本分くらいの大きさの卵を摂取したり残りの3本分の豆腐を摂取するといいい。

食欲がないときはその時の調子にあったものを食べるようにすると脱水症状にならないために水分だけはとるようにする。1日の食事のカロリー計算をせずに大まかにわかる方法は自分の手のひらサイズのお肉や魚を取ってもらってもう片方の手の2本分くらいの大きさの卵を摂取したり残りの3本分の豆腐を摂取するといいい。

### サロン

サロンに行って最初にエクササイズをした。そのあと食事・栄養、運動について発表した。代表の方にタオルを足でつまむ運動をしてもらった。

自分たちで作ったパズルをしてもらった。難易度が1番難しいパズルは盛り上がり完成させることができ良かった。そのあとお菓子を食べながら高齢者の方とお話をした。

### まとめ

- ・高齢者の方は筋力の低下は早いこととたくさんの食事が食べれないことが分かった。
- ・サロンに行って、一人暮らしや老夫婦で暮らしていることが分かった。  
↳自分たちが高齢者と関わることで、イキイキしている姿が見えたので、ボランティア活動やTRで積極的に地域の方と関わるのが大切だと思った。

まとめは高齢者の方は筋力の低下が早いこと、たくさんの食事が食べれないことが分かった。サロンに行って一人暮らしや老夫婦で暮らしていることが分かった。自分たちが高齢者の方と関わることでイキイキしている姿が見れたのでボランティア活動やTRで積極的に地域の方と関わるのが大切だと思った。

## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

落合病院の理学療法士 落合病院の管理栄養士 真庭市支援コーディネーターの方  
サロンのの方々

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういうことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|  |   |  |
|--|---|--|
| <p>(山本友翔)</p> <p>① 僕がTRを通して学んだ事はお年寄りの方々と接する時は目を見て視線を合わせることに気を付けることが大切だと思いました。</p> <p>② お年寄りの方々と話していく中で「こういう言葉は伝わりにくいんだな」と思うことがあったので、ゆっくり話すことを意識してお年寄りの方々と接することができた。</p>                | <p>(滝山滉太)</p> <p>① 僕がTRを通して学んだ事はお年寄りの方々と接する時は話す声の大きさ、スピードに気を付けることが大切だと思いました。</p> <p>② お年寄りの方と話すのはあまり得意ではなかったけど、交流を通してもう少し関わりたいと思えるようになりました。</p>         | <p>(柴田鷹翔)</p> <p>① 僕はTRを通してお年寄りの方々に関わって相手の立場に立ってみることが大切だと思いました。自分と相手は一緒ではないことがわかりました。</p> <p>② 今まではお年寄りの方々と話すのはあまり得意ではなかったけど、関わってみて楽しかったし、また話したいと思うようになりました。</p> |
| <p>(横山樹香)</p> <p>① 私はTRを通して自分の将来就きたい職業の方に直接お話や質問ができ、理解が深まった。高齢者の方の気を付けないといけないこと、若い世代の方と関わる大切だと分かった。</p> <p>② 電話を通してお話をすることが苦手だったけど今回のTRで何回も色々な方と電話で予定を立てたりすることが沢山あり苦手意識がなくなって良かった。</p> | <p>(志田純香)</p> <p>① 自分が就きたい職業に近い方からお話を聞いて勉強になることが多くあった。高齢者の方は若い人たちと関わるのが少ないことがわかり積極的に若い人から関わる大切だと思った。</p> <p>② 初めての方と話すことが苦手だったけど、多くの方と関わって少しは克服できた。</p> |  |

【担当教員 岡本 みくに 講評】

この活動は皆さんの強みを存分に活かされたものになったと思います。私が感じた皆さんの強みは、将来のビジョンが定まっている・地域の方と関わろうする熱意・企画行動力などなどありました。自分が生活している地域の課題を見つけ、その課題に高校生として何ができるのか真剣に考え実践し、今後の在り方まで考察できましたね。TRという活動を通して将来の自分の姿が少し見えてきたんじゃないかな。

### 活動のきっかけ

金田病院の訪問看護師さんのお話を聞いて  
真庭市で行われている訪問看護の質について  
気になったから

私たちは真庭市の訪問看護について知りたいと思  
いました。  
そこで年間を通して金田病院の訪問看護師の押目  
看護師さんにインタビューやポスター作成に取り組  
みました。

### 社会的背景

国民の47%が住み慣れた自宅での医療、療養を希望

最期を迎えたい場所については  
医療機関での19%に対し69%の人が  
自宅を希望していて、  
たくさんの人が訪問看護を利用している。

訪問看護の現状として国民の47%が住み慣れた自  
宅での医療、療養を希望しており、  
最期を迎えたい場所については医療機関での19%  
に対し69%の人が自宅を希望しています。  
たくさんの人が訪問看護を利用しています。

### 訪問看護とは

自宅で療養する方のもとに看護師が訪問し、  
ケアを行うサービス

訪問看護指示書に基づき、健康状態のチェックや  
療養指導、医療処置、身体介護などを行う。

自宅で療養する方のもとに看護師が訪問し、ケアを  
行うサービスのことです。  
訪問看護指示書に基づき、健康状態のチェックや療  
養指導、医療処置、身体介護などを行います。

### 活動内容① インタビュー

- ①訪問看護の課題
- ②訪問看護をしていて大変なこと
- ③みどり訪問看護ステーションにはどのような職種の方が  
所属しているのか
- ④仕事内容
- ⑤訪問看護を利用されている方の生活
- ⑥やりがい

これらのことを押目看護師さんにインタビューしまし  
た。

### 活動内容② ポスター作成



訪問看護の認知度が低い  
↓  
たくさんの人に訪問看護について  
知ってもらいたい  
↓  
ポスター作成！！  
保健室前廊下に掲示

押目看護師さんにインタビューした際に訪問看護の  
認知度が低いということを教えていただき、  
たくさんの人に訪問看護について知ってほしいと  
おっしゃっていたのでポスターを作成し保健室前に  
掲示しました。

### まとめ

- ・病院にいる患者と自宅で訪問看護を利用されている方と  
の看護の質が変わりなくすごいと思った。
- ・様々な分野の勉強を自分でしないといけないので  
大変だった。
- ・自宅でも質の高い看護を受けることができると知ら  
なかったのも自分たちも視野を広げていかないと  
いけないと思った。

病院にいる患者と自宅で訪問看護を利用されている  
方との看護の質が変わりなくすごいと思った。  
様々な分野の勉強を自分でしないといけないので大  
変だった。  
自宅でも質の高い看護を受けることができると知ら  
なかったのも自分たちも視野を広げていかないと  
いけないと思った。

## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

金田病院のみどり訪問看護ステーションの訪問看護師さん（押目さん）

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|  |   |   |
|--|---|---|
| <p>(氏名 佐々木愛)</p> <p>① ポスター制作を通して、どんな風な内容やデザインにしたら伝わりやすいかなどを考えて、相手目線で物事を考える大切さを学んだ。</p> <p>② 1年のTRでは、グループのメンバーに頼ってばかりだったけど、今回は電話をしたり、ポスターを作ったりなど頼まれたことを責任もって行うことができた。</p> | <p>(氏名 高藤穂乃花)</p> <p>① 積極的に意見を言うことや人の意見をきちんと聞き取り入れることの大切さを学ぶことができた。</p> <p>② 人の意見に流されてしまえばかりだったけど自分の意見をはっきり示すことができるようになった。</p>  | <p>(氏名 名越優里)</p> <p>① 自分から積極的に意見を言うことの大切さを学ぶことができました</p> <p>② メンバーとの話し合いを通して、自分の意見を周りに言うことが苦手だったけど、積極的に自分の意見を言えるようになりました。</p> |
| <p>(氏名 濱戸美羽)</p> <p>① みんなと目標に向かって協力し、一つのことをやり遂げることができた。</p> <p>② ポスターの作成を通して、機械が苦手だったけど、パソコンを使えるようになった。</p>  | <p>(氏名 宮本菜桜)</p> <p>① どうすればわかりやすく伝えることができるのかなどの仕方を学んだ。</p> <p>② 自分の意見を積極的に言うのが苦手だったが活動の中でみんなで意見を言い合う内に自分から積極的に意見を言えるようになった。</p> |   |

## 【担当教員 岡本みくに 講評】

活動の目標をいち早く設定し計画的に活動が進められましたね。訪問看護の認知度を上げるための活動でしたが、訪問看護師さんから直接お話を伺ってその魅力や奥深さを知ることができました。だからこそ、多くの方に知ってもらいたいという熱意が湧き上がったのだと歓心しました。出来上がったポスターを金田病院の関連施設に貼らせていただき、多くの方の目に触れ、必要としている方の元に届き、社会に役立つ活動で素晴らしいものになったと思いました。小さなチームでしたが、自分がそこで果たすべき課題に取り組めたこともTRを通じた学びにつながりましたね。

# 『コロナ禍で働く医療従事者～高校生の私たちができること～』

## 9班 臼田芽生 政吉心優 平井千羽

### 正しいマスクのつけ方

- ・マスクの表裏を正しくつける
- ⇒製品によってひもの付け根が外側なの为正しいものあれば内側なの为正しいものもあるので確認する
- ・髪が一方向な場合は原則ブリーツは下向き
- ⇒ほこりや花粉、ウイルスがマスクの上にとまらぬようにするため
- ・鼻マスクはしない
- ・顎マスクはしない
- ・サイズの合っていないマスクはしない(横に隙間ないものを選ぶこと)
- ⇒顎とマスクに隙間があるとウイルスが入りやすい



正しいマスクのつけ方を紹介します。ポスターを作り職員室においてみんなが見れるようにしました。

### 【看護師さんへの質問】

#### 医療従事者として、地域の住民として

『高校生に感染防止のために控えてほしい、やめてほしい』と思うことはありますか

#### 回答

- ・公共交通機関での飲食を控えてほしい
- ・正しくマスクを装着すること手洗い・消毒を守ってほしい
- ・少しでも症状がある場合は外出を控えてほしい
- ・すべての人に感染の可能性があると思ってワクチン接種を行っている、いない関係なしに感染対策を行ってほしい
- ・感染した人を責めないでほしい

落合病院・金田病院の看護師さんにアンケートを行い、医療従事者・地域の住民として『高校生に感染防止のために控えてほしい、やめてほしい』と思うことをお聞きしました。

### ③落合病院の高橋先生からのお話

#### Q1. コロナウイルスとは何か

A. 人に感染するコロナウイルスは、風邪の病原体として人類に広く蔓延している4種類と、動物から感染した重症肺炎ウイルス2種類が知られている。

| 感染症名 | 風邪           | SARS       | MERS          | COVID-19 |
|------|--------------|------------|---------------|----------|
| 宿主動物 | ヒト           | キクガシラコウモリ  | ヒトコブラクダ       | 不明       |
| 症状   | 鼻炎、咳、上気道炎、下痢 | 咳、高熱、肺炎、下痢 | 咳、高熱、肺炎、腎炎、下痢 | 咳、高熱、肺炎  |
| 感染経路 | 唾、飛沫、接触      | 咳、飛沫、接触、便  | 咳、飛沫、接触       | 咳、飛沫、接触  |
| 潜伏期間 | 数日           | 1~10日      | 2~14日         | 1~14日    |

次に私たちは落合病院の高橋先生にコロナウイルスに関して質問し、お話を伺いました。もしかしたら自分もウイルスを出しているかもしれないという意識が必要だということがわかりました。

### Q 医師ならではの苦勞を教えてください

#### 精神的苦勞

- ・何もわからないときの不安
- ⇒移してしまうのではないかといつ終わるのか分からない
- ・感染防御できているのか
- ・患者さんを「コロナになっているかも」と疑ってしまう
- ・防護服の負担



次に医師ならではの苦勞を聞かせていただきました。精神的苦勞が大きいとおっしゃっていました。

### なぜCOVID-19はここまで感染力が高いのか

|      | 風邪  | SARS  | MERS  | COVID-19 |
|------|-----|-------|-------|----------|
| 感染者数 | 77億 | 8098人 | 2578人 | 2億2千万    |
| 死亡者数 | 不明  | 774人  | 935人  | 455万人    |

SARSは症状(咳・熱)が出るまで体外へウイルスを出すことはない

COVID-19は発症2日前からウイルスを出す  
⇒気づかないうちにうつってしまう

これは2021年9月時点でのコロナウイルスの世界の感染者数と死亡者数を表しています。COVID-19は発症2日前からウイルスを体外から出してしまいうため気づかない内に人に感染させてしまうことで感染が広まったことがわかりました。

### 【まとめ】

私たちの活動はSDGsの3番目の「すべての人に健康と福祉を」が当てはまるといった。

落合病院・金田病院の看護師さんにアンケートを取ったり

落合病院の高橋先生にお話を聞かせていただいて医療者側の思いや苦勞がわかり感染対策をより私たちが行うべきだと気づき、

具体的な感染対策をまとめたりマスクの正しいつけ方を知ることができた。

みんなで協力して一日でも早くコロナを収束させよう



活動を通して、医療者側の思いや苦勞がわかり感染対策をより私たちが行うべきだと気づき、具体的な感染対策をまとめたりマスクの正しいつけ方を知ることができました。



## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

落合病院の看護師さん、金田病院の看護師さん、落合病院の高橋先生、全校生徒、湯浅先生

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|  |   |
|--|---|
| <p>(氏名 政吉心優)</p> <p>① コロナウイルスが流行し続ける中、臨床で働かれている医療従事者の方の思いを聞きながら多くのことを学ぶことができた地域の方に協力していただくために大切なことがわかったり、したいことだけを決めるだけではなく計画を立てたりしておけばもっとたくさんの活動が行えたと思った。</p> <p>② 看護師さんや医師の方に話を聞いたことで感染対策は自分のためや家族のためだけではなく医療者の方のためにも必要だと改めて思い頑張るべきだと思った。</p> | <p>(氏名 臼田芽生)</p> <p>① 私たちは改めてコロナウイルスとはどのようなものなのかコロナウイルスが流行したことでの医療従事者の方々の思いや意見について学んだ<br/>専門の先生に話を聞いたり実際に経験し感じていることについてアンケートを取って知ったりすることでインターネットでは知ることのできないことも分かることができると気付いた。</p> <p>② 私たちが見えていない所でコロナウイルスと戦っている人がたくさんいるのだとわかった。さらに今よりも感染対策に努めていこうと思った。</p> |
| <p>(氏名 平井千羽)</p> <p>①コロナウイルスに対して調べたり実際に医療現場で働く方のアンケートを見たところ自分が感染するという意識が低く、真剣に考えるべきだと気づいた。また、自分たちで調べることで知識が深まり調べたことを発信し伝えていく大切さを学んだ。</p> <p>②実際に医療現場で働く方や専門の先生に聞いたことでいままで以上にコロナウイルスの感染対策を徹底すべきだと思った。</p>                                       |   |

## 【担当教員 水本謙一 講評】

アンケートにより医療現場の逼迫した状況がよくわかりました。校内でのマスクについてのアンケートもわかりやすくグラフにまとめられました。時間の使い方をもっと意識すればさらによい探究活動ができたと感じます。現状に満足することなく、さらに上を目指す意識を常に持って今後の看護の勉強を頑張ってほしい。

# 『真庭の特産品を広めよう』

10班 池本早織 長沼凜 藤本遥 山崎百々花

## 真庭の特産品を広めよう

### 目的

真庭の特産品を作り、  
地域の活性化につなげるため



私たちは真庭の特産品について詳しく知らなかったため、真庭の特産品について調べました。そこで、真庭の特産品「ぱぷ丸」の存在をしり、ぱぷ丸を育てて、ぱぷ丸を用いた料理を作り、地域の活性化につなげようと計画しました。

## 2.真庭の特産品「ぱぷ丸」を育ててみた

・ぱぷ丸

・ジャンボピーマン

・トマト

・マリーゴールド

・ねぎ



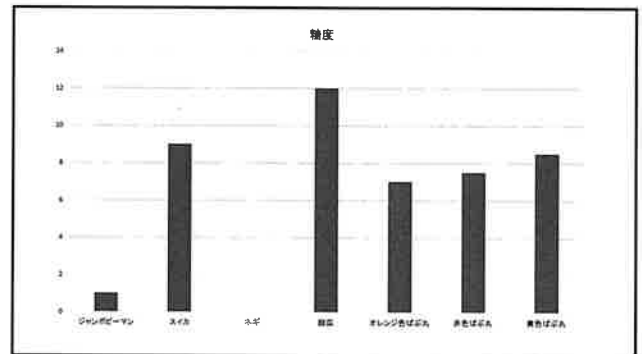
ぱぷ丸を実際に育ててみることにしました。ぱぷ丸を育てる際、久世の先生方からぱぷ丸の特徴を教わり、ぱぷ丸以外にも、比較するものを植えた方がいいよと教わったため、ジャンボピーマンなどを植え、糖度の測定をし、比較することにしました。

## 2-1.ぱぷ丸の特徴

- ・赤色、黄色、オレンジ色がある
- ・パプリカより少し小さい
- ・7月下旬に色付き、8月に収穫できる
- ・肥料は窒素、リン酸、カリの三大栄養素を平等の比率で与える
- ・糖度が高い



ぱぷ丸の特徴を紹介します。ぱぷ丸は赤色、黄色、オレンジ色の三種類あります。普通のパプリカと比べるとサイズは小さく、糖度も高いです。7月下旬に色付き8月に収穫できます。肥料は、窒素、リン酸、カリの三大栄養素を平等に与えて育てました。



結果は、ジャンボピーマン1.0%、スイカ9.0%、ネギ0%、まくわうり12.0%、ぱぷ丸は色によって少し違いますが、赤色7.5%、黄色8.5%、オレンジ色7.0%でした。

## 3.ぱぷ丸を使って料理してみた

- 1.ヨーグルトチーズケーキ
- 2.ピザトースト
- 3.肉詰め
- 4.ピクルス
- 5.ガパオライス

自分たちで作ったぱぷ丸を使って、ぱぷ丸料理を作ってみました。ヨーグルトチーズケーキ、ピザトースト、肉詰め、ピクルス、ガパオライスの5つの料理を作りました。熱を通す料理では、普通のぱぷ丸と同じ味がしました。

## 4.結果 「ぱぷ丸は…」

- ・焼くと普通のピーマンと同じ感じだった。
- ・ぱぷ丸は生で食べることができ、甘かった。
- ・水やりを二日、三日に一回しないといけないので、育てるのに苦労した。

ぱぷ丸を食べてみて、生では普通のパプリカよりも甘く、焼くとパプリカと同じ感じがしました。ぱぷ丸を育ててみて、水やりは大変でしたが、育っていく姿にとっても感動しました。

## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

久世校地の先生・生徒

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|   |  |
|---|--|
| <p>(氏名 長沼凜)</p> <p>① 植物を育てる大変さや、作ったものを用いてどのように真庭に広めていくかを考えることが難しかった。<br/>パワーポイントを使ってみんなにわかりやすく伝えることが難しかったけど、自分たちなりに工夫することができた。</p> <p>② 私は真庭に住んでいる人じゃないので、真庭について詳しく知らなかったけど、真庭の特産品「ぱぷ丸」を作るために真庭についてたくさん調べたので、少しは真庭について知ることができた。</p> | <p>(氏名 池本早織)</p> <p>① 真庭の特産品について学ぶことができ、植物を毎日水やりしたり、虫食いにあってないか確認したりし育ててみて、植物は興味を持って育てないときれいに育たないことを学んだ。</p> <p>② 1年生のTRは積極的に活動していなかったが、今年はTRメンバーと協力し、活動内容に興味を持ち、自ら行動し1年生と比べ成長したと感じた。</p> |
| <p>(氏名 山崎百々花)</p> <p>① 植物を育てる大変さが学べたと共に無事に育てられた時のやりがいを学ぶことができた。</p> <p>② 1年生の時のTR活動では4人全員であまり協力ができなかったけど、今回のTRではそれぞれができることを考えて動くことができるようになった。</p>   | <p>(氏名 藤本遥)</p> <p>① 初めて植物を育ててみて、だんだん育っていく楽しさや、水やりの大変さを学ぶことができた。</p> <p>② 今まで、何かに集中して取り組むということが苦手で、すぐに集中力が切れてしまっていたけど、植物を育て始めたことで、植物を育てるということに集中できるようになったと思う。</p>                        |

【担当教員 水本謙一 講評】

普段何気なく口にしている食べ物を「育てる」体験を通じて「当たり前」が「当たり前ではない」ことが体験できたことでしょう。また真庭の特産品に注目することで今まで知らなかったことにも目を向けられるようになったと思います。

# 『災害時の水問題』

11班 西田圭祐 桑木恒太 谷口久利生

## なぜ調べようと思ったか

災害時、きれいな水を確保することは難しい  
汚い水を生活水として使うのは、衛生面が気になるので  
少しでもきれいな水を使えるようにしようと思ったから



## きっかけ

災害時、きれいな水を確保することが難しいと思い、  
自分たちで衛生面が安全な水を作ろうと思ったから。

### 簡易ろ過装置クッキング

材料  
ペットボトル・砕いた炭（BBQ用でも可）  
・ティッシュ・布・小石・砂利・砂  
布・ティッシュ  
目に見える固形物を取り除く  
小石・砂・砂利  
大・中・小の固形物を取る  
炭  
目に見えないほど小さい穴が、嫌なニオイ  
の元を吸着し、有害物質もここで除去できる

ろ過後の水

## ろ過装置の作り方

材料は料理風に紹介し、音楽を取り入れ、みんな  
が記憶に残るように工夫し発表した。TR発表の時  
は聞いてくれた人に面白いと言ってくれた

### 1・2・3年合同TR

目的  
少しでも多くの人に知ってもらい災害時に  
役立ててもらおう  
何が取り除けるかを知ってもらおう  
実際に簡易ろ過装置を作ってもらおう  
水の大切さを知ってもらおう

## 合同TR

合同TRでは3年生に自分たちのやってきたことを  
発表し、水の大切さを知ってもらった

## 水の浄化方法5つ！

- ①ろ過・・・フィルターを重ね有害物質をとる方法
- ②カルキ・・・プールで使われているような塩素を使って有害物質をとる方法
- ③バクテリア（微生物）・・・ごみなどを食べてもらう方法
- ④煮沸・日光・・・水の温度を上げることで細菌が死滅させる方法
- ⑤蒸留・・・燃料を使って水を蒸発させきれいな水を蒸のよ  
うなもので受け止め一か所に集める方法

## 5つの浄化方法

水の浄化には5つの方法があり、それぞれ違う有害  
物質を取り除くが完全にきれいな水にすることはで  
きない。

### ろ過をして

見た目はかなりきれいになった  
匂わなくなった  
時間がかかりかかった

## ろ過をして

見た目はよくなったがきれいな水を作るためには時間  
がかかり、一つの浄化方法では生活用水としては使  
えない。

## まとめ

同じこち防班との活動の大変さが  
分かった  
災害が起こってみないとわからな  
いこともある  
水の大切さがわかった

## まとめ

ろ過装置を作って実践しましたがきれいな水を作る  
のが大変だった。水の中にあるもの水の大切さ浄化  
の役割が知れた

## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

地域おこし協力隊の小野智行様・自衛隊の方々・中山順充先生・  
1,2,3年合同 TR の体験班の3年生

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|   |   |
|---|---|
| <p>(氏名西田圭佑)</p> <p>① 普段、自分の周りにいる友達と真剣に物事に向き合って取り組んでいくうちに、自分できないことを友達に助けて貰い、友達が困っていると自分が友達を手伝う、そんな当たり前であることを今回のTRで改めて大事だと感じました。</p> <p>② 今回のTRを通して、実際の被災地での状況を考えると自分と自分の関係のある人を災害で失わないように、自分で考えて対策や準備をすることを心掛けるようになりました。</p> | <p>(氏名桑木恒太)</p> <p>① ろ過装置の役割、浄化の種類、材料の役割が分かった。材料を集めるのは大変だった。川に有害物質がいるのが驚いた。</p> <p>② ろ過装置を使ってみて水がちょっとずつしか出てこなかった。浄化の種類にはメリット・デメリットがあり、水を完全にはきれいにすることはできないんだと思った</p> |
| <p>(氏名谷口久利生)</p> <p>① 簡易ろ過装置だけでここまできれいになるとは思わなかった。水の中に有害物質がたくさん入っていることを知れた。</p> <p>② 実際に災害が起きないとわからないことがある。発表で去年は緊張してばかりだったけど今年はあまり緊張せずすることができた。</p>  | <p>(氏名)</p> <p>①</p> <p>②</p>   |

## 【担当教員 高橋舞子 講評】

4月に活動がスタートした時は、泥水の活用やろ過の方法について悩み、活動が積極的ではありませんでした。しかし地域の方々や自衛隊の方々に助言をいただき、徐々に1人1人が得意なことをみつけ、分担し責任を持って取り組みました。その後メンバーと共有し、その内容を“より良くするためには”と自主的に考える姿がみえるようになりました。発表スライドを作成するときも、みんなに楽しく見てもらえる・聞いてもらえるスライド作りができましたね。災害を考えた活動は難しいことが多かったですが、自信につながる活動になったと思います。3人の発表している姿が堂々としていて、1年間の成長を感じました。お疲れ様でした。

# 「避難所の食を豊かに」

12班 中塚麻景 平山和 古堤心 森本湖音

## ＜テーマ設定の理由＞

1年時TRの実践（避難場運営）から  
被災時の避難所生活において  
食事面で健康を確保できていない

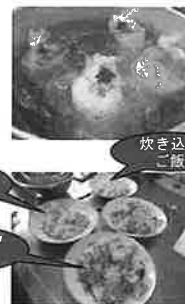
↓  
避難所生活の中でも健康でおいしい  
食事を提供したい



## ハイゼックスによる炊飯

ハイゼックスとは  
強化ポリエチレンでできた袋  
100枚 2000円

- ①米と水を入れて熱湯で45分ゆでる  
白飯
- ②米・ケチャップ・ウイナー  
ケチャップライス
- ③米・しょうゆ・乾燥野菜  
炊き込みご飯



ハイゼックスは、強化ポリエチレンでできた袋で、100枚2000円します。

ハイゼックスの中に米と水を入れ、熱湯で45分茹でると白いご飯が出来上がります。この要領でケチャップライスと炊き込みご飯を作りました。温かいご飯を炊くことができました。

## 問い合わせの結果

- 1 アレルゲンとなるものは避難所での食事に向かない
- 2 老若男女問わず万人が食べれるものでないといけない

↓  
避難所での食事は  
アレルギーがないものでないといけない

## 7完成

さつまいも  
ポタージュスープ

品名  
原材料名  
内容量  
賞味期限  
保存方法

にんじん  
ポタージュ  
スープ



真庭市からたくさんの備蓄品が届いたことから、危機管理課に問い合わせた結果、アレルギーとなるものは避難所での食事に向かないこと。老若男女問わず万人が食べられるものでないといけないという回答をいただき、避難所での食事はアレルギーがないものでないといけないということがわかりました。

いただいた備蓄品の中からアレルギーのない材料で缶詰めを作りました。これが完成したさつまいもポタージュとにんじんポタージュです。そして、缶詰めに貼るラベルの制作もしました。ラベルには、品名・原材料名・内容量・賞味期限・保存方法を表記しました。

## 避難所では



ラベルをはがして  
ロケットストーブ  
の湯で温める

この缶詰めを温めるには、缶から出して電子レンジで温めることができますが、避難所ではラベルを取り、ロケットストーブで沸かした湯の中で温めると温かいスープをおいしく食べることができます。

## ＜今後の課題＞

私たちの作った缶詰を真庭市危機管理課に提出することで、アレルギーが含まれていない非常食を増やして備蓄してほしいと願う。

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進したい。



このような活動から私たちは、今回作った缶詰めを真庭市危機管理課に提案することで、アレルギーが含まれていない備蓄品を増やしてほしいと願っています。

あらゆる年代のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進したいと思っています。



## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

真庭地域起こし隊の小野さん 真庭高校久世校地食品科学科の下山先生  
真庭市危機管理課の方々 真庭高校落合校地の全校生徒

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういふことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|   |  |
|---|--|
| <p>中塚 麻景</p> <p>① 私は食のアレルギーを持っていないので食に含まれる成分について意識したことはなかったが、避難所での栄養不足問題として、アレルギーによって食が制限されてしまう人が大勢いるということがわかった。そのような人たちのためにもアレルギーを含まない防災食を増やし、栄養不足問題を解決していくことの大切さに気づくことができた。</p> <p>② 何回も失敗を経験しその度にメンバー全員で意見を出し合いながらいい方向へ向かおうと頑張ってきた一年間を通して、自分の思いや意見、提案をなかなか声にすることができなかった自分が意見を言えるようになり、ひとつのことに對してチーム全員で取り組み目標を達成することができた。</p> | <p>平山 和</p> <p>① 避難所での食料不足、そのことによる栄養不足など避難所の現状を知ることができた。そして今、私たちには何ができるのか、何をすることで少しでも避難所の栄養不足が改善されるのかをメンバーで提案し合い、缶詰めを作るという目的を果たすことができた。このことから避難所でどのようなことをすれば健康を保つことができるのか学ぶことができた。</p> <p>② 私たちの町では災害が少なく避難所での生活を考えたことがなかったが、このTR活動を行うことによって自分がもし災害にあった時にはTRで学んだことを活かして行動しようという意識がめばえ、少しでも役に立とうと考えることができるようになった。</p> |
| <p>古堤 心</p> <p>① 避難所での食の大切さや被災した時に食に対して求めることは何か、学ぶことができた。避難所では温かいものが食べられないことや栄養分がないものが多いなど問題があるが、それを改善しおいしく栄養のあるものを簡単に作れる食事が大切だとわかった。</p> <p>② 今まで避難所の食事を自分たちで作れないと思ったりなんでもよいと思ったりしていたが自分たちでも多くの人を対象にして避難食を作ることができたし、アレルギー、年齢、国の問題などに対して対応する避難食を作ることができた。今回学んだことを活かせるように全ての問題を考えて避難所で活躍したい。</p>                                 | <p>森本 湖音</p> <p>① 初めは防災食について詳しく考えたことはなかったがTRで実際にアレルギーのある人でも食べられるようにアレルギーの入っていない防災食を自分たちで作って実際に先生方に食べてもらいあたたかい感想をいただけて防災食の大切さを知ることができた。</p> <p>② 今まで災害が起こることがなかったので防災食について考えたことはなかったが、このTRを通して災害時にはどのような防災食が必要なのかを初めて知ることができた。このことから、今回知り得た知識を活かすためにも避難所で防災食を提供できるようにしたい。</p>   |

【担当教員 杉有美 講評】

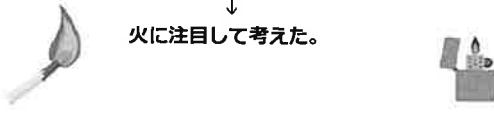
今年度は、昨年度のTRの研究内容をもとに、避難所での問題点を確認することからスタートした。そして、研究のゴールを避難所で安全・安心そして温かく食べられる缶詰を製作することとした。途中、失敗を繰り返しながらも缶詰になった時、その缶詰に手作りのラベルをはって完成した瞬間、目を輝かせて驚き、喜んだ光景は忘れられません。4人が一つのゴールに向かって意見を出し合いながら、チームワーク良く進めた結果です。今回の研究から学んだ数多くの成果を、今後の看護への道に生かしてほしいと願っています。

# 『ロケットストーブって何？』

13班 屋敷千颯・西山智哉・野村一貴・瀧本 稟・山本大誠

### きっかけ

災害時は基本的には生活に必要なものが使えなくなる。  
↓  
何らかの方法でガスや水道の代わりにするものはないか。  
↓  
火に注目して考えた。



災害時にガスが止まったら、どうやって火を起こせばいいか意見を出し合ってみました。火がないと、炊事、暖房、風呂などせいかつできないのでたいへんだと思いました。

### 救助隊はいつ来るかわからない…




大きな火を起こせて、且つ料理などにも応用が利いて簡単に作れるものはないかなあ？

避難所ではすぐに救助隊が来るとは限りません。自分たちで簡単に作れて料理などができるものはないか調べました。過去の先輩の資料からロケットストーブに着目しました。

### ロケットストーブの作り方

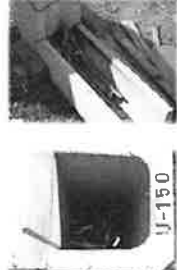
U字溝を組み合わせて土台を作る。  
熱が逃げないように耐火レンガでふたをする。  
ふたとU字溝を番線で固定する。



U字溝と耐火レンガを番線できくり、組み立て式のロケットストーブを作りました。U字溝は身近にあり、断熱材がいらず、設置も持ち運びも可能で災害時に実用性があることがわかりました。

### 果たして燃えるのか？

木の組み方を工夫した  
↓  
灰や煙が燃えた  
↓  
二次燃焼が起きた



廃材を集めて燃料にし、試行錯誤しながら、燃やすことができました。灰や煙も燃えて二次燃焼が起こることもわかりました。作ったロケットストーブが暖房目的で使えることがわかりました。

### ロケットストーブを使った活動

他の班や三年生と協力してお湯を沸かした。そのお湯でご飯を炊いた。



こち防グループの「水のろ過班」や「炊事班」、3年生と協力してご飯を炊いて、避難所を想定した活動をしてみました。火力も強く、おいしいごはんが出来ました。

### まとめ

ロケットストーブの良さを生かした。  
周りにもあるものでも代用できるので作りやすい。  
防災に対する知識が増えた。

身近なものを使ってロケットストーブを作り、炊事や暖房、風呂などにも利用できるのではないかという検証ができました。こち防グループと協力して活動したことで、防災の知識をふやすことができました。

## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

こち防グループの11班と12班。3年生の皆さん。

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういうことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|  |  |
|--|--|
| <p>(氏名：屋敷千颯)</p> <p>① ロケットストーブが暖房、料理など様々なことに使えることが分かった。災害時にガスや水が止まって、大変だということ。細かい所までこだわって工夫すること。</p> <p>② ロケットストーブを作り、燃やす活動をすることで自分の意見をはっきりと述べるだけでなく班のみんなの一人ひとりの意見もよく聞くこと。</p>   | <p>(氏名：西山智哉)</p> <p>① ロケットストーブは災害時に暖房などいろいろなことに使えることが分かった。料理など作るのに火が必要不可欠だと感じさせられた。</p> <p>② 自分たちでロケットストーブを作り、ほかの班とのコラボをして自分の意見を少しずつ述べるできるようになった。</p>  |
| <p>(氏名：野村一貴)</p> <p>① 災害時にロケットストーブを使うことによって短時間で爆発的な火力を用いることができ様々な用途に使えることができとても便利である。</p> <p>② 今回の活動を通して目標を達成するだけでなく、より工夫して改善することができた。仲間と協力して活動できた。</p>  | <p>(氏名：瀧本 稟)</p> <p>① 今回ロケットストーブを作ることにより災害時の火の元を作れた。それにより災害の時に炊事ができるようになった。</p> <p>② 一年生の時と比べてメンバーで目標を立て試行錯誤をしながら活動ができた。</p>   |
| <p>(氏名：山本大誠)</p> <p>① 皆で協力して作業をすることの大切さがわかった。<br/>試行錯誤しながら作業をするというのがとても大事で他人と意見交換することでたくさんのアイデアが生まれて作業に取り組むことができた</p> <p>② 自分の意見をはっきり言うことができるようになった。全く知らないことをすぐに調べようとする意欲がわくようになった<br/>アイデアを出してまとめることができるようになった。パワーポイントを使って資料を作れるようになった。</p> | <p>【担当教員講評：青野雅裕】<br/>避難所で必要なことを考え、実際に役に立つことを模索。衣食住の中から、風呂やシャワーに着目した。その段階でロケットストーブの利用を考え、実際に作って使用し、役立つものかどうか検証した。教員の手助けは部品の購入だけで、あとは生徒が仮説から実行、検証、考察、まとめまで行った。終盤はこち防グループとして避難時を仮想して共働、労力をともなったが、班を超えて活動したことは評価すべきことで、そこから新たな発見もあったようだ。中間発表からも進化し、決められた授業時間で意欲的に、そのうえ楽しく探究活動ができたと評価したい。</p> |

# 「日伊の食品ロス意識」

14班 久保琴充 樋口美咲 高下奈々 谷本芽依

## リサーチクエスト

イタリアも小さな町、ノチェラウンブラ(人口約5000人)の人々の食品ロス対策を取り入れることで、真庭市民の意識を高めることができるのではないかと？



イタリアでは他国に先駆けて食品ロスに関する法律が制定されているため、ノチェラウンブラの人々の食品ロス対策を取り入れることで、真庭市民の意識を高めることができるのではないかと考えました。今回の活動は、SDGsの1番、2番、11番、12番に関連していると思いました。

## これまで行った活動

- ① エステルさんとルーチョさんへのインタビュー  
自分でやっている食品ロス対策と意識
- ② イタリアの高校との交流(3回)  
家庭で行っている食品ロス対策と意識についてのアンケート
- ③ 藤原さんと曾我さん(あぐりガーデン)へのインタビュー  
形の悪い野菜や商品にならない野菜をどのようにしているのか
- ④ 原田教授の講演会への参加  
日本で行っている食品ロス対策の講演会

エステルさんとルーチョさんには、自身が行っている食品ロス対策を聞き、イタリアの高校生にはアンケートを行い、イタリアの食品ロス対策についてプレゼンしてもらいました。あぐりガーデンの方には真庭市の企業の食品ロス対策についてインタビューを行い、また原田教授による日本で行っている食品ロス対策の講演会に参加しました。

## 食品ロスの意識調査アンケート結果

| Q食品ロスという言葉を知ったことがあるか？ |     | Q店から容器をもらって持ち帰りますか？ |       |
|-----------------------|-----|---------------------|-------|
| はい                    | いいえ | はい                  | いいえ   |
| 日本 100%               | 0%  | 日本 39.1%            | 60.9% |
| イタリア 100%             | 0%  | イタリア 84.1%          | 15.4% |

| Q週に1度冷蔵庫を片付けていますか？ |       | Q皮ごと調理していますか？ |       |
|--------------------|-------|---------------|-------|
| はい                 | いいえ   | はい            | いいえ   |
| 日本 39.1%           | 60.9% | 日本 13.0%      | 87.0% |
| イタリア 84.6%         | 15.4% | イタリア 69.2%    | 30.8% |

真庭高校2年生の1組、2組の生徒とイタリアのノチェラウンブラの高校生13人に食品ロスについてアンケートを行いました。アンケートの結果からイタリアの方が「はい」と答えた割合が高く、イタリアでは、事業系食品ロスと家庭系食品ロスを減らす対策ができていると考えました。

## エステルさんとルーチョさんが行っている食品ロス対策と意識

### 【エステル】

頻りにスーパーに言って、使い切ることを心掛ける  
↳ 買いためをしない

牛乳を買うときは大きいボトルでなく、小さいボトルを買う



### 【ルーチョさん】

農作物を作る大変さを分かっていると、食材を大切に使うため残さない  
昔 長い時間をかけて農作物を作る  
今 農業やソーラーハウスを使うため、短期間で多くの農作物を作れる

- ① 食材の値段が安く簡単に手に入れる
- ② 昔より食に対しての大切さが薄れている

エステルさんは食品ロスについてあまり意識したことがないと言っていましたが、買いためをしないなどの家庭系食品ロス対策を日常的にできていました。ルーチョさんは食材が簡単に安く手に入ることで、食に対しての大切さが薄れているとおっしゃっていました。話を聞いて、確かに食品ロスが多いことと関係していると思いました。

## 料理

|  |   |   |
|--|---|---|
| <p>前回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピザ2種類</li> <li>・レアチーズケーキ</li> </ul> <p>作るのに時間がかかる<br/>気軽に作りたいと思わない</p> | ➔ | <p>今回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もやしのイタリアンナムル</li> <li>・ゴルゴンゾーラのペンネ</li> <li>・ミネストローネ</li> </ul> <p>余りやすい食材をたくさん使い、簡単に気軽に作れる料理</p> |
| <p>余りやすい食材を無駄にしない</p>  | + | <p>おいしく、簡単に気軽に料理</p>  |
| <p>また作ってみたいという意識が起る</p> <p>食品ロスが減らせる</p>   |   |   |

食品ロスを減らすために食材をすべて使い切ることを目標に実際に自分たちで作ってみました。余りやすい食材を使い、簡単に気軽に作れる料理に挑戦してみました。作ってみて、余りやすい食材を使って簡単に作れる料理だとまた作ってみたいと思えるため食材を無駄にしないと思いました。

## まとめ

日本もイタリアも食品ロスの量は減っているが、  
↳ 食品ロスの量 (多) コスト (高)  
日本もイタリアも食品ロス対策をすることで状況は改善してきている  
イタリアは食を大事にする国だから、食材を無駄にすることがない

## 私たちにできること

- ① 学校に食品ロスについて書いたポスターを貼る
- ② 学校のSNSに簡単に作れる料理を掲載する

ノチェラウンブラの人々が日常的に行っている食品ロス対策を取り入れることで自分たちの意識を高め、真庭市だけでなく日本全体の食品ロスを減らすことができると考えました。私たちが食品ロスを減らすためにできることは、学校に食品ロスについて書いたポスターを貼る。学校のSNSに簡単に作れる料理を掲載することです。

## ■関わった人たち

(担当以外の先生・メンバー以外の生徒・他学年の生徒・アンケートやインタビューなどお願いした方・大学の先生方・地域の方々・その他の方々)

東城健志先生(イタリアペルージャ外国人大学講師)・吉原啓介さん(真庭市議会議員)  
 エステル・デアンナさん(ペルージャ外国人大学イタリア語教師育成コース卒業生)  
 エステル・バイオッコさん他9人(日本語オンラインコース受講生)  
 松尾高之さん(真庭市生活環境部環境課)・ルーチョさん(オーリーバシクラ)  
 藤原さん(NPO 法人真庭めぐりガーデンプロジェクト)  
 曾我さん(真庭めぐりガーデン Natural Buffet うさハ)・2年1組と2組の生徒

## ■各自の振り返り

①今年のTRを通して自分が学んだことや気づいたこと

②今年のTR活動を通して感じた自分の変化

(どういうことを通して、それまでどうだった自分が、どのように変わったか)

|  |  |
|--|--|
| <p>(氏名 久保琴充)</p> <p>① 日本とイタリアでは食品ロスに対する意識が少しずつ違っていた。食材を無駄なく使うことは難しいことがわかった。イタリアでも食品ロス対策を一人一人が行っていることが分かった。</p> <p>② 残さず食べることで料理をするときに皮まで使うなど、食品を無駄にしないように心がける。自分で物事を成し遂げる力がハードなTRから身についた</p> | <p>(氏名樋口 美咲)</p> <p>① 日本とイタリアの食品ロス対策と人々の食品ロスに対する意識について知れた。世界に食品ロスについての法律があることが分かった。</p> <p>② 今までは食べきれなくても持ち帰らなかったけど、今回食品ロスに対して調べて、お店で食べきれないものを容器をもらって持ち帰るようになった。</p> |
| <p>(氏名高下奈々)</p> <p>① 日本とイタリアの食品ロスに対しての意識について知ることができた。高校生にしたアンケートから、イタリアはほとんどの人が食品ロスを減らす対策ができていたということがわかった。</p> <p>② 極力、食べ物を残さないようにすることと、あまり買すぎないようにすることを心掛けている。</p>                          | <p>(氏名谷本芽依)</p> <p>① 日本とイタリアの食品ロス対策について知り、日本とイタリアでは大きな差があることを知った。</p> <p>② 食品ロスに対して意識せずに過ごしていたが、これまで行った活動により、今はできるだけ意識して過ごしている。</p>                                  |

【担当教員：井上真理 講評】

皆さんが今回した研究は『比較文化研究』の初歩です。他国の異なる文化を比較し、その共通点や異なる点を分析しながら、共によりよい未来を歩んでいくための策を考えていく学問です。イタリアの高校生と交流することで、当たり前だと思っていた日本文化の良さを再発見しました。また、一方でイタリアの人々の暮らしから学ぶべきことを発見することができましたね。さらに、ユネスコチャンネルの皆さんの行動力はとてもすばらしかったのですが、ただ行動するだけでは「自分たちの求める課題解決には至らない」ことも学ぶことができました。最後の発表に向けて、本当に産みの苦しみがあつたと思います。それでも、その中で「問題を解決するために考えて動く力」「収集したデータから何が分かるのか分析する力」「より良い発表するために自分の意見を出す力」「プレッシャーを乗り越えて大聴衆の前で発表する力」を身に着けることができました。私は学ぶことの一つの意義は、『窓が増えること』だと思います。皆さんは、この一年を通してたくさんの窓を増やすことができました。その開かれた窓は、今すぐ役に立つものばかりではないかもしれませんが、でも、将来皆さんの人生の中のどこかで必ず生きてきます。その時を楽しみにしててください。よく頑張りました！！



# 第3学年

難波・古賀・中山・谷口・花谷・下山・沼野



令和3年度 普通科3年生 真庭トライ&レポート(TR) 年間活動

R04.03.31 活動実績記録

| No. | 月 日    | プロセス          | 評価  | 内 容  |  |  | 形 態             | 活動場所 | 担当者                                      |
|-----|--------|---------------|---|--|--|--|-----------------|------|--|
|     |        |               |   | 進学チャンネルA<br>@進路指導室(講義室)  | 進学チャンネルB<br>@電算室(3-2)  | 就職チャンネル<br>@進路資料室(3-1)                               |                 |      |  |
| 1   | 4月19日  | (1)テーマ導入      | 評価 I  | ■昨年度成果冊子配布、今年度ガイダンスとチャンネル希望調査  |  |  | 3年<br>普通科<br>全体 | 講義室  | 中山                                       |
| 2   | 4月26日  | (2)テーマ設定      |   | ■テーマ設定①[志望理由]手帳・付箋紙を使って3年間の活動洗い出し(7レーンストリング)                           |  |  |                 |      |  |
| 3   | 5月24日  |               |   | ■テーマ設定② DVD視聴[テストの花道-AO推薦対策:志望理由書]                                     |  |  |                 |      |  |
| 4   | 5月31日  | (3)探究活動計画     | 評価 II<br>III  | 進学先調べ→面談、金曜7限補習説明  | 専門学校調べ→面談  | 履歴書の書き方/公務員対策問題集                                     | 各チャンネル          | 各担当者 |  |
| 5   | 6月7日   | (4)探究活動       |   | 進学先調べ→面談<br>市長と話そう質問考える  | 志望する理由を整理  | 履歴書の書き方/公務員対策問題集<br>面接準備シート記入                        |                 |      |  |
| 6   | 6月14日  |               |   | 進学先調べ<br>7限鳥取大学PPT   | 志望する理由を文章化   | 面接についてのDVD視聴<br>/就職試験問題                              |                 |      |  |
| 7   | 6月21日  |               |   | 小論文対策講座①/8 13名<br>教科対策3名   | 面接頻出事項を文章化/面接練習  | 面接練習<br>/就職試験問題                                      |                 |      |  |
| 8   | 6月28日  |               |   | 小論文対策講座②/8 13名<br>教科対策3名   | 面接頻出事項を文章化/面接練習  | 面接練習<br>/就職試験問題                                      |                 |      |  |
| x   | 7月12日  |               |   | 大雨警報発令により3限途中で下校   |  |  |                 |      |  |
| 9   | 7月20日  |               |   | 小論文対策講座③/8 12名<br>教科対策4名<br>午後7限学習室2H(④/8)                             | 面接練習   | (就)求人票、履歴書作成<br>(公)申込書作成、試験問題                        |                 |      |  |
| 10  | 7月20日  |               |   |  |  |  |                 |      |  |
| 11  | 7月21日  |               |   | 1限4限<br>小論文対策講座⑤/8 12名<br>午後7限学習室2H(⑥/8)<br>7/26学習室(⑦、⑧/8)             | 提出書類作成   | (就)求人票、応募前職場見学、<br>履歴書作成<br>(公)申込書作成、試験問題            |                 |      |  |
| 12  | 7月21日  |               |   | 集団ディスカッション12名<br>(真庭市教育委員会参観)<br>教科対策4名<br>※振り返りgoogle classroom入力     | 面接練習   | (就)履歴書清書<br>(公)申込書作成、試験問題<br>※振り返りgoogle classroom入力 |                 |      |  |
| 13  | 7月21日  |               |   |  |  |  |                 |      |  |
| 14  | 7月21日  |               |   |  |  |  |                 |      |  |
| 15  | 9月13日  |               |   | 各自<br>大学入試に向けた対策・準備<br>・小論文<br>・志望理由書<br>・プレゼン<br>・面接練習<br>・教科学習<br>など | 今後の活動計画作成  | 面接練習/礼状作製  |                 |      |  |
| 16  | 9月27日  |               |   |  |  |  |                 |      |  |
| 18  | 10月4日  |               |   |  | <未決定者><br>・エントリーシート作成<br>・面接練習<br>(特待生入試等の学習)<br>↓<br><決定者><br>・出願書類作成<br>↓<br>・後輩へのメッセージ作成<br>↓<br>・聞き書き、資格取得など進路学習 |  |                 |      | (就)後輩へのメッセージ作成<br>/社会人のマナー講座<br>(公)面接練習等 |
| 18  | 10月18日 |               |   |  |  |  |                 |      |  |
| 19  | 10月25日 |               |   |  |  |  |                 |      |  |
| 20  | 11月1日  |               |   |  |  |  |                 |      |  |
| 21  | 11月8日  |               |   |  |  |  |                 |      |  |
| 22  | 11月22日 | (5)まとめ        | ■後輩へのメッセージ(入試を控えている生徒はそちらに専念)<br>※12/6,13月曜日7限補習も必要に応じて活用してメッセージを完成させる。<br>12月15日(水)7限LHR:TR振り返りgoogle 入力:TR評価アンケート@各HR |  |  |  |                 |      |  |
| 23  | 12月6日  | (6)発表         |   |  |  |  |                 |      |  |
| 24  | 12月13日 | (7)フィードバック・総括 |   |  |  |  |                 |      |  |
| 25  | 12月20日 | (7)フィードバック・総括 | ■1・2・3年合同TR(1年生2年生こち防チャンネルの活動に参加)<br>10名程度体験班・5名程度カメラ記録班・20名程度探究班   |  |  | 全校   | 前庭・被服室          | 全教員  |  |

※月曜日休日が多いため、期末考査後の時間割や夏季補習でTRを加えることが予想されます。  
※担当教員や活動場所などは希望調査の後修正する可能性もあります。

※3年団:難波・下山・沼野・古賀・谷口・花谷・中山(中川先生・臼井先生にも可能な範囲で医療看護系志望生徒の指導サポートをしていただく)

■形態:学年単位とし、3年間を通して段階的に発展していく。3年間の見通しをもって、『総合的な探究の時間(真庭トライ&レポート)』を計画する。  
【第1学年】"HOW TO LEARN"(ものごとを調べ、まとめる方法を学ぶ)課題別グループ学習[興味・関心を広げる]  
【第2学年】"WHAT TO LEARN"(自分で課題を設定し、調べる)進路別課題学習・看護臨床実習における看護研究[知識・理解を深める]  
【第3学年】"HOW TO LIVE"(進路実現・卒業後の生活のために学ぶ)進路別課題学習[具体的な自身の進路実現]

■月曜日6限。12月までで終了。2月4日成果発表会は1・2年生のみ。(1学期中間考査以降月曜7限金曜7限補習スタート予定)

■探究活動における7つのプロセス: (1)テーマ導入、(2)テーマ設定、(3)探究活動計画、(4)探究活動、(5)まとめ、(6)発表、(7)総括・フィードバック

■評価:上記7つのプロセスを3つ(1, 2, /3, 4/5, 6, 7)に分けて、各担当教員がABCで評価する。(出欠はクラス担任)

■3年生(F):『自分の進路』という柱から【テーマ設定】を行う。※体験の質・量の向上。『SDGs』の視点。『地域とつながる』視点。  
チャンネル内では個人で活動することを原則とする。(1・2年時はグループ)

|   |     |                      |                |
|---|-----|----------------------|----------------|
| ■①■進学チャンネルA (国公立4年大公立短大私立大学短大 進学を目指す生徒)<br>GW・夏休みでのオープンキャンパスに向けた取り組み(予約・注意事項・面接)<br>各自狙いとするAO・推薦入試を挙げ、それに向けた取組(コンテスト・コンクール応募、聞き書きなど)                                | 16名 | 講義室<br>集合<br>(進路指導室) | 難波<br>古賀<br>中山 |
| ■②■進学チャンネルB (専門学校 進学を目指す生徒)<br>GW・夏休みでのオープンキャンパスに向けた取り組み(予約・注意事項・面接)<br>受験校決定・決定後には徹底研究(入試の内容に応じた学習・活動)に取り組む。<br>合格後には、プレゼンテーション・PC活用講座(進学後に必要な分野の学習)に取り組む。         | 12名 | 電算室<br>集合<br>(3-2)   | 谷口<br>花谷       |
| ■③■就職チャンネル (就職を目指す生徒)<br>求人票の見方、SPI2攻略、適性検査・一般常識トレーニング、面接、真庭地域産業調べ<br>(落合羊羹・真庭市の変化・真庭市のしごと・衣食住)、資格調べ(危険物OFFICE検定就職試験トレーニング)。<br>内定獲得後には、社会人マナー講座(ネクタイ・化粧)、礼状、年賀状など。 | 8名  | 進路<br>資料室<br>(3-1)   | 下山<br>沼野       |

※各チャンネルに複数教員を割り当て、出張休暇等に柔軟に対応する。(不在予定はチャンネル内教員に事前連絡を。)

※活動場所【HR】【図書室】【電算室PC】【4-1】など校外も含めて考える。  
1年生・3年生は月曜日6限がTRのため、1年生活動場所に配慮が必要。(PC使用は1年生が視聴覚教室)

※『こちら真庭高校生民防防災係』(通称:こち防)の取組(3年生別途希望者)、『ユネスコスクール・ESD』(3年生は対象外)

※大学公開講座やコンテスト(愛媛大学社会共創コンテスト、福知山田舎力甲子園など)、岡山県ボランティアアワード、専門学校ネイル甲子園など





